



SENDAI
IKUEI GAKUEN

令和7年度

学校 案内

秀光中学校

仙台育英学園高等学校

全日制課程 / 広域通信制課程

仙台育英学園沖縄高等学校



IB World School
国際バカロレア機構加盟認定校

学校法人

仙台育英学園

<https://www.sendaiikuei.ed.jp>



仙台育英学園
HP



仙台育英学園
Instagram



仙台育英学園
高等学校
Facebook



秀光中学校
Facebook



仙台育英学園
沖縄高等学校
HP



仙台育英学園
沖縄高等学校
Instagram



仙台育英学園
沖縄高等学校
X

学校法人仙台育英学園 学校案内 目次

(2025 (令和7) 年 5 月 1 日現在)

創立者加藤利吉先生	2
至誠力行	3
校歌 (秀光中学校・仙台育英学園高等学校/仙台育英学園沖縄高等学校)	4 ~ 5
I-LION SPIRIT	6
学園旗・校章・生活信条七箇条	7
建学精神・学校法人仙台育英学園の使命	8 ~ 9
1 国際バカロレア (International Baccalaureate, 以下 IB)	10 ~ 11
2 Pearson BTEC	12 ~ 13
3 ケンブリッジ国際教育 (Cambridge International Education)	14 ~ 15
4 2025 (令和7) 年度 教育方針と重点課題	16 ~ 23
5 2025 (令和7) 年度 教育課程の体系・3つの方針	24
6 教育目標	
〈秀光中学校・秀光コース〉〈特別進学コース〉〈情報科学コース〉〈外国語コース〉〈英進進学コース〉〈フレックスコース〉	
〈技能開発コース〉〈広域通信制課程 (ILC宮城・青森・沖縄)〉〈沖縄高等学校〉	25 ~ 53
7 学校行事等 (2025年度)	
〈秀光中学校・秀光コース年間行事予定〉〈仙台育英学園高等学校年間行事予定〉〈沖縄高等学校年間行事予定〉	54 ~ 56
8 国際理解教育推進の歩み	57 ~ 60
9 留学生・海外研修	
〈留学生の受け入れ等〉〈海外語学研修, 研修旅行等派遣人数〉〈海外研修旅行2024年度の実績・2025年度の計画〉	61
10 国際理解教育協力姉妹校一覧	62 ~ 63
11 仙台育英学園の留学プログラム	64
12 2025 (令和7) 年 3 月卒業生の進路の状況	
〈大学の合格者数・大学進学者数〉〈専修・各種学校等進学者数〉〈就職者内訳〉〈大学別合格者数〉	
〈専修学校・各種学校等進学先一覧〉	65 ~ 67
13 2025 (令和7) 年度 生徒数	68
14 教職員数一覧	69
15 父母教師会組織	69
16 同窓会組織	69
17 学級担任等一覧	70
18 生徒会組織図及び部活動等顧問一覧	
〈秀光中学校・秀光コース〉〈仙台育英学園高等学校〉〈沖縄高等学校〉	71 ~ 73
19 組織機構	
〈学校法人仙台育英学園組織図〉〈秀光中学校組織機構一覧〉〈宮城野校舎組織機構一覧〉〈多賀城校舎組織機構一覧〉	
〈広域通信制課程 (ILC宮城) 組織機構一覧〉〈沖縄高等学校組織機構一覧〉	74 ~ 79
20 学則	
〈秀光中学校 学則抜粋〉〈仙台育英学園高等学校 学則抜粋〉〈広域通信制課程 学則抜粋〉〈沖縄高等学校 学則抜粋〉	80 ~ 84
21 教育課程表等	
〈秀光中学校〉〈特別進学コース〉〈情報科学コース〉〈秀光コース〉〈外国語コース〉〈英進進学コース〉	
〈フレックスコース〉〈技能開発コース〉〈広域通信制課程〉〈沖縄高等学校〉	85 ~ 102
22 校地・校舎等面積	103
23 校舎等配置図	
〈宮城野校舎配置図〉〈多賀城校舎・多賀城育英グラウンド配置図〉〈栄光校舎配置図〉	104 ~ 106
24 沿革	107 ~ 111



創立者 加藤 利吉先生

- 明治15. 12. 3 福島県若松（現、会津若松市）大町名子屋町141に生まれる。⇒創立者生誕日
(1882)
 28. 3 若松尋常高等小学校高等科第2学年修了。
 34. 3 東京市神田区東京学院に進み、国語、数学等を学んで卒業。
 37. 3 東京市神田区正則英語学校において英文学を学んで卒業。
 37. 4 陸軍第二師団歩兵第29連隊（若松市）に召集される。
 38. 2. 28 日露戦争奉天戦において敵弾を受け、負傷。
 38. 4. 19 仙台衛戍病院に入院加療。（9/18 退院、除隊）
 38. 10. 1 仙台市東四番丁53に私塾「英育会」（その後「育英塾」と改組）を創立し、中等・
(1905) 高等教育機関受験希望者を対象に英語・数学の教授を開始する。⇒本学園創立の日
 39. 11. 1 英数のほかに、国語・漢文・地理・歴史の教授も始める。

この間、学園長として学園の発展に心血を注ぎ、特に太平洋戦争中は戦災で校舎をはじめすべてを失ったが、精力を傾けて奔走した結果、宮城野の現在地に新たな学園を建設するなど、本学園隆盛の礎を築き上げられた。

- 昭和37. 3. 24 東北大学附属病院において逝去（享年81歳）。従六位勲六等瑞宝章をおくら
(1962) れる。
 37. 4. 11 学園葬を挙行し、全校でご冥福を祈る。
 令和 7. 10. 1 学園創立120周年
(2025)
 7. 12. 3 創立者生誕143年

至 誠 力 行

学校法人仙台育英学園の創立者、加藤利吉先生は明治15年（1882）12月3日に現在の福島県会津若松市で生誕した。明治28年（1895）3月、尋常高等小学校高等科第2学年修了後、炭百俵を貨車に積んで上京、これを学資として東京神田の東京学院や正則英語学校で学んだ。卒業後さらに、英国人ハーデー、ルーズ、米国人カンニングハム、ヘンリー、ゲルハードなどの外国人教師の下で英語学・英文学の研鑽を積んだ。

明治37年（1904）4月、第2師団歩兵第29連隊に招集され、日露戦争の激戦地奉天戦に従軍、翌年2月28日敵弾により頭部および顔面を負傷した。同年4月19日から仙台衛戍病院（現在の宮城県議会議事堂周辺）において療養した後全快し、同年9月18日退院、同日付で除隊となった。

明治38年（1905）10月1日、仙台市東四番丁53番地に住居を構えると同時に、私塾「英育会」（その後育英塾に改組）を開塾し、英語・数学を教授した。翌年11月1日からは国語・漢文のほか地理・歴史も加えて教授するようになった。現在の学校法人仙台育英学園の原点はここにある。

開塾以来、私学による国民の教育に心魂を傾け、利吉先生が掲げる「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」を建学精神として次々と先生の理想を実現していった。大正11年（1922）には待望の仙台育英中学校を創立して、校長職に就任した。同時に学校の経営基盤の安定を図るために先生の私財を寄付して、財団法人東北育英義会を発足させた。

学校の敷地取得、校舎の建設、設備の充実のため日々東奔西走し、心身の過労も意に介さず、学校発展の使命達成に全力で傾倒した。この先生の魂に触れた職員・生徒・同窓生・保護者なども先生の期待に応え、それぞれが真摯な活動を展開した。その教育実績は日々向上の一途を辿り、「ここ、仙台の地に育英あり」の世評を得るようになり、私学教育の殿堂が出現した。昭和16年（1941）10月7日、創立者加藤利吉先生は約20年にもおよぶ校長職を退き、理事長職に専念した。

同年12月8日、太平洋戦争が勃発し、学校教育も完全な戦時体制となった。昭和20年（1945）7月9日夜半から仙台は米軍機から投下された焼夷弾による空襲を受け、市内各地が火の海と化した。当時、東三番丁（外記丁角）にあった仙台育英中学校の新校舎は昭和14年（1939）10月の建築であり、最も新しい大講堂220坪（726㎡）は昭和18年（1943）10月に落成したばかりの真新しいものであったが、全ての校舎1,800坪（5,940㎡）をこの時焼失した。翌朝、廃墟と化した学び舎に立たれた先生の教育にかける決意は揺るぎ無く、「仙台育英は必ず再建する」と断言し、直ちに復興事業に取り掛かった。

しかしながら、外記丁校地はGHQに接収され、その後は仙台市都市計画により緑地帯と指定されたため、同地での学校再建は不可能となった。そのため市内の施設を転々としながら、最後は行く場所が無くなるとう宮城野原にある薬師堂の軒下を借り、文字通りの青空教室のなかで授業は続けられた。

先生の土地探しの姿はまさに阿修羅の如きものであった。心に思い描いた候補地の夢は何回も無残に打ち砕かれたが、昭和21年（1946）4月になって元陸軍用地宮城野原（現在の宮城野校舎）のうち7,000坪（23,100㎡）を新校地として獲得することができた。さらに、戦後の資材不足、社会経済の混乱によって学校復興のための校舎建築は困難を極め、昭和23年（1948）4月から学校直営による校舎の建築作業が開始され、翌年3月に第1期工事600坪（1,980㎡）の新校舎の完成を以てようやく苦難の青空教室は解消された。

明治38年（1905）10月1日の開塾以来、専ら加藤利吉先生の個人経営と私財の寄付によって進展してきた本学園は戦後、施行された新学制や私立学校法に基づく学校法人によって経営管理され、昭和26年（1951）3月1日には学校法人仙台育英学園として誕生することとなった。昭和37年（1962）3月24日、81歳で生涯を閉じられたが、長きにわたり私学教育の発展に寄与された功績は大きく、偉大なる校長としてここに顕彰碑を設置し、東日本大震災から2年で復興を成し遂げた宮城野校舎にその名を刻む。

平成25（2013）年3月24日

学校法人仙台育英学園理事長 加藤雄彦

※ これは、宮城野新校舎GP（Great Principal）ホールに掲げられている碑文の写しである。『至誠力行』という言葉は、創設者の加藤利吉先生が生前、生徒・保護者に人間としての生き方を説くときに使われた。

※ 力行（リッコウ）の辞書的な意味は、努力して行うことである。

秀光中学校 仙台育英学園高等学校 校歌

(昭和5年2月22日制定)

加藤利吉 作詞
服部正 作曲

$\text{♩} = 104$
mf

なんめいはるか あまーかける こうこく
すみし あおばじょう ああ まつしまや
ちがのうら てんのめぐ めーる あおばきよー
う こーこに ねざしし いくえいの
わがまなーびやにさか えあれ

校歌

作詞 加藤利吉
作曲 服部正

- 一、南冥遙か天翔る
鴻鶴棲みし青葉城
ああ松島や千賀の浦
天の恵める青葉郷
ここに根ざしし育英の
我が学舎に栄光あれ
- 二、平和の光民主国
護憲の教えあきらかに
我が日の本の国のはな
学びの園に咲き匂う
斯の道守る育英の
我が学舎に栄光あれ
- 三、見よ北辰は燦として
理想の彼岸に輝けり
高く掲ぐる自治の旗
進取の意気に輝けり
旗ひるがえる育英の
我が学舎に栄光あれ

仙台育英学園沖縄高等学校 校歌

(令和5年4月制定)

加藤雄彦 作詞
仲宗根 泉 作曲

♩=100

intro

みよ

A

5

さまんさんとのふりそそぐひのひかりた
へんさいいとわのみちをアアもむちかからほう
しをいだとくわわここうどととなう

9

しをいだとくわわここうどととなう

B

13

コガについしーごじょうのわしんゆのいきをしめさんとま
かみにつどつしいしかりんしやのわしじつごのいうけんをしめさんま
ちなにつどつしいしかりんしやのわしじつごのいうけんをしめさんま

C

17

なびのそこのにかがやけりわが
なびのそこのにかがやけりわが

21

なびやにさかえあれいけ

inter

25

れ みよ

30

れ わがまなびやにさかえあれ rit.

校歌

作詞 加藤雄彦
作曲 仲宗根泉

- 一、見よ 燦燦と降り注ぐ陽のひかり
大志を抱く
若人と コザに集いし 互譲の輪
追取の意気と示さんと
学びの園に輝けり
我が学び舎に栄光あれ
- 二、行け 至誠の道と歩むらから
奉仕を尊ぶ
若人と 中頭に集いし 感謝の輪
自治の意気と示さんと
学びの園に咲き匂う
我が学び舎に栄光あれ
- 三、立て 平和の尊さを守るこころ
寛容を知る
若人と 沖縄に集いし 理想の輪
質実剛健と示さんと
学びの園に明らかに
我が学び舎に栄光あれ

I-LION SPIRIT

(平成8年4月1日制定)

加藤雄彦 作詞

小椋佳 作曲



たいしをいなく ぼくたちに アイライオンが よんでいる



いっしょにとぼうよ あおきおおぞら りそうはたかく はてしなく はば



たけ はば たけ ひやく のつば さ

一、大志を抱く 僕たちに

アイライオンが呼んでいる

いっしょに飛ぼうよ 青き大空

理想は高く 果てしなく

はばたけ はばたけ

飛躍の翼

二、勇気讃える 僕たちに

アイライオンがほえている

いっしょに行こうよ 未来の世界

夢は大きく りんりんと

輝け 輝け

栄光の夢

〔学園旗：I-LION〕



仙台育英学園の伝統を継承しつつライオン（創立者加藤利吉先生の愛称であった）のもつ全知、全能を讃え常に未来を考え、グローバルな視野で世界にはばたき、栄光をかちとる人間像を象徴させた。この学園旗の愛称は IKUEI-LION の意味を表わす

アイライオン

I-LION

とした。

（平成4年4月1日制定）

〔校章〕



本校のある宮城野は、古来宮城野萩で有名な地であり、この萩の葉を図案化した。建学精神である「至誠」「質実剛健」「自治進取」の調和と末広がりの発展を期している。

（昭和37年4月1日制定）

《生活信条七箇条》

仙台育英学園の生徒として「至誠」「質実剛健」「自治進取」の建学精神を体し次の信条の実践に努める

（互譲）一、われらは互いに譲り合い

（切磋）一、われらは互いに磨き合い

（錬磨）一、われらは互いに鍛え合い

（規律）一、われらは互いに戒め合い

（寛容）一、われらは互いにゆるし合い

（感謝）一、われらは人や物に感謝し

（奉仕）一、われらは率先して事にあたり

明るい人間関係を建設する

真の学力を身につける

強靱なからだをつくる

節度ある生活をする

和やかな学園を建設する

慎み深い生活をする

世のため人のために力を尽くす

建学精神

至誠

質実剛健

自治進取

《学校法人仙台育英学園の使命》

1 仙台育英学園の発祥から現在まで

仙台育英学園の発祥は、1905（明治38）年10月1日に創立者加藤利吉先生によって創立された私塾「英育会」（その後、1906年に「育英塾」と改組）にある。私塾創立以降、120年を経た現在に至るまで、仙台育英学園が位置や校名等の変遷を経ながら、私学中等教育を継続して行い、多数の有為な人材を輩出し続けているのは、加藤利吉先生の信条である^{*1}「育之春如（之を育てること春の如し）」の精神が仙台育英学園全体で浸透され続けていることに他ならない。そして、加藤利吉先生の^{*2}「不撓不屈の精神」は、^{*3}「逆転の仙台育英」というスローガンで仙台育英学園の在校生・同窓生・保護者・歴代の教職員等に継承されており、幾多の災害（戦災・人災・自然災害）に見舞われた際には、復興の原動力となっている。

特に、2011（平成23）年3月に発災した東日本大震災によって宮城野校舎が甚大な被害を受け、建て替えを余儀なくされたが、わずか2年で宮城野新校舎を完成させたことは学園復興の象徴と認識している。

2 仙台育英学園の建学精神

創立者加藤利吉先生は、1959（昭和34）年に刊行された『建学精神』の中で、仙台育英学園における半世紀以上にわたる自らの教育実践を振り返り、次のように述べられている。「私立学校はその創立者の主義理想に基づいて建設せられこれが即ち私学教育を貫く建学の精神となるのである。此の精神を発揮することにより私学教育の発達を図り民主的文化国家の形成に貢献し世界平和と人類の福祉増進にも寄与することで出来るのである。」と建学精神の重要性について述べられた。

また、『建学精神』の中では、「我が仙台育英学園の建学精神は、（一）教育に関するもの（二）経済に関するものとの二つに分けることが出来る。」とされ、「教育に関するもの」においては、「家庭人・社会人・国民・世界人として能く其の本務を尽くし得る人物を養成することを目的」とし、実行方法を徳育・智育・体育によるものとされた。

一方、「経済に関するもの」においては、「私学は官公立学校と異なり始め個人の手で創立され法人の形式で経営して行かねばならぬのであって授業料・入学金・寄附金等が収入の財源である。（中略）この為には学校の信用を高めて行くことが必要である。即ち優良なる教員を集め設備を完成することは素より建学精神の普及徹底を図り就業規則を励行し以って充実した教育を施し在校生も父兄も満足し得る様でなければならない。かくして一般社会の信望を博することは勿論国の要望にも応えることが出来る訳である。」とされた。

これらを踏まえ、加藤利吉先生は、1913（大正2）年3月12日に設立した仙台育英学校の生徒心得にある「常ニ道徳ヲ重ンジ高潔ナル人格ノ修養ニ努ムベキ事ナリ」「事ニ当リテ勤勉且ツ堅忍ニシテ進取的タルベキ事」といった言葉を^{*4}「至誠」^{*5}「質実剛健」^{*6}「自治進取」に集約し、「家庭人・社会人・国民・世界人として能く其の本務を尽くし得る人物」の必要な徳として仙台育英学園の教育に関する建学精神とされたのである。

3 仙台育英学園の使命と目的・目標

前述した創立者加藤利吉先生の言葉を借りれば、「私学教育の発展を図り、独立した教育機関として民主的文化国家の形成に貢献し、世界平和と人類の福祉増進に寄与する」ことが、仙台育英学園の使命である。

また、「一、優良なる教員を集め設備を整備することは素より建学精神の普及徹底を図り勤務規定を励行する。一、充実した教育を施し在校生も保護者も満足し得るように図る。一、家庭人・社会人・国民・世界人として能く其の本務を尽くし得る人物を養成し、一般社会の信望を博することは勿論国の要望にも応える。」が、仙台育英学園の学園運営の目標である。

そして、「家庭人・社会人・国民・世界人として能く其の本務を尽くし得る人物」が「民主的文化国家の形成に貢献し、世界平和と人類の福祉増進に寄与する」ために身に付けるべき徳こそ、「至誠」「質実剛健」「自治進取」となる。

換言すれば、建学精神「至誠」「質実剛健」「自治進取」の継承を教育理念とした学校経営を実施することで、「民主的文化国家の形成に貢献し世界平和と人類の福祉増進にも寄与するために、家庭人・社会人・国民・世界人として能く其の本務を尽くし得る人物を養成する」ことが、仙台育英学園の設置する学校の教育目的(= スクール・ミッション)となる。そして、この「家庭人・社会人・国民・世界人として能く其の本務を尽くし得る人物」が指す人物像及び備えるべき資質・能力・態度については、各学校・各課程・各コースにおいて設定し、それが各学校・各課程・各コースの教育目標である。これらの設定の際、建学精神ならびにそれを体した生活信条七箇条を反映させる。

4 I-Challenge125

仙台育英学園は、2005（平成17）年10月1日に創立100周年記念日を迎えたが、この時を機に、来る2030年（創立125周年）に向け、新たな学校づくりを推進していこうという思いと決意を込めて、“I-Challenge125”というロゴマークを設定した。2021（令和3）年10月1日には仙台育英学園の経営計画として“I-Challenge125”を再定義した。具体的には、「学校法人仙台育英学園は、私学であることを自覚しながら、創立125周年となる2030年までの達成を目標として掲げられたSDGs（Sustainable Development Goals）に対し、ESD（Education for Sustainable Development）の視点も取り入れた事業によって取り組む。そのために学校法人としてKGI（Key Goal Indicators）とKPI（Key Performance Indicators）を設定し、2030年10月1日までにKGIにおけるI～Vの全てでA評価となるよう努める。」である。“I-Challenge125”の各KPIについては理事長のもとで毎年度調査および評価を行い理事会・評議員会に概要が報告される。



【注】

- ※1 「育之春如（之を育てること春の如し）」
之（大切なもの）を育てるには、春が万物を育むようにしなければいけないという意。
- ※2 「不撓不屈の精神」
1945（昭和20）年7月10日の仙台大空襲に際し、当時最先端の施設・設備を備えた外記丁の校舎が焼失し、校地もGHQに接收の上、仙台市当局による買収計画に直面した際、加藤利吉先生は次のように述べられた。
「今日迄幾千人の若人が本学園を巣立って社会の為に活躍している。此等若人の心の故郷が本学園であり、本学園の廃滅は彼らの心の故郷を滅失せしむる結果となる。本学園復興の道が如何なる棘に覆われ様と又如何に険しい道であっても、不撓不屈の精神を振起し万難を排除して、本学園を復興せしむることこそ本学園建学の神髄なり」
- ※3 「逆転の仙台育英」
仙台育英学園には、高校合格の成就感だけでなく敗北感や挫折感などの様々な想いを抱いて入学してくる生徒諸君もいるが、本学園で3年間地道に勉強や部活動等に専念することにより、将来への大いなる大志を抱き、その大志を見事に実現していく生徒が非常に多いという事実を「逆転の仙台育英」と表し、加藤雄彦現校長がこれを説いた。
- ※4 「至誠」
建学精神の最上位に位置づけているもので、“真心という人間のもつ自然な心”そのものであり、生徒・教職員に期待する“人間としての生き方・考え方”である。「天に星あり 地に花あり 人の心に誠あり」という言葉で象徴される。
- ※5 「質実剛健」
単に質素儉約で身体を鍛えるだけでなく、生きていくための力である体力と精神力を自己研鑽によって、総合的に累積していくということ。
- ※6 「自治進取」
どんな時代にあっても自己の能力に限界を定めず、さらに挑戦していくということ。

1 国際バカロレア (International Baccalaureate, 以下 IB)

1 IBの使命 (原文)

「国際バカロレア (IB) は、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的としています。この目的のため、IBは、学校や政府、国際機関と協力しながら、チャレンジに満ちた国際教育プログラムと厳格な評価の仕組みの開発に取り組んでいます。IBのプログラムは、世界各地で学ぶ児童生徒に、人がもつ違いを違いとして理解し、自分と異なる考えの人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることのできる人として、積極的に、そして共感する心をもって生涯にわたって学び続けるよう働きかけています。」

2 本学園の国際バカロレアプログラムの歩み

IBは国際バカロレア機構 (本部：ジュネーブ) が提供する国際的な教育プログラムのことである。本学園では2013 (平成25) 年夏からその導入が検討され、外国語コースでの実施が適切と判断して研修が実施された。その後、2015 (平成27) 年夏から、秀光中等教育学校におけるMYP (Middle Years Programme) からの系統的なIBプログラム実施に向けた協議が始まり、同年 8 月には同学校をMYP候補校として申請し、2016 (平成28) 年 2 月にはトライアル校認定を受け、同年 4 月からMYPを実施してきた (2018年 3 月正式認定)。

こうして推進する中でMYPからDP (Diploma Programme) への円滑な接続を進めるための 2 つの方向、既得の仙台育英学園高等学校のDPへの接続と、秀光中等教育学校での新たなDP認可申請が検討されてきたが、検討の末、次のように判断した。

秀光中等教育学校での中高一貫教育の利点は残しながら、組織改編によるIBの接続が適当と決断した。そのため、秀光中等教育学校でMYPを実施しつつ、仙台育英学園高等学校に秀光コースを設置してDPに接続し、続いて2021 (令和 3) 年に秀光中学校を設置して、MYPからDPへ接続を盤石なものとする事とした。

本学園はこの体制により、一層、国際バカロレアプログラム推進に向けて取り組む所存である。

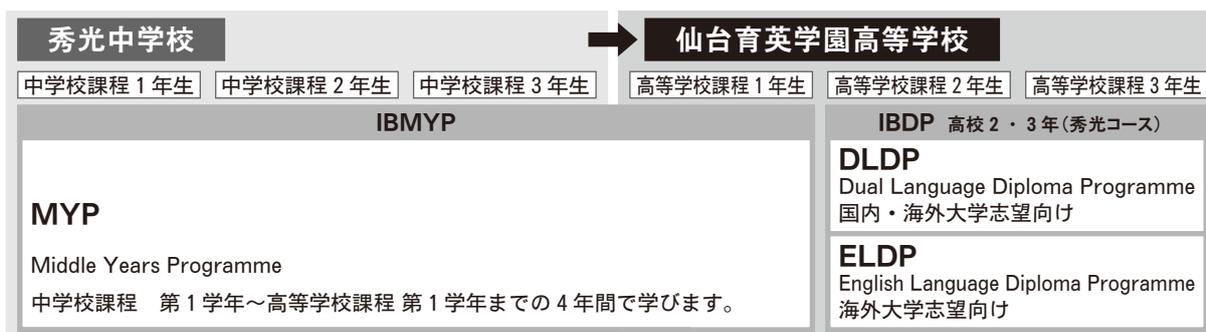
3 国際バカロレアプログラムの更なる充実に向けて

世界で活躍できるグローバルシティズンの育成のため、本学園は「秀光創立25年日記念教育計画」に基づき、組織改編を推し進めてきた。これにより、[秀光中等教育学校・仙台育英学園高等学校] から [秀光中学校・仙台育英学園高等学校] へ学校組織が変わった。

秀光中学校は2021 (令和 3) 年に開校した。

- 2020 (令和 2) 年度の秀光中等教育学校の入学生は、前期課程で 1 年次まで学び、2 年次には秀光中学校に編入した。
- 秀光中学校卒業後には、内部進学選考試験を経て、仙台育英学園高等学校の秀光コースへ進学、あるいは、自身の希望する仙台育英学園高等学校の他のコースへの進学が可能となった。
- この組織変更により、MYPの学習プログラムにDPのカリキュラムを円滑につないで、IB教育の更なる充実を目指す。

【概要図】「入学後の 6 年間」



4 IBの学習者像

秀光中学校並びに仙台育英学園高等学校はIBの学習プログラムであるMYP及びDPの認定校として、生徒及び教職員はIBの学習者として次の目標に向かって努力する。

探究する人

私たちは、好奇心を育み、探究し研究するスキルを身につけます。ひとりで学んだり、他の人々と共に学んだりします。熱意をもって学び、学ぶ喜びを生涯を通じてもち続けます。

知識のある人

私たちは、概念的な理解を深めて活用し、幅広い分野の知識を探究します。地域社会やグローバル社会における重要な課題や考えに取り組みます。

考える人

私たちは、複雑な問題を分析し、責任ある行動をとるために批判的かつ創造的に考えるスキルを活用します。率先して理性的で論理的な判断を下します。

コミュニケーションができる人

私たちは、複数の言語やさまざまな方法を用いて、自信をもって創造的に自分自身を表現します。他の人々や他の集団のもの見方に注意深く耳を傾け、効果的に協力し合います。

信念をもつ人

私たちは、誠実かつ正直に、公正な考えと強い正義感をもって行動します。そして、あらゆる人々をもつ尊厳と権利を尊重して行動します。私たちは、自分自身の行動とそれに伴う結果に責任をもちます。

心を開く人

私たちは、自己の文化と個人的な経験の真価を正しく受け止めると同時に、他の人々の価値観や伝統の真価もまた正しく受け止めます。多様な視点を求め、価値を見だし、その経験を糧に成長しようと努めます。

思いやりのある人

私たちは、思いやりと共感、そして尊重の精神を示します。人の役に立ち、他の人々の生活や私たちを取り巻く世界を良くするために行動します。

挑戦する人

私たちは、不確実な事態に対し、熟慮と決断力をもって向き合います。ひとりで、または協力して新しい考えや方法を探究します。挑戦と変化に機知に富んだ方法で快活に取り組みます。

バランスのとれた人

私たちは、自分自身や他の人々の幸福にとって、私たちの生を構築する知性、身体、心のバランスをとることが大切だと理解しています。また、私たちが他の人々や、私たちが住むこの世界と相互に依存していることを認識しています。

振り返りができる人

私たちは、世界について、そして自分の考えや経験について、深く考察します。自分自身の学びと成長を促すため、自分の長所と短所を理解するよう努めます。

5 IB 3つの学習プログラム

IBは、「IBの使命」を掲げ、「IBの学習者像」にある人物を認定校が輩出できるよう、生徒の年齢に応じて学習プログラムを提供し、認定校に対して5年に一度、学習プログラムが適切に運営されているか再審査する。

【PYP (Primary Years Programme)】

3～12歳を対象にして、精神と身体の両方を発達させることを重視したプログラムである。

【MYP (Middle Years Programme)】

11～16歳を対象にして、これまでの学習と社会のつながりを学ばせるプログラムである。どのような言語でも提供可能だが、秀光では日本語と英語のイマージョン授業を一部取り入れている。

【DP (Diploma Programme)】

16～19歳を対象にして、所定のカリキュラムを2年間履修した上で最終試験を経て所定の成績を修めた者には、国際的に求められる大学入学資格（国際バカロレア資格）が与えられる。原則として、英語、フランス語又はスペイン語での実施が求められるが、仙台育英学園高等学校では日本語と英語で行うデュアルランゲージプログラムの実施が初めて認められ、継続して実施している。

6 生活信条七箇条、IBの学習者像、行動の記録の対照表（本校独自）

秀光中学校並びに仙台育英学園高等学校の生活信条七箇条、IB認定校として目指すべきIBの学習者像、中学校指導要録における行動の記録、との対照表は以下のとおりである。

生活信条七箇条	IBの学習者像	行動の記録
規律	信念をもつ人	公平・公正 責任感
切磋	探究する人	自主・自律
	知識のある人	
	考える人	
互譲	振り返りができる人	公共心・公德心
寛容	コミュニケーションができる人	
感謝	心を開く人	生命尊重・自然愛護
錬磨	バランスのとれた人	基本的な生活習慣
		健康・体力の向上
奉仕	思いやりのある人	勤労・奉仕
	挑戦する人	思いやり・協力 創意工夫

7 IBのロゴ



これはIBのロゴで、IBロゴと呼ばれている。IBの初等・中等教育プログラムを設置している学校は世界中で5,800校（文部科学省HPよりR6.12.31時点）にのぼる。このロゴは認定校がIBの使命を果たす責務を負っていること、そして、世界中で展開されているIBワールドスクールのネットワークの会員であることを表している。

2 Pearson BTEC

1 プログラム導入のねらい

BTECプログラムは、世界中の70を超える国でGCSE中等教育修了一般資格（1-2レベル）、GCE一般教育修了上級レベル（レベル3）、大学学位（レベル4-7）と同じように認められている資格である。BTEC資格は教養科目の知識とキャリア重視の実践的な応用を組み合わせ、大学進学と就職の両方の道に進むことを可能にしている。

本学園は、2021年12月に日本初のPearson BTECセンターの承認を受け、Pearson（ピアソン）とリバプールフットボールクラブが共同開発した「Pearson BTECインターナショナル レベル3 スポーツ ディプロマ」のプログラムを英進進学コースで導入した。学習指導要領では、総合的な探究の時間、評価の観点における「学びに向かう力、人間性」、批判的思考などが重視されている。これは変化の激しい予測不可能な時代（VUCA）を生き抜くための力を育成することを目指している。このような中、本学園は不易な教えである建学の精神を大切にしながら、キャリア形成を重視した国際資格であるBTECプログラムを導入することで、生徒がBTEC資格に係る学修を通して、グローバル社会で実践的に活躍できる生徒の育成を目指している。

具体的には英進進学コースにおいて、様々な教育機関や社会人外部講師と連携を図り、デザイン思考やアントレプレナーシップを取り入れた起業体験などを組み込んだカリキュラムマネジメントにより、効果的な教育課程を編成し、変化の激しい時代を生き抜くための力を育成していく。特に課外活動にも熱心で向上心のある生徒がBTECによるキャリア形成を重視した学びを通して、なりたい自分をイメージでき、将来への希望を持って、グローバルな社会で活躍できる力を身につけられるといった「逆転の仙台育英」を実現する。

2 プログラム導入後の取り組み

- 英進進学コースにおける起業家（アントレプレナーシップ）教育のモデルクラスとしてBTECクラス（定員30名）を設け、2年時と3年時の2年間で720時間のBTECプログラムによるスポーツのキャリア形成と資格取得のための教育課程を編成し、教科との関連を図ったカリキュラムマネジメントを行う。
- BTECプログラムに係るPearsonの教材等を翻訳し、仙台育英学園独自のものとして確立するとともに、様々な教育機関や社会人外部講師と連携を図り、デザイン思考やアントレプレナーシップを取り入れた起業体験を導入するなどの実践を重ね、日本版BTECプログラムの開発や普及に取り組む。
- 大学や専門学校、各種企業などへのBTECの周知を図り、入試や就職採用試験における認定資格となることを目指す。

3 プログラムの内容

<p>Pearson BTECインターナショナル レベル3 ディプロマ 「スポーツ」 720h</p>	<p>指導時間は2年間で720時間 サイズは2つの国際Aレベルに該当します。少なくとも11のユニットを履修し、5つの必須ユニットを含む。そのうち2つのユニットはPearson Set Assignment (PSA) で評価されます。必須のコンテンツは25%以上必要です。</p>	<p>この資格は、2年間のフルタイム学習プログラムとして、スポーツを主な要素として、補完的または対照的な他の分野の学習と並行して学びたい学習者を支援するために設計されています。また、本資格は他のBTECインターナショナル レベル3資格や国際Aレベルを含む学習プログラムの一部として取得された場合、大学等高等教育への進学をサポートします。 (Pearson BTEC仕様より抜粋)</p>
---	--	---

本学園での履修ユニット ピアソンが定める課題* 必修ユニットM 選択ユニット○

ユニット (番号とタイトル)	指導時間	必修選択構成
1 健康とウェルビーイング, スポーツ *	90	M
2 スポーツとアクティブレジャー業界のキャリア *	90	M
11 スポーツビジネス	60	M
22 ビジネスとしてのリバプールフットボールクラブ *	60	○
24 応用スポーツ解剖学・生理学	90	M
26 身体能力のための栄養学	60	○
27 スポーツ心理学	60	○
29 スポーツにおける技術的・戦術的スキル	60	○
32 スポーツパフォーマンス分析	60	○
34 スポーツ開発	60	M
35 実践的なスポーツパフォーマンス	30	M

■ は 2 年時, ■ は 3 年時

BTECとUCAS, GCEの換算表 (Pearson BTEC仕様より抜粋)

BTEC Diploma (720 h) の成績	UCAS Point	GCE Level	
Distinction* Distinction*	112	A*A*	○UCASはイギリスの大学に入学する際の総合出願機関 ○GCEはイギリスとその連邦諸国における学業修了認定制度 ○評価段階 優良可の3段階において Distinctionは優に相当 Meritは良に相当 Passは可に相当
Distinction* Distinction	104	A*A	
Distinction Distinction	96	AA	
Distinction Merit	80	BB	
Merit Merit	64	CC	
Merit Pass	48	A	
Pass Pass	32	C	

4 Pearson BTECのロゴ



International
Academy

3 ケンブリッジ国際教育 (Cambridge International Education)

1 概要・加盟校 (公式HP「About us」より)

ケンブリッジ国際教育 (以下ケンブリッジ) は、ケンブリッジ大学の一流の教育・研究部門に支えられ、世界をリードする学術研究、学習、アセスメントをグローバルに提供する非営利団体である。3歳から19歳までの児童・生徒を対象とした国際教育を提供する世界最大の組織で、国際教育における世界的に認められたパフォーマンス基準となる、公正かつ妥当で信頼性の高い評価を提供することにおいて、160年以上の実績がある。質の高いカリキュラム、評価、教材、サポートなど、世界的に信頼されている教育の枠組みにより、現在、世界160カ国、1万校以上の学校、約100万人の学習者がケンブリッジのカリキュラムで学んでいる。

2 ケンブリッジの教育への考え方

ケンブリッジは、世界中の学校、政府、パートナーと協力し、教育が個人と社会に与えるプラスの影響を高めるため、非営利団体として、変化し続ける世界で成功するために必要な知識、理解力、スキルを、ケンブリッジの学習者一人ひとりが習得できるよう、全力でサポートしている。学習者が成功し、積極的な影響を与えるために必要な自信を、私たちは提供している。

3 ケンブリッジ・パスウェイ

学習者が世界で通用する力を身につけることを支援する3歳から19歳までの5段階の教育を提供しており、幼児教育から大学入学準備までをシームレスに繋いでいる。各段階は前段階を基礎とし、学習者の知識、理解力、スキルをさらに向上させる。認定校は、その段階と幅広い科目を選択して、各校のニーズを満たし、生徒の意欲を高めるカリキュラムが設計できる。各ステージは、学習者が教室や教室外で、また大学やその後の人生で成功するための準備を支援する。90ヶ国2350校以上の大学がIGCSEやAS&A Levelを含むケンブリッジの資格を正式に認定しており、その中には英国の全大学と米国の1000校以上も含まれている。ケンブリッジ・パスウェイは、世界各地の一流大学への扉を開く。

- 1. Cambridge Early Years : Age 3+ 遊びを中心としたプログラム
- 2. Cambridge Primary : Age 5+ 英語、数学、科学を含む10科目以上
- 3. Cambridge Lower Secondary : Age 11+ 英語、数学、理科を含む10科目以上
- 4. Cambridge Upper Secondary : Age 14+ IGCSE™: 70科目以上, Oレベル: 40科目以上
- 5. Cambridge Advance : Age 16+ A&AS level: 50科目以上

4 学習者属性

学校、高等教育、そして人生で成功するために必要な学習習慣とは何か? という問いから2011年にケンブリッジ学習者の5つの属性が開発された。これらは相互に依存し、幅広い教育理念やアプローチと密接に関連していて、それぞれ単独で考えることはできない。これは各学校独自のカリキュラム編成、実践的解釈のサポートを目的としたアプローチでもある。

	ケンブリッジ学習者	ケンブリッジの教師陣
Confident	自分自身や情報や考えを扱うことに 自信 がある。	教科指導に 自信 を持ち、生徒一人ひとりを学習に引き込む。
Responsible	自分自身に 責任 を持ち、他者に対応し、他者を尊重する。	自分自身に 責任 を持ち、他者に対応し、他者を尊重する。
Reflective	学習者として 反省 し、学ぶ能力を伸ばす。	学習者として 振り返り 、実践を発展させる。
Innovative	革新的 で、新たな、そして将来的な挑戦への備えがある。	革新的 で、新たな、そして将来的な挑戦への備えがある。
Engaged	知的にも社会的にも 積極的 で、変化をもたらす準備ができている。	知的、職業的、社会的に 積極的 で、変化をもたらす準備ができている。

5 外国語コースでのケンブリッジ国際教育導入のねらい

- 外国語コースの教育目的と育成する資質・能力
 - ・ 教育目標
高度な言語能力・思考能力・文化理解により、多文化共生にむけて至誠ある振舞いをする国際人（cosmopolitan＝グローバルな女性）を育成する
 - ・ 育成する資質・能力
自他の文化を発信できる人 = 【言語能力】
自他の文化を比較できる人 = 【思考能力】
自他の文化を受容できる人 = 【文化理解】

- 導入の目的・意義
 - ・ 外国語コースでは、生徒が国際人として文化の発信・比較・受容ができるよう、言語能力・思考能力・文化理解の資質・能力を育もうとする中、ケンブリッジ国際教育プログラム（English Language, Thinking Skills, Global Perspectives & Research）は非常によく適合している。
 - ・ 導入により生徒と教職員は、世界基準の教育プログラムにアクセスすることが可能となり、ケンブリッジ国際教育プログラムの実践と改善のプロセスを通じて、国際人として生徒の成長を促し、本校の一層の発展を目指す。
 - ・ この世界基準の教育実践は、生徒と教職員にとって価値ある実践となり得るだけでなく、東北地方、宮城県といった地域社会にとっても世界基準の教育へのアクセスをもたらし、地域社会での教育機会・環境の充実につながると考える。

- 導入科目とカリキュラム編成
外国語コースの目標とする人間性、国際理解力を育むべく、以下のケンブリッジカリキュラム科目を導入して教育課程を編成する。
 - ・ 言語能力

1年	IGCSE	「English as a second Language」
2・3年	AS&A Level	「English Language」
 - ・ 思考能力

2・3年	AS&A Level	「Thinking Skills」
------	------------	-------------------
 - ・ 文化理解

1年	IGCSE	「Global Perspectives」
2・3年	AS&A Level	「Global Perspectives & Research」

6 ロゴマーク



2024年12月13日 仙台育英学園高等学校はCambridge International Schoolに認定されました。ケンブリッジの学校として世界160カ国以上、10,000校以上の学習者からなる専門家のグローバル・コミュニティーの一員です。

Cambridge International School

4 2025（令和7）年度 教育方針と重点課題

創立125周年（I-challenge125）をゴールと見立てて、本学園の建学精神・運営目標・教育目的と各校舎のテーマに則り、次に示す教育方針を掲げ、日々実践する。

◎ 各校舎のテーマ

宮城野校舎：Language, Music & Science

多賀城校舎：Sport, Culture & Globalization

ILC校舎：Self, Connection & Career

栄光校舎：Independence, Chance & Try

東和蛭雪校舎：Pride, Glory & Tradition

I 教育方針

A 特色ある教育の推進

秀光中学校，仙台育英学園高等学校全日課程及び広域通信制課程，仙台育英学園沖縄高等学校のそれぞれの特色を生かした教育課程を編成・実施するとともに，生徒・保護者の多様なニーズに応え，先進的な教育を推進する。

B 教員の資質・能力の向上及び保護者との連携

創立125周年にむけて，創立者加藤利吉先生の掲げた建学精神，特に，「至誠」に通ずる「天に星あり 地に花あり 人の心に誠あり」の精神で生徒・保護者に接すべく，教員の資質・能力の向上と保護者との連携を推進する施策を行う。

C 進路指導・個に応じた指導の充実

仙台育英学園進路指導推進本部（秀光中学校，仙台育英学園高等学校全日課程及び広域通信制課程，仙台育英学園沖縄高等学校を横断する組織）では，学園横断的に進学・就職・起業に係る進路指導の充実・発展を図る。また，多様なニーズ・事情を持った生徒に対して個に応じた指導を実施する。特に，仙台育英学園高等学校（全日課程）では卒業生総数の高等教育機関への進学率を70%以上とすることを量的目標として掲げる。

なお，2024年度の大学進学率（短期大学を含む）は下記の通りであった。秀光中学校卒（2021年度は秀光中等教育学校前期課程修了生）で，仙台育英学園高等学校における卒業生総数（26名）に対する大学進学率は84.6%（2023年度84.6%，2022年度90%，2021年度87.1%，2020年度85.7%）であった。進学希望者に対する進学率は同じ84.6%（2023年度84.6%，2022年度90%，2021年度87.1%，2020年度85.7%）であった。仙台育英学園高等学校（上記の秀光中学校卒業生分も含む）における卒業生総数（948名）に対する大学進学率は63.0%（2023年度61.6%，2022年度65.3%，2021年度61.2%，2020年度60.1%）で，進学希望者に対する進学率は92.7%（2023年度87.9%，2022年度90.9%，2021年度87.6%，2020年度86.5%）であった。

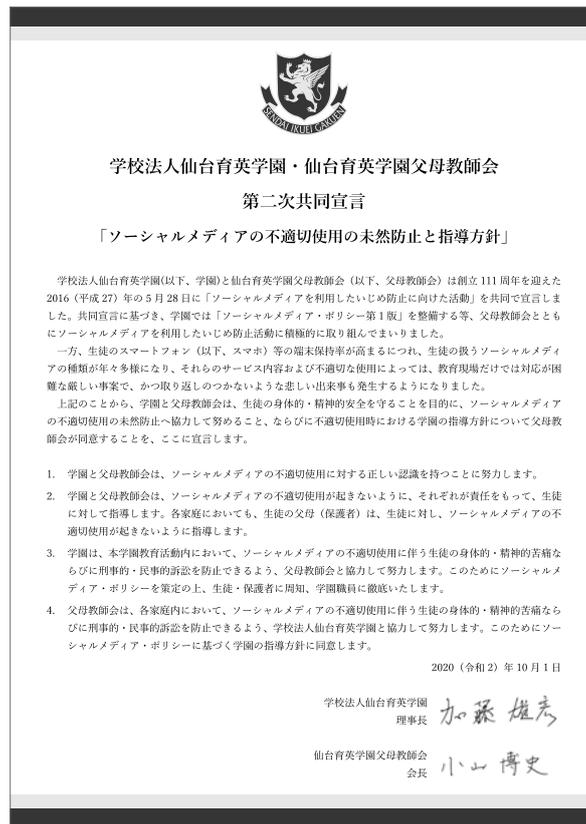
[2025年3月25日現在]

D 人間性を涵養する教育の充実

「建学精神」に即した人間性を涵養することを推進し，校内外におけるボランティア活動などの積極的な参加を促すとともに，他者の尊厳を傷つける考え方や行動に対して適切かつ厳しく対応する。

本学園では「いじめは，いじめを受けた生徒の心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず，その生命や心身に重大な危険を生じさせるもの」と認識し，生徒の生命・

心身の安全を保護するため、全職員が一致協力するとともに、地域、家庭、関係機関との連携の下、「いじめは人間として絶対に許されない」との雰囲気を学校全体に醸成し、いじめ防止対策を講じる。なお、2016年5月28日に行われた仙台育英学園父母教師会総会においては「ソーシャルメディアを利用したいじめ防止に向けた活動」について、2020年10月1日に同総会（書面開催）においては「ソーシャルメディアの不適切使用の未然防止と指導方針」についての共同宣言が理事長と父母教師会長で採択され、「ソーシャルメディア・ポリシー第2版」（2020年10月1日更新）に則り、教員と保護者が一丸となってソーシャルメディアによる「いじめ」や「不適切使用による重大事件・事故」に対応することが確認された。



E ハード・ソフトウェアの充実及び広域化

教育活動を行う施設・機器の充実と教員の校務環境の向上を図ることで、生徒への教育効果と生徒・保護者・教員の満足度を最大限に高める。また、広域化を推進することで建学精神の伝播を促進する。中でも、広域通信制課程の学則定員の増加が認められたこと、2025年度にILC青森の2001年度開校から25年目を迎えること、ILC沖縄では3学年が揃う仙台育英学園沖縄高等学校との施設共用が本格化することを踏まえ、2025年度はILC青森ならびにILC沖縄の新しい施設整備に係る着工時期について計画し、一部着工できるよう努める。

F 国際理解教育の推進

本学園の国際理解教育は1961（昭和36）年から始まり、既に半世紀以上もの歴史を積み重ねてきている。紡いできた伝統を糧に、本校と姉妹校・提携校として締結している100を超える国外の学校や提携機関との連携とさらなる拡大により、出身国割合をバランスよくしながら受入留学生の増加を目指す。また、カナダ、ハワイ、台湾、韓国での海外短期研修や部活動の海外遠征のみならず、短期・中期・長期の留学や指定校推薦制度・スカウト制度の充実を含む海外大学進学体制の整備を推進する。これらを充実・発展させるために、ILHAでの活動、UPAA（海外協定大学推薦制度）への加盟、桐原書店・留学情報館との連携を継続して実施する。

II 各教育方針の重点課題，横断的な方策

教育方針	重点課題	2025年度における横断的な方策		
A 特色ある教育の推進	カリキュラムマネジメントの推進	各学校・各課程・各コースで各教育目標に基づき，生徒に修得させたい資質・能力を明示した3つの方針※やグランドデザインを見直す。 ※ 3つの方針（中央教育審議会初等中等教育分科会の資料より） ■ 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー） スクール・ミッション等に基づき，生徒の卒業後の姿を見据えて，学校教育活動を通じて生徒にどのような資質・能力を育成することを目指すのかを定める基本的な方針となるもの。 ■ 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー） 育成を目指す資質・能力に関する方針を達成するために，どのような教育課程を編成し，実施し，学習評価を行うのかを定める基本的な方針となるもの。 ■ 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー） スクール・ミッション，育成を目指す資質・能力に関する方針，教育課程の編成及び実施に関する方針，に基づく教育内容等を踏まえ，入学時に期待される生徒像を示す基本的な方針となるもの。		
		各学校・各課程・各コースにおける，3つの方針やグランドデザインに基づく教育課程表を見直す。		
		各学校・各コースにおける，3つの方針やグランドデザインに基づく学年別カリキュラム一覧表，総合的な探究の時間のカリキュラム構造，特別活動のカリキュラム構造を策定する。		
		各教科・総合的な探究の時間・特別活動においてシラバスを作成の上，シラバスに沿った観点別評価やエピソード記録による評価を実践する。		
		観点別評価にIBのATLの要素を取り入れた実践を行う。		
		文科省通知「高等学校等における遠隔教育の実施に係わる留意事項について」（2021年2月26日）に則り，教科や学校設定科目の一部でオンライン授業を年間計画に反映し，シラバスを策定する。 ※同通知より，「年間2単位時間以上（1単位の場合には年間1単位時間以上）を対面授業」とし，その内容で体験的な学習が確保されているのであれば，残りの単位時間は年間計画を策定の上で遠隔授業での実施が可能となっている。		
	IB教育の推進	DLDP・ELDPの整備を推進し，DP資格取得を履修生に推奨する。 秀光中学校及び仙台育英学園高等学校におけるMYP・DPの6年一貫教育への展開を継続する。特に教科横断的な単元の充実を図る。 学園全体へ研究成果（特に探究型概念学習，観点別評価，ATL，PP，TOK，EE）を共有する。		
			BTECの推進	BTECの実践を英進進学コースで行い，英進進学コースにおけるアントレプレナーシップ教育（総合的な探究の時間）にBTECの要素を取り入れる。 学園全体へキャリア教育とアントレプレナーシップ教育に係る研究成果を共有する。 BTEC資格による進路開拓を行う。

教育方針	重点課題	2025年度における横断的な方策
A 特色ある教育の推進	ケンブリッジ国際教育の推進	Cambridge International IGCSE, AS & A Levelsを外国語コースで導入し、年次進行で実践する。 学園全体へ英語教育と国際理解教育に係る研究成果を共有する。
	理科教育の推進	学園全体の医歯薬系志望者のニーズを踏まえ、特別進学コースにおけるMAPを推進する。 MAPの特別講座であるメディカル・コ・ラボ（東北大学などの医歯薬学部との高大連携）において体験型学習（実験など）を取り入れる。 秀光中3年生、特別進学コース1年次を対象とした秀光サイエンス・チャレンジ（岩手医科大学との高大連携）を整備する。 特別進学コース・秀光コースの選択講座であるサイエンス・コ・ラボ（東北大学との高大連携）の拡充を図る。 サステナブル農業教育プログラム（通称：SAAP =Sustainable Agricultural Academic Program）を立ち上げ、東京大学との高大連携により、屋内農場を生徒が主体的に運営する。 東和蛭雪校舎におけるカワナプロジェクトを推進する。
	アントレプレナーシップ教育の推進	スタディサプリ探究講座（興味研究型・課題研究型）、ハーバード式リーダーシップ養成プログラム（ケースメソッド）、BTECの要素を踏まえた学びを通じて社会課題の解決にむけたプランシートを作成し、提案・実践にむけて各種コンペティションに参加する機会を設ける。この社会課題の一事例としてDX（Digital Transformation）を捉え、宮城大学との高大連携講座を推進する。沖縄高校に実践内容を共有する。 1年次の「Time Tact」、2年次の「ジャパンチャレンジャープロジェクト」、「ギルドヒーローズ」での企業連携講座を通じて、企業課題を知って企業への改善提案を経験した上で、資金調達・解散までの一連の起業体験をし、SDGsの観点でのキャラクターデザイン（キャラクターストーリー）による事業アイデアを企業に提案する。3年次には「創業計画書」を作成・発表した上で起業を想定したHP作りをする。このような一連のアントレプレナーシップ教育プログラム（iUP）を開発する。英進進学コース、情報科学コースに実践内容を共有する。
	ICT教育の推進	「初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン（Ver. 2.0）」（2024年12月26日）を踏まえ、生徒の学習活動における生成AI利活用について各学校・課程・コースのニーズに応じて推進する。 生徒の学習管理、協働学習、反転学習を促進するサービス（Classi, Slack, Zoom, Classi Note, MetaMoji, Google Classroom, YouTube, スタディサプリ）を用いた教育活動を推進する。ただしSlack, ZoomからGoogle Classroomへの移行について研究する。
	英語（外国語）教育の推進	Weblioによるオンライン英会話（T, S・M, G, A）の活用を推進する。 英会話アプリケーション（G, A）の活用を推進する。公文英語（F, O）の活用を推進する。 IELTS, TOEFL, 英検などの英語4技能を測れる英語外部検定試験やコース横断的に到達度を測れるEATへの受検を促進し、状況を分析する。 英語以外の外国語教育を推進する。

教育方針と重点課題

教育方針	重点課題	2025年度における横断的な方策
A 特色ある教育の推進	英語（外国語）教育の推進	英語と日本語によるイマージョン授業（数学科，社会科，理科，音楽科，技術・美術科，保健体育科，TOK，EE）を推進する。（S・M，G）
		プログラミング英語の学習を推進する。（J，O）
	スポーツの振興	生徒が主体的に企画・活動する「スポーツ週間」「スポーツチャレンジ」「球技大会」などの実施を通して学校体育の一層の充実を図り，生徒の基礎体力の向上と集団活動で培われる能力の向上を推進する。
		各体育会運動部の活動の充実と生徒による各体育会運動部への応援を促進することで，全校生徒の士気の高揚を図る。また，各体育会運動部の活躍について，HP・SNS・校内掲示物・配布物を通じて校外外へ積極的に発信する。
		ハーバード式リーダーシップ養成プログラムを通じて，部活動のマネジメント層に対してケースメソッドに基づくリーダーシップ教育を推進する。
		各体育会運動部の部規則を部長が定めようとして，所属生徒から保護者連名で内容に同意を得ることで，建学精神を体した生活信条七箇条の実践に部活動を通して取り組むよう推進する。
		秀光中学校・仙台育英学園高等学校の中高一貫体制での体育会運動部やNPO法人レオクラブジャパンの活動を推進する。
	文化活動の振興	生徒会活動の一層の充実を図り，育英祭や総文祭といった文化活動に全校生徒が主体的に参加できるよう推進する。
		茶道，華道などの日本伝統文化への取り組みを推進する。
		各文化会学芸部の活動の充実と生徒による各文化会学芸部への応援を促進することで，全校生徒の士気の高揚を図る。また，各文化会学芸部の活躍について，HP・SNS・校内掲示物・配布物を通じて校外外へ積極的に発信する。
ハーバード式リーダーシップ養成プログラムを通じて，部活動のマネジメント層に対してケースメソッドに基づくリーダーシップ教育を推進する。		
各文化会学芸部の部規則を部長が定めようとして，所属生徒から保護者連名で内容に同意を得ることで，建学精神を体した生活信条七箇条の実践に部活動を通して取り組むよう推進する。		
秀光中学校・仙台育英学園高等学校の中高一貫体制での文化会学芸部の活動を推進する。		
B 教員の資質・能力の向上及び保護者との連携	Brush UP 研修会の推進	国語，英語，数学，社会，理科，情報の各教科で年間2～9回のBrush up 研修会を教員各自の研鑽の場として実施する。特に，調査書様式変更に伴い，観点別評価に係る研鑽を積むため，コンサルタントの模擬授業や大学教授等を招いた授業検討会を開催する。
	父母教師会活動の推進	保護者とのコミュニケーション能力（特に要望抽出，定性的・定量的な説明責任の意識・能力）向上を目的に，保護者父母教師会が主催する会議・研修への教員参加を推進する。
	保護者との連携強化	個々の生徒の実態に応じたきめ細やかな生徒指導を保護者と連携して行うために，保護者との面談週間を設定する。
C 進路指導・個に応じた指導の充実	学力（学びに向かう力）の質的向上	各学校・各課程・各コースの各教育目標に即した学力（3観点，コンピテンシー）の定着を確認できる模試や能力測定を進路指導推進本部が中心となって実施し，教科教育センターや70% CLUB統括推進委員会と連携する。

教育方針	重点課題	2025年度における横断的な方策
C 進路指導・個に応じた指導の充実	学力（学びに向かう力）の質的向上	小テスト・単元別テストの活用により教授上の反省と指導計画の改善を行う。
		「総合的な（探究の）時間」を活用し、校内・校外（学会、コンテスト、市場など）での発表・販売を視野にいたした成果物作成を推進する。
		教員全体での進路ガイダンス力や進学指導力の向上に努め、小論文・面接指導での個別指導力を充実させる。
		一部講習で受講者全員を対象にオンライン講習とし、課外活動により参加しやすい指導体制とする。
		学習塾・スクールTOMAS・トモノカイやチューターと連携した対面・オンラインによる校内塾を開講し、個に応じた指導を充実させる。
		家庭学習時間の確保と自立学習を推進する。
		資格取得を奨励する。例. 簿記, ITパスポート, 情報処理検定, 情報セキュリティマネジメント, MOS, 漢検, 数検, N検, 危険物取扱, 自動車運転免許など
		ボランティア活動をはじめ幅広く校外活動に参加した場合、単位として認定する。
		総合型選抜（従来のAO）、学校推薦型選抜（従来の指定校）での高等教育機関合格者に対する進学前フォローアップ講座を充実させる。
		単位未取得者に対する補習などの指導を徹底する。必要に応じて広域通信制課程で併修・学修対応を行い、学習進捗をサポートする。
	広域通信制課程において、生徒のライフスタイル等を尊重した上で年間履修単位数が概ね15～25単位数（卒業年数3～5年）以上になるよう自立学習スキル向上の指導を充実させる。	
	生徒の知識・技能を中心とした学力層での差を踏まえた個別最適な学習を実施するために、教科教育内における単元別自由進度学習をICT教材（スタディサプリ）によって推進する。この際に、自由進度学習を観点別評価で評価できるように研究を進める。	
	ポートフォリオ活用の推進	Classiのポートフォリオ機能の活用を推進する。
キャリア教育の推進	高大連携講座・企業連携講座・説明会・大学訪問・職場訪問を実施する。またキャリア意識や世の中への問題意識を高めるための校内外研修・講座を地域・他地域・海外にて行う。卒業生による在卒懇を積極的に実施し、卒業後のキャリアイメージ醸成を図る。	
70% CLUBの推進	第8次計画では質的目標の項目追加及び各コース独自目標の策定及びそれらの実施を推進する。	
学校不適応対策の推進	中途退学者未然防止のため、各学校・各コースに中途退学者防止担当者を配置し、学級担任と予防対策を講じる。	
	中途退学者未然防止のため、その早期発見・早期指導に努め、学級担任は学年主任・生徒部・生活向上本部・教頭・中途退学者防止担当者との連絡を密にする。	
	中途退学者未然防止のため、教務規程の柔軟な運用を実施する。	
	進路変更希望者等に関して広域通信制課程と連携を推進する。	

教育方針と重点課題

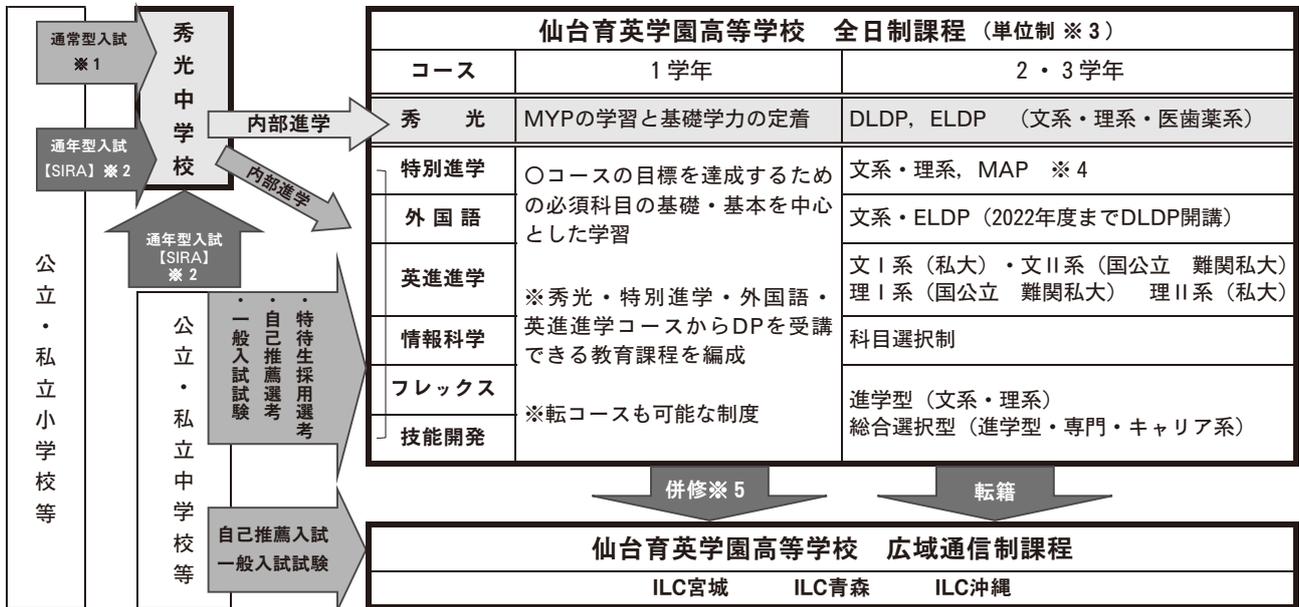
教育方針		重点課題	2025年度における横断的な方策
C	進路指導・個に応じた指導の充実	学校不適応対策の推進	カウンセラーの配置によるきめ細やかな個別指導を推進・充実する。
			画一的に学級担任制度だけを導入するのではなく、生徒・保護者・教職員の実態に応じて担任団制度の導入を推進する。
			不登校生徒、高校生活不適応生徒、成績不振生徒に対して同一の対応をせず、二者・三者面談を密にし、個に応じた支援策を講じる。
D	人間性を涵養する教育の充実	道徳教育の研究推進	秀光中学校における道徳が教科化されたことに伴い、価値設定と「建学精神の時間」との関連化を図りながら年間計画とシラバスの策定を行う。また、評価方法を確立する。
		「建学精神の時間」の研究推進	総合的な探究の時間を活用し、各コースの特色ある教育やキャリア教育と関連した「建学精神の時間」の年間計画・シラバス改善の推進する。また、「建学精神の時間」における学習方法を「主体的・対話的で深い学び」とするための研究を推進する。(例. キャリア・アップノートの指導改善と活用)東和堂雪校舎を活用した「建学精神の時間」の導入授業の在り方を研究する。
		いじめ防止・発見の推進	各種講習・講座を通じ、生徒の他者を思いやる気持ちを育むことを推進する。いじめ早期発見・対応のため、いじめやネットへの誹謗中傷の書き込み等に対応した組織体制を確立する。例. 本学園の「学校いじめ防止基本方針」(2014年4月1日)を受けた「いじめ防止対策推進委員会」の設置、定期的アンケート、「いじめ防止緊急連絡(いじめホットラインTEL 022-353-6105)」, SNS投稿の定期的調査など
		社会貢献活動の促進	ボランティア活動の企画・運営を積極的に推進する。地球環境美化活動を推進する。福祉関係諸機関との連携による身体・視聴覚障害者(児)へのボランティア活動を推進する。
		基本的な生活習慣定着の促進	はつかりの会により、シジュウカラガンが七北田低地に再び飛来するように取り組む。
			毎朝のHRや行事ごとに「生活信条七箇条」の唱和・掲示教育を行う。
			学校生活正常化運動(ゼロ・ディフェクト)を推進する。そのために「正しい制服の着用」「清潔感溢れる髪型」「マナーの向上」「いじめの未然防止」を最重点指導とする。
			「ソーシャルメディア・ポリシー」に則り、SNS利用上のマナーとルールを厳守できるよう指導する。
			交通安全の徹底を図り、交通ルール・マナーを身に付けるよう指導する。 例. 自転車点検, JRの乗り方指導, 生徒会による朝の交通安全指導, 自転車通学のヘルメット着用, 自転車保険加入など
			5SR(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ・リサイクル)の向上にむけて生徒を指導し、環境美化への配慮を促進する。
生徒間での言葉遣いについて指導し、言語環境への配慮を促進する。			
E	ハード・ソフトウェアの充実及び広域化	教員の校務環境の向上	校務のICT化を推進する。 例. 教員一人一台Surface導入, 生成AI(Copilot等)導入, 会議のWEB化, 書類・申請の電子化, インターネット環境のセキュリティ向上によるイントラネットの縮減, リモートワークの研究, 電子黒板の積極活用, Classi, BLEND, Slackを通じた生徒・保護者との連絡・アンケート・出欠確認の電子化・卒業後の連絡網形成
		入試及び広報活動における校務負担軽減施策の研究を推進する。	

教育方針		重点課題	2025年度における横断的な方策
E	ハード・ソフトウェアの充実及び広域化	教員の校務環境の向上	5SR（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ・リサイクル）の向上を推進する。
		教育施設・備品の充実	多賀城校舎の柔道場の安全対策工事を実施する。
			ILC青森のユートリーでの学習機会を確保しながら、湊高台校舎の拡張を推進する。
			ILC沖縄の学則定員増加と仙台育英学園沖縄高校との共用体制を踏まえ、「南冥校舎」の新設を推進する。
			「割れ窓理論」を鑑み、施設・備品破損時における報告の迅速化と修繕の早期化を推進する。
			秀光中学校，仙台育英学園高等学校全日制・広域通信制を対象としたオンライン図書館を推進する。
		寮の質の向上と量の充実	多賀城セクション内における生徒配置や施設・設備環境を継続的に確認する。
		安全・防災計画の改善	大川小学校の判例を参考として、「学校安全・学園防災計画」「危機管理マニュアル」を改善するとともに、必要な物資の事前確保を推進する。
教育施設の広域化	石巻学習センター，登米学習センター，山形学習センターの充実化を推進する。また，東和蛭雪校舎の活用を推進する。		
F	国際理解教育の推進	国際交流の活発化	本学園生徒と海外大学留学生との交流。海外研修（短期・中期・長期），交換留学，海外部活動遠征，ホームステイなどを推進する。また，海外での留学・研修について可能な範囲で単位認定等を進める。
		海外留学生の積極的受け入れ	出身国割合がバランスよくなるように努めながら海外留学生の受け入れを推進する。
			JSL（Japanese as a Second Language）教室を設置することで帰国生・海外留学生の入学前・入学後日本語指導を展開し，状況を分析する。
			専門職教育（介護）の提供を視野にいれた留学生受け入れを各種団体・法人との連携を活用しながら推進する。
		ILHAの活動推進	海外大学進学などの広い視野を育むことを目的に，本学園生徒のハワイ研修の研修内容の改善を推進する。※ ILHA … I-LION HAWAII SCHOOL
海外大学進学指導体制の充実	海外大学進学アドバイザーを中心に，専門の外部機関と提携し，全学園的に海外大学進学指導ができる体制構築を推進する。		

5 2025（令和7）年度 教育課程の体系・3つの方針

〈教育課程の体系〉

本学園は生徒の個性や特性・能力に応えるため、全日制課程には7つのコースと通信制課程を設置している。本学園への小学校・中学校からの接続や教育課程の体系は以下のとおりである。



- ※1 【通常型入試】 適性型入試，教科型入試，秀光PAの3種類がある。
- ※2 【SIRA】 小学校6年生と中学校1～3年生を対象とした通年型入試(出願資格については規定がある)
- ※3 【単位制】 原則として3年間で74単位以上を取得すれば卒業できることから，生徒の側に立った措置に変更することが可能
- ※4 【MAP】 Medical Academic Programme (医歯薬系大学志望向け)
- ※5 【併修】 同一高等学校に置かれている全日制の課程，定時制の課程及び通信制の課程相互の併修が認められており，全日制課程の生徒の修得単位が不足した場合，本校の広域通信制課程での単位修得も可能

〈変形学校週6日制の実施〉

2017年（平成29年）年度までは，全コースにおいて授業時数確保のための学校週6日制を実施
 2018年（平成30年）年度からは，コースによって異なるが原則として土曜日を月2回は休業日
 2019年（令和元年）年度からは，月2回程度土曜日を休業日とする「変形学校週6日制」を実施

「3つの方針」について（中央教育審議会初等中等教育分科会の資料より）

- 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）
 スクールミッション等に基づき，生徒の卒業後の姿を見据えて，学校教育活動を通じて生徒にどのような資質・能力を育成することを目指すのかを定める基本的な方針となるもの。
- 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）
 育成を目指す資質・能力に関する方針を達成するために，どのような教育課程を編成し，実施し，学習評価を行うのかを定める基本方針となるもの。
- 入学者受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）
 スクールミッション，育成を目指す資質・能力に関する方針，教育課程の編成及び実施に関する方針に基づく教育内容を踏まえ，入学時に期待される生徒像を示す基本的な方針となるもの。

6 教育目標

秀光中学校・仙台育英学園高等学校 秀光コース

〈秀光中学校・秀光コース〉

(全日制普通科単位制, 4学期制, 男女共学, 宮城野校舎)

A) 教育目標

高度な学力・豊かな感性・生涯学習者としての自覚を持ち、
持続可能な社会の構築のため”至誠”によって貢献するグローバルシティズンの育成

B) 進路指導目標

医歯薬系を含む国内難関大学・海外大学へ、主に一般選抜・総合型選抜（IB入試を含む）・海外大学入試を活用して進学することを目指す。

C) 概要

「秀でた知性，光り輝く感性」をテーマに1996年に秀光中学校として開校した。その後2003年に東北初の中高一貫校に改編された秀光中等教育学校（以下，秀光という。）となり，2021年4月に秀光中等教育学校（前期課程）を秀光中学校へ組織改編の上，秀光中学校・仙台育英学園高等学校の併設型中高一貫校となった。2025年度は30周年となる。

D) 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

教育目的（＝スクールミッション）が反映された教育目標の達成に向け，本学園のIB生として求める態度（＝3 Be）を備えた生徒を育てることを目的に，中高6年間で引き出す資質（生徒の視点では体現）と育成する能力（生徒の視点では習得）を下記のとおり設定する。

■ 3 Be

- ・誠実で自信を持ち，グローバルな視点で意見を発信できること。
- ・学びに対して責任を持つこと。
- ・地域社会と国際社会における諸問題の解決に革新的態度で取り組むこと。

■ 資質

- ・生活信条七箇条：切磋，奉仕，互譲，寛容，感謝，錬磨，規律
- ・IBの学習者像：探究する人，知識のある人，考える人，振り返りができる人
思いやりのある人，挑戦する人，コミュニケーションができる人
心を開く人，バランスのとれた人，信念をもつ人

■ 能力

- ・コミュニケーション，社会性，思考，自己管理，リサーチ

E) 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

- 人間性と学びに向かう力を育むべく，下記のとおり教育課程を編成する。
 - ・Language, Music & Scienceを教育の柱とし，学習の方法としてMYP・DPを採用する。

教育目標・3つの方針

DPは日本語と英語によるDLDP (Dual Language Diploma Programme), 国語以外全て英語によるELDP (English Language Diploma Programme) を実施する。

- LanguageではCEFR B1レベル (英検 2級程度・GTEC 1000程度・TOEFL iBT 55程度) 以上の英語力を身に付けるために到達度別のクラス編成を行う。
- Musicでは一人一楽器卒業時までには演奏できるように、教育課程上で音楽教育の時間を加配する。
- Scienceは中学校課程でサイエンス・チャレンジ (岩手医科大学との連携講座など), 高校課程でのサイエンス・コ・ラボ (東北大学との高大連携講座) を行う。
- 秀光コースの第2年次以降は, DLDPか日本語 B 以外全て英語で行うELDP (English Language Diploma Programme) のいずれかを選択できる。
- 外部機関主催の各種コンクール・大会への応募作品作成やIB教育の学習課題の作成への十分な時間確保のために定期考査は第1学期と第3学期のみ行う。

■ 評価方法は下記のとおりとする。

- MYP対象学年である中学1年生から高校1年生までは, 学習指導要領に基づく3つの評価観点 (【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】) とMYPの評価観点を連動させることで評価を行う。
- 高校2年生から高校3年生では, 学習指導要領に基づく3つの評価観点 (【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】) とDPの評価観点を連動させることで評価を行う。
- 生徒の自己評価・他者評価, 教員の評価など多面的に人間性と学びに向かう力の評価を行う。

F) 入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)

建学精神, 教育目標, 進路指導目標に共感し, 資質・能力の体現と習得を目指そうとする入学者について, 求める資質・能力に基づいて募集する。秀光中学校の募集にあたっては, 適性検査型入試, 教科型入試, 秀光PA (Potential Admission) 入試, Shukoh IB Rolling Admission (SIRA) を実施し, 受験生の適性や潜在的な資質・能力を多面的かつ総合的に評価する。秀光コースの募集にあたっては, 内部進学選考, 特待生採用選考, 一般入試を実施し, DPへの適性や潜在的な資質・能力を多面的かつ総合的に評価する。

■ 秀光中学校募集で求める資質・能力

- 3 Beで掲げる生徒像や生活信条七箇条・IBの学者像に向けて努力する姿勢がみられること。
- 小学校で学習する基本的知識を有すること。加えて, その基本的知識を応用できる能力, もしくはLanguage, Music & Scienceや諸活動での秀でた能力を有すること。
- 進路目標が仙台育英学園高等学校の各コースの進路指導目標と一致していること。

■ 秀光コース募集で求める資質・能力

- 3 Beで掲げる生徒像や生活信条七箇条・IBの学者像に向けて努力する姿勢がみられること。
- MYPで学習する基本的知識・スキルを有すること。加えて, その基本的知識・スキルを応用できる能力, もしくはLanguage, Music & Scienceでの秀でた能力を有すること。
- 進路目標が秀光コースの進路指導目標と一致していること。

G) 主な重点施策・指導内容（「教育方針と重点課題」からの一部抜粋と独自設定）

重点課題	重点施策・指導内容
カリキュラムマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 人間性・学びに向かう力の評価についての研究・実践を行う。 ● 3つの方針やグランドデザインに基づく学年別カリキュラム一覧表を学期ごとに見直す。 ● 各教科においてIBの様式に従ってシラバスを作成の上、シラバスに沿った観点別評価を実践する。
IB教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習方法・カリキュラムとしてMYP・DLDP・ELDPを導入・展開する。 ● 教科横断的な単元の充実を図る。2025年度は英語歌舞伎（音楽科・英語科・ESS部）に取り組む。 ● 他コースへ研究成果を共有する。
理科教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 特別進学コースにおけるMAPと秀光中学校での学びの連携を推進する。 ● MAPの特別講座であるメディカル・コ・ラボの整備を推進する。 ● DLDPやMAPを意識した中3～高1を対象とした秀光サイエンス・チャレンジ（2025年度は岩手医科大学との高大連携実施）を推進する。 ● 東北大学連携講座であるサイエンス・コ・ラボの拡充を図る。 ● SAAP（Sustainable Agricultural Academic Program）「持続可能な農業教育プログラム」（植物工場）の探究活動を実施する。
ICT教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● Chrome Book（中1～3）とPC（高1～3，BYOD形式）をOwn PCとして運用する。 ● 生徒の協働学習や反転学習を促進するサービス（Classi, Slack, Zoom, Classi Note, YouTube）を用いた教育活動を推進する。
英語（外国語）教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● Weblioによるオンライン英会話を推進する。 ● 英語と日本語によるイマージョン授業（数学科，技術・美術科）を推進する。 ● ESS部による放課後課外講習を継続する。 ● TOEFL-iBTやコース横断的に到達度を測れるEATへの受検を促進する。（高3でTOEFL-iBT 60点以上） ● College Pathwayの活用推進
スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> ● 秀光中学校・仙台育英学園高等学校の中高一貫体制での体育会運動部の活動を推進する。 （2025年度は特に陸上競技部（短距離），ビームライフル射撃）
文化活動の振興	<ul style="list-style-type: none"> ● 秀光中学校・仙台育英学園高等学校の中高一貫体制での文化会学芸部の活動を推進する。 （2025年度は特にオーケストラ部，ESS部）
キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● グリーンスクール，カーボンニュートラルカードゲーム（中1），ワールドピースゲーム（中2）を実施する。 ● STANDコンサートをラジオFM仙台放送実施する。 ● INTILAQと連携して起業体験研修（中1），職場体験（中2）を実施し，カナダGLA（中3）やPP（高1）の学習に結びつける。
70% CLUBの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外大学進学を目標を新規に入れる。2025年度の目標は下記の2つとする。 ①第3年次の75%以上が海外大学へ出願する。 ②第2・3年次における海外大学のスカウト制度への登録を100%とする。
学校不適応対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 担任団制度を導入し，有効性について研究を行う。
道徳教育の研究推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 秀光中学校における道徳が教科化されたことに伴い，価値設定と「建学精神の時間」との関連化を図りながら年間計画とシラバスの策定を推進する。
ボランティア活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 奉仕活動（MYP），CAS（DP）を通じた実践を行う。
基本的な生活習慣定着の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎朝のHRや行事ごとに「生活信条七箇条」の唱和・掲示教育を行う。 ● 「ソーシャルメディア・ポリシー」に則り，SNS利用上のマナーとルールを厳守できるよう指導する。 ● 紙媒体・デジタル図書の双方を活かして読書活動を推進する。
国際交流の活発化	<ul style="list-style-type: none"> ● グローバルリーダーシップ研修（カナダ方面，2025年度は中3）を実施する。
海外大学進学指導体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 教頭・教務部長・進路部長・海外大学進学アドバイザーを中心に，専門の外部機関と連携する。

〈秀光中学校・秀光コース グランドデザイン〉



秀光中学校・秀光コース グランドデザイン
2025年度版

建学精神 至誠 質実剛健 自治進取	本学園の教育目的（スクール・ミッション） 私学教育の発達を担う民主的文化国家の形成に貢献し世界平和と人類の福祉増進に寄与するため、家庭と「社会人・国民・世界人として能く其の本務をなし得る人物を養成する。	IBの使命 国際バカロレアは、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、そして思いやり、に富んだ若者の育成を目的としています。
-----------------------------	--	---

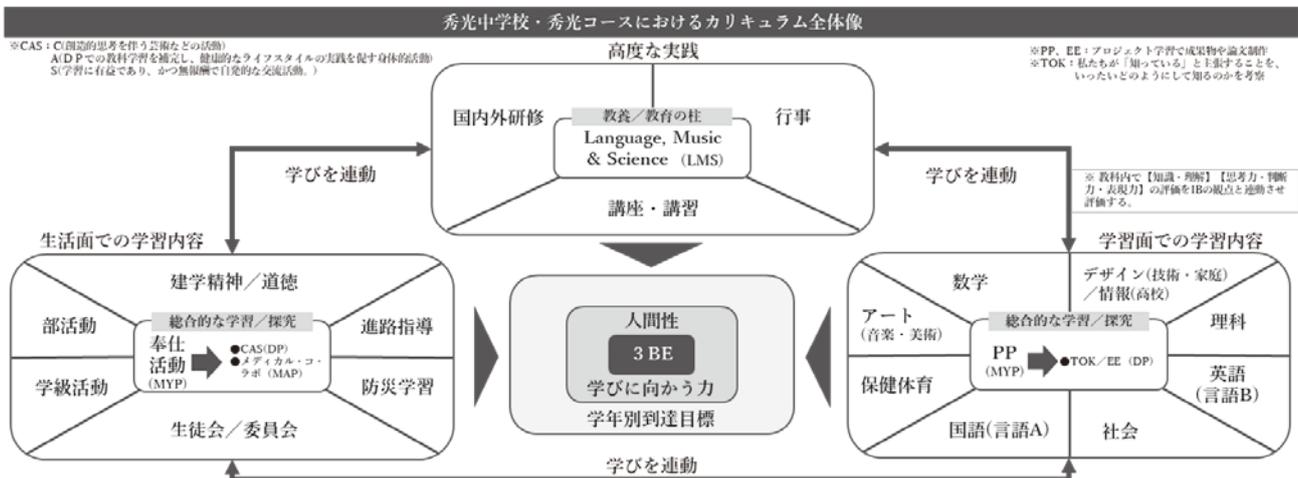
本校の教育目標
「高度な学力・豊かな感性・生涯学習者としての自覚を持ち、持続可能な社会の構築に至誠によって貢献するグローバルシティズン」の育成

教育目標にある人材が備えるべき態度：3 BE	
<ul style="list-style-type: none"> ● 誠実で自信を持ち、グローバルな視点で意見を発信できること。 ● 学びに対して責任を持つこと。 ● 地域社会と国際社会における諸問題の解決に革新的態度で取り組むこと。 	Be sincere and confident global communicators. Be responsible in our learning. Be innovative in addressing local and global issues in our community.

目指す学校像 ● 教育効果の高いカリキュラム編成や教職員の学び合いを向上させる学校 ● 生徒が安心して学べる最先端で安全な環境を整備する学校 ● 本校のファンを増やすため、家庭・地域・外部機関との積極的連携を図る学校	目指す生徒像 3BEを在学中・卒業後に体現できる生徒	目指す教師像 ● 建学の精神・生活信条7箇条・IBの学習者像に則った人間性を磨く教師 ● 教科指導力、生徒指導力、校務実践力、自己研鑽力を有する教師 ● 秀光先生の範となる教師
--	--------------------------------------	--

※生活面と学習面において【人間性】【学びに向かう力】を自己確認させ、発展を促す。		【人間性】	3BEの体現に向けて6年間で育成・修得に努める【人間性】と【学びに向かう力】	【学びに向かう力】	※IBの学習方法スキル (Approach to Learning)																																															
<table border="1"> <tr> <th>生活信条7箇条</th> <th>IBの学習者像</th> <th>生活信条7箇条</th> <th>IBの学習者像</th> </tr> <tr> <td>探究する人</td> <td>互譲</td> <td>寛容</td> <td>コミュニケーションができる人</td> </tr> <tr> <td>知識のある人</td> <td></td> <td></td> <td>心を開く人</td> </tr> <tr> <td>考える人</td> <td></td> <td></td> <td>バランスのとれた人</td> </tr> <tr> <td>振り返りができる人</td> <td>感謝</td> <td></td> <td>信念をもつ人</td> </tr> <tr> <td>思いやりのある人</td> <td>謙虚</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>挑戦する人</td> <td>規律</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	生活信条7箇条	IBの学習者像	生活信条7箇条	IBの学習者像	探究する人	互譲	寛容	コミュニケーションができる人	知識のある人			心を開く人	考える人			バランスのとれた人	振り返りができる人	感謝		信念をもつ人	思いやりのある人	謙虚			挑戦する人	規律			生活学習 高度な実践 を通して 相互に高め合う		<table border="1"> <tr> <th>大項目</th> <th>中項目</th> <th>大項目</th> <th>中項目</th> </tr> <tr> <td>コミュニケーション</td> <td>コミュニケーションスキル</td> <td rowspan="2">自己管理</td> <td>整理整頓する力</td> </tr> <tr> <td>社会性</td> <td>協働スキル</td> <td>情動スキル</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">思考</td> <td>批判的思考スキル</td> <td rowspan="2">リサーチ</td> <td>振り返りスキル</td> </tr> <tr> <td>創造的思考スキル</td> <td>情報リテラシースキル</td> </tr> <tr> <td></td> <td>転移スキル</td> <td></td> <td>メディアリテラシースキル</td> </tr> </table>	大項目	中項目	大項目	中項目	コミュニケーション	コミュニケーションスキル	自己管理	整理整頓する力	社会性	協働スキル	情動スキル	思考	批判的思考スキル	リサーチ	振り返りスキル	創造的思考スキル	情報リテラシースキル		転移スキル		メディアリテラシースキル
生活信条7箇条	IBの学習者像	生活信条7箇条	IBの学習者像																																																	
探究する人	互譲	寛容	コミュニケーションができる人																																																	
知識のある人			心を開く人																																																	
考える人			バランスのとれた人																																																	
振り返りができる人	感謝		信念をもつ人																																																	
思いやりのある人	謙虚																																																			
挑戦する人	規律																																																			
大項目	中項目	大項目	中項目																																																	
コミュニケーション	コミュニケーションスキル	自己管理	整理整頓する力																																																	
社会性	協働スキル		情動スキル																																																	
思考	批判的思考スキル	リサーチ	振り返りスキル																																																	
	創造的思考スキル		情報リテラシースキル																																																	
	転移スキル		メディアリテラシースキル																																																	

学年別到達目標						
重点項目	中学1年生(MYP)	中学2年生(MYP)	中学3年生(MYP)	高校1年生(MYP)	高校2年生(DP)	高校3年生(DP)
【人間性】と【学びに向かう力】	●【人間性】の内容把握と実践に努める。●特に「自己管理」「コミュニケーション」を定着させる。	●【人間性】の理解と実践に努める。●特に「自己管理」「リサーチ」を定着させる。	●【人間性】の理解と意欲的に実践に努める。●特に「自己管理」「社会性」を定着させる。	●【人間性】で特に苦手部分を克服できるよう取り組む。●特に「自己管理」「思考」を定着させる。	●【人間性】で特に得意分野を伸ばせるよう取り組む。●特に「自己管理」「コミュニケーション」「リサーチ」を向上させる。	●【人間性】を自発的に発揮する。●特に「自己管理」「社会性」「思考」を向上させる。●在学中に【人間性】【学びに向かう力】がどのように伸ばしたかを振り返り、意義やノウハウを下級生に伝える。
姿勢と教養	●建学精神と秀光を知り、学級・学年の一員として集団行動に励む。●身近な世界の諸問題を知り、自己を見つめ直す。	●秀光生の一員である自覚を持ち、中1の「良き手本」となる。●地域・国際社会の諸問題を探究し、自分たちができることについて検討し、意見を発信することでグローバルシティズンとしての自覚を持つ。●アイデアを具体化する方法を理解し、実践する。	●中1,2の生徒・学習習慣向上を支援し、中1,2の「良き手本」となる。●身近な世界と地域・国際社会の諸課題と向き合い、他者と協働し、自主的に社会の問題解決に取り組む。●LMSで育まれる国際的教養の価値を理解する。	●身近な世界や地域・国際社会の諸課題に関する議論とともに、専門家とともに学術的な解決策を提案する。●中学校3年間の学習や探究活動の成果を社会貢献に活かし、中3の「輪れ」になる。●LMSで伸ばす分野を見つける。	●他高3と協力してDPの活動への理解を深める。●身近な世界や地域社会の諸課題を発見・分析・評価し、解決に取り組む。●LMSの分野でオリジナルな見方・考え方を発見する。●様々な教科の見方・考え方を英語で理解する。	●ELDP生を含む下級生と協働することで伝統を創造し、社会に開かれた秀光・DPとする。●身近な世界や地域・国際社会の諸課題に潜む「本質的な問い」を考え、オリジナルな理論を創造・検証する。●LMSの学びを教科横断的に転移させる。●オリジナルな見方・考え方を海外大学でも通用するアカデミックな英語によって教科横断的に転移させる。
キャリア意識	●職業研究を行い「夢」を考え、目標を立てる。	●職業・進路研究を行い、「夢」達成に向けた具体策を考える。	●職業選択・適性・入試システムも含めた進路研究を行い、「夢」を意識した進路計画を立て、進路達成に努める。	●“夢”とリンクした大局的なキャリア観を持つ。●異なるキャリア観を持つ他者と関わりキャリア観の視野を広げる	●“夢”と密接にリンクした大局的なキャリア観を有し、現実的なキャリア計画を作成する。●異なるキャリア観を持つ他者と関わり視野の広いキャリア計画を検討する。	●“夢”と密接にリンクした大局的なキャリア観を有し、自らのキャリア計画に基づき進路達成に努める。●同様のキャリア観を持つ他者と関わりキャリア計画を精緻化する。



仙台育英学園高等学校 全日制課程

創立120年 明治38年10月1日
私塾「英育会」を創立

〈特別進学コース〉

(全日制普通科単位制, 4学期制, 男女共学, 宮城野校舎)

A) 教育目標

「育英塾」創立の精神に則り、学問への絶え間ない追究を通して学問に対する誠実性を持ち、学術の意義を理解して社会を変革するトップリーダーの育成

B) 進路指導目標

国公立大学・難関私立大学へ、主に一般選抜・総合型選抜・学校推薦型選抜を活用して進学することを旨とする。

C) 概要

1984年に設置された特別進学コースは、本学園創立期における「英育会」・「育英塾」の精神に則り、将来、トップリーダーとして活躍する人財を養成するために、真摯に学問に取り組む姿勢を学ばせ、大学入試に向けた徹底した指導を行う。そのために、東大選抜クラスの設置をはじめ、学問に係わる多様な機会を設定することで個に応じた指導を充実させる。

D) 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

教育目的（＝スクールミッション）が反映された教育目標の達成に向け、高校3年間で育む人間性と進路を切り拓く力を下記のとおり設定する。

■ 人間性

生活信条七箇条（互譲、切磋、錬磨、規律、寛容、感謝、奉仕）を体現し、3つの資質を身に付ける。

- ・学問に対する誠実性と絶え間ない探究心を持つ。
- ・生活規律の遵守と社会生活上の自治意識を持つ。
- ・学術による社会変革を起こす進取の意気を持つ。

■ 進路を切り拓く力

Approaches to Learning（コミュニケーション、社会性、思考、自己管理、リサーチ）の修得に努め、3つの能力を身に付ける。

- ・学術による社会変革を視野に入れた高い志を立て、高等教育機関進学に係わる意志決定力を身に付ける。
- ・教科横断的な知的視野と高い知的能力を身に付ける。
- ・国内外高等教育機関における英語による教養科目に対応するため、CEFR B1レベル（英検2級程度・GTEC 1000程度・TOEFL iBT 55程度）以上の英語力を身に付ける。

E) 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

■ 人間性、進路を切り拓く力を育むべく、下記のとおり教育課程を編成する。

- ・1年次においては同一の教育課程が組まれているが、生徒個々人の状況に応じてそれぞれに基礎的・発展的の学力が培われるよう、東大選抜・一般に分けたクラス編成のもとで効果的学習プログラムや課外講習体制を組む。
- ・2・3年次においては、各自の進路志望に即した理科系・文科系と東大選抜・一般を組み合わせたクラス・授業編成とする。
- ・医学・歯学・薬学部および国公立大学医療・医科学系への進学を志望する特別進学コースおよび秀光コースの生徒を対象としたMAPでは、東大選抜クラスの教育課程に加えて専門的分野での知見や実力を育成するための独自のプログラムが組まれる。
- ・教科横断的な知的視野、課題設定力と探究力を養うため、総合的な探究の時間としてTAP（Tokushin Active Program）を実施し、DPのコア科目であるTOKで授業の一部を展開する。
- ・アカデミックなキャリア意識を養うため、高等教育機関との連携講座を充実させる。
- ・CEFR B1レベル（英検2級程度・GTEC 1000程度・TOEFL iBT 55程度）以上の英語力を身に付けるため、英語4技能をバランスよく向上できるようにする。
- ・アカデミックな探究や成果発表に必要なICTスキルを身に付けるため、ICTの活用機会を充実させる。

■ 評価方法については下記のとおりとする。

- ・学習指導要領で定める【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】の「観

教育目標・3つの方針

点別評価」で評価を行う。

- ・学習における目標・内容と評価の一致のために、「シラバス」,「総括的評価に用いる課題の評価観点・ルーブリックを明示した資料」,を単元・授業・評価の実施前に生徒に対して事前に公表する。単元・授業・評価の実施後には「振り返り」を行う。
- ・評価観点における評価項目を作成する際にはIBの学習方法スキルである「Approaches to Learning」を参考とする。
- ・「総合的な探究の時間」および「特別活動の時間」では、目標・内容と評価観点を一致させながら、個々のポートフォリオに基づく評価の実施やエピソード記述による指導要録への記載を行う。

F) 入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

建学精神,教育目標,進路指導目標に共感し,「人間性」「進路を切り拓く力」に掲げる資質・能力を目指そうとする入学者について,求める資質・能力に基づいて募集する。特別進学コースでは内部進学選抜,特待生選抜試験,一般入学試験を実施し,受験生の適性や潜在的な資質・能力を多面的かつ総合的に評価する。

■ 特別進学コース募集で求める資質・能力

- ・「人間性」「進路を切り拓く力」に掲げる資質・能力に向けて努力する姿勢や意欲がみられること。
- ・5教科(数学,国語,英語,社会,理科)における中学校既習内容の基本的知識のみならずそれを応用できる知識・能力を有すること。
- ・進路目標が特別進学コースの進路指導目標と一致していること。

G) 主な重点施策・指導内容（「教育方針と重点課題」からの一部抜粋と独自設定）

重点課題	重点施策・指導内容
カリキュラムマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 特別進学コースでは「学力養成」と「進路探究」を軸とした構想を確立し,グランドデザインへの反映と系統的なカリキュラムの策定と実践に取り組む。 ● 各教科においてシラバスを作成の上,シラバスに沿った観点別評価を実践する。
IB教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 特別進学コースにおける「特進アクティブ・プログラム(TAP)」を推進する。TAPではDPのTOKを一部実施する。また,EEのノウハウを踏まえて特別進学コースの「進路探究」では高等教育機関進学後の研究計画案(背景・目的・仮説)を最終成果物とできるようにする。
理科教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 特別進学コースにおけるMAPを推進する。 ● MAPの特別講座であるメディカル・コ・ラボ(東北大学などの医歯薬学部との高大連携)において体験型学習(実験など)を取り入れる。 ● 東北大学連携講座であるサイエンス・コ・ラボの拡充を図る。
ICT教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 生徒向けICT機器(PC,スマホ,タブレット等)のBYODを研究し,PC(OSはWindowsベース)のBYODによる導入を推進する。 ● 生徒の協働学習や反転学習を促進するサービス(Classi,Slack,Zoom,YouTube)を用いた教育活動を推進する。
英語教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● Weblitによるオンライン英会話を充実させる。 ● 課外選択講座のTEPP(Tokushin English Proficiency Program)でハイレベルの英語スキルを磨く。 ● 実用英語検定の上級受検やTOEFL,EATの受検を促進し,状況を分析する。
文化活動の振興	<ul style="list-style-type: none"> ● 育英祭などの文化活動の活発化を目的に,生徒会活動の中心的役割を担うことを指導する。
学力(学びに向かう力)の質的向上	<ul style="list-style-type: none"> ● プラン2000によって「自ら学ぶ」意欲と姿勢を涵養する。 ● 小論文・面接指導,進路面談等での個別指導を充実させる。 ● 課外講習やスクールTOMASと連携した校内塾のTokushin AI School(通称:TAS)への積極的参加を促進する。
ポートフォリオ活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● Classiのポートフォリオ機能を活用する。
キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 3年間を見通した「進学指導プログラム」に基づく計画的指導体制を構築する。(課外・長期休業講習,外部模擬試験,進学講話などの充実) ● 立命館大学との高大連携プログラムを推進する。
70% CLUBの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● コース目標のうち,「一人一大学現役合格」と「質的目標」の向上を推進する。(特に国公立大学合格者増加)
基本的な生活習慣定着の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● HRや総合的な探究の時間,学校行事等を通じて,「生活信条」七箇条の唱和と日常生活での実践を推進する。 ● 服装・頭髪等の生活規律を遵守し,社会生活上の規範意識を高めるとともに,校内生活全般及び来校者に対する爽やかな「あいさつ運動」を推進する。
国際交流の活発化	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外短期研修(ハワイ)への参加を推進する。

〈特別進学コース グランドデザイン〉



特別進学コース グランドデザイン

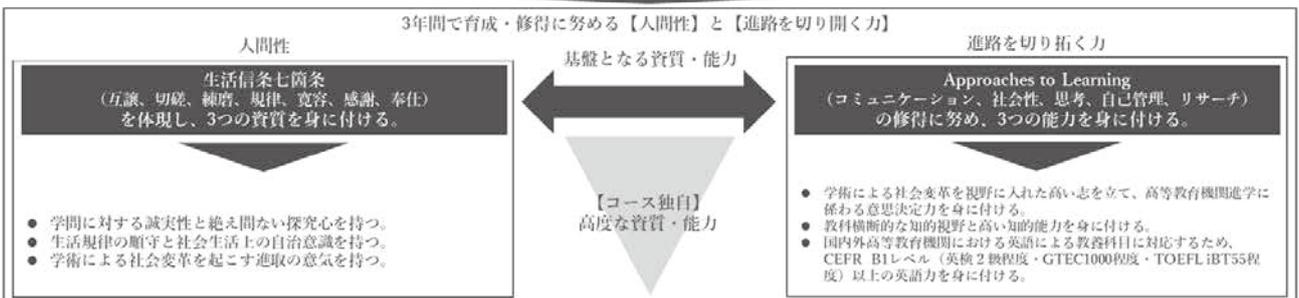
2025年度版

建学精神 至誠 質実剛健 自治進取	本学園の教育目的（スクール・ミッション） 私学教育の発達を因り民主的文化国家の形成に貢献し世界平和と人類の福祉増進に寄与するため、家庭人・社会人・国民・世界人として能く其の本務を尽し得る人物を養成する。	IBの使命 国際バカロレアは、多様な文化の理解と尊重の精神を通して、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する。探究心、知識、そして思いやり に富んだ若者の育成を目的としています。
-----------------------------	---	--

特別進学コースの教育目標
「育英塾」創立の精神に則り、学問への絶え間ない追求を通して学問に対する誠実性を持ち、学術の意義を理解して社会を変革するトップリーダーの育成

進路指導目標
国公立大学・難関私立大学へ、主に一般選抜・総合型選抜・学校推薦型選抜を活用して進学することを旨とする。

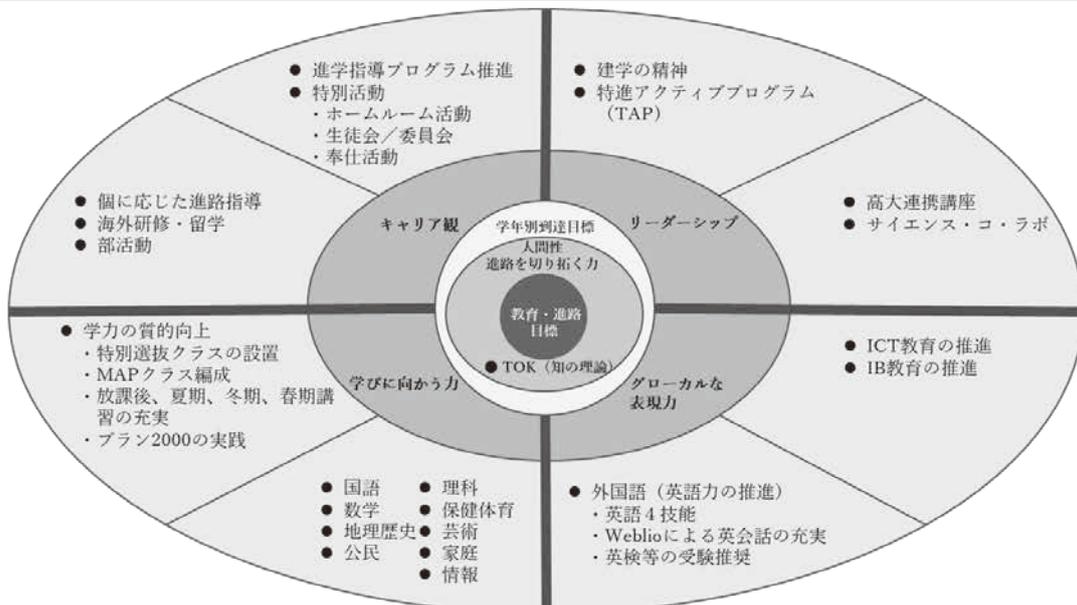
目指すコース像 ● 国公立大学・難関私立大学への進学を目指す生徒を育成するコース ● 学術の意義を理解して社会を変革するトップリーダーを育成するコース	目指す生徒像 ● 真摯に学問に取り組むことができる生徒 ● 高等教育機関進学に係わる意思決定力を身に付けた生徒	目指す教師像 ● 建学精神・生活信条七箇条に則った人間性を磨く教師 ● 教科指導力、生徒理解力、生徒指導力、授業実践力、自己研鑽力を有する教師 ● 本コース所属生徒の範となる教師
--	--	---



学年別到達目標

重点項目	1年生	2年生	3年生
人間性	● 【互譲】【寛容】【感謝】の理解と実践を通じて、協調性と社会生活への適応力を育てる。 ● 生活規律の順守と自己管理の実践により、【規律】の資質を高める。 ● 学校行事を通じて仲間との連帯を高める。	● 【規律】を順守し自らの行動を律することで、社会生活上の自治意識を高める。 ● 自分の興味関心・適正学力・なりたい職業・人生設計について考えを深め、将来の夢を志望にまで昇華させる。【練磨】【切磋】	● 主体性を持って学び、考え行動する力を身に付ける。 ● 社会の一員としての自覚と【奉仕】の心を持ち、世界で活躍し社会に貢献できる人材を育成する。
進路を切り拓く力	● 平常授業、課外講習において基礎学力をしっかりと定着させる。 ● プラン2000を通して学習習慣の確立をめざす。 ● 自分の興味関心や進路適性の分析を深めるとともに、総合的な探究の時間・TOK（知の理論）を通して学問・職業と社会問題への理解を深める。	● オープンキャンパスに積極的に参加して、学部学科・研究領域・受験科目・学費・就職状況等の様々な情報を収集し、具体的な進路計画を立てる。プレ3学年の意識で本格的に受験生0学期をスタートさせる。 ● 得意科目の学力伸長と不得意科目の克服に努めるだけでなく、国内外の高等教育機関における英語による教養科目への対応のため、英語外部検定試験等の資格試験に積極的に挑戦する。	● 自分の能力・適性・可能性を的確に把握し、保護者の意向や家庭状況もふまえて海外を含め幅広い視点で大学・学部を複数絞り込む。 ● 希望進路の達成のため日々学習に取り組み着実に学力を向上させる。安易に推薦に頼らない。 ● 大学入学共通テストをひとつの目標に、大学進学にふさわしい標準的学力を身に付ける。また、進路決定後も学力向上・資格取得のための努力を継続する。

特別進学コースにおけるカリキュラム全体像



〈情報科学コース〉

(全日制普通科単位制, 4学期制, 男女共学, 宮城野校舎)

A) 教育目標

情報技術に係る生涯学習者としての自覚・感性・能力を持ち、
地域振興に寄与する情報技術のエキスパートの育成

B) 進路指導目標

ICT関連の大学(専門職大学を含む)・専門学校へ、主に一般選抜・総合型選抜・学校推薦型選抜を活用して進学することを目指す。

C) 概要

情報科学コースは、専門的な情報処理に係る資格取得を推進することで情報技術に関わる生涯学習者としての自覚・感性・能力を養う。そのために、在学中には技能・資格取得だけでなく、社会に対する成果の披露や実演を学内外の多様な組織と連携しながら積極的に実施する。加えて、「情報」以外の学習は数学・理科が中心であるが、進路目標に応じた選択を可能にする。これらのことを通じて情報技術のエキスパートを育成し、ICT関連の大学(専門職大学を含む)・専門学校などに進学できるよう指導する。

D) 育成を目指す資質・能力に関する方針(グラデュエーション・ポリシー)

教育目的(=スクールミッション)が反映された教育目標の達成に向け、高校3年間で育む人間性と情報技術に支えられた実行力(=ICT実行力)を育むために下記のとおり設定する。

■ 人間性

生活信条七箇条(互譲, 切磋, 錬磨, 規律, 寛容, 感謝, 奉仕)を体現し、3つの資質を身に付ける。

- ・情報技術に係る生涯学習者としての自覚・感性・探究心を持つ。
- ・生活規律の遵守と社会生活上の自治意識を持つ。
- ・情報技術によって地域振興に寄与する進取の意気を持つ。

■ ICT実行力

Approaches to Learning(コミュニケーション, 社会性, 思考, 自己管理, リサーチ)の修得に努め、3つの能力を身に付ける。

- ・ICTによるキャリア形成や地域振興を視野に入れた高い志を立て、ICT関連の高等教育機関進学に係る意志決定力を身に付ける。
- ・高等教育機関進学に必要な基礎的な知的能力を身に付ける。
- ・MOS, プログラミング(Ruby, Java, C++), 情報処理検定試験(ビジネス情報・プログラミング), ITパスポート, AI活用(Python), eスポーツ, Google Playストアでのアプリ販売に関連するICTスキルを身に付ける。

E) 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)

■ 人間性, ICT実行力を育むべく、下記の教育課程を編成する。

- ・全学年次において、情報科以外の教科目としては数学・理科を主とした教育課程が組み立てられているが、普通科教育として進路目標に応じた選択を可能にする。
- ・情報科としては、情報教育プロジェクトとして①MOS試験, ②情報処理検定, ③最先端メディア系ソフト運用・プログラミングを3本柱にし、基礎的なPCの操作技術からAIを活用するプログラミングまで、地域への貢献を目標とした社会に役立つ技術力を身に付けられるような幅広い学習内容とする。
- ・総合的な探究の時間では、プロジェクト学習等を通じ、協働の取り組みによる課題解決型の実践やアプリケーションの販売を行う。
- ・学校設定科目では、情報科の専門科目を重点的に学ぶとともに、選択で国語や数学などの基礎力を確実にする科目を学ぶ。さらに、eスポーツ講座や海外研修でより視野を広げる学びの機会を設ける。
- ・ICTに関連するキャリア意識を養うため、高等教育機関や企業との連携講座を充実させる。

■ 評価方法については下記のとおりとする。

- ・2022年度入学生から学習指導要領で定める【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】の「観点別評価」で評価を行う。
- ・学習における目標・内容と評価の一致のために、「シラバス」, 「総括的評価に用いる課題の評価観点・ルーブリックを明示した資料」, を単元・授業・評価の実施前に生徒に対して事

前に公表する。単元・授業・評価の実施後には「振り返り」を行う。

- ・評価観点における評価項目を作成する際にはIBの学習方法スキルである「Approaches to Learning」を参考とする。
- ・「総合的な探究の時間」および「特別活動の時間」では、目標・内容と評価観点を一致させながら、個々のポートフォリオに基づく評価の実施やエピソード記述による指導要録への記載を行う。

F) 入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

建学精神、教育目標、進路指導目標に共感し、「人間性」「ICT実行力」に掲げる資質・能力を目指そうとする入学者について、求める資質・能力に基づいて募集する。情報科学コースでは内部進学選抜、特待生選抜試験、自己推薦選抜試験、一般入学試験を実施し、受験生の適性や潜在的な資質・能力を多面的かつ総合的に評価する。

■ 情報科学コース募集で求める資質・能力

- ・「人間性」「ICT実行力」に掲げる資質・能力に向けて努力する姿勢や意欲がみられること。
- ・特に数学科、理科における中学校既習内容の基本的知識もしくはICTに関わる知識・能力を有すること。
- ・進路目標が情報科学コースの進路指導目標と一致していること。

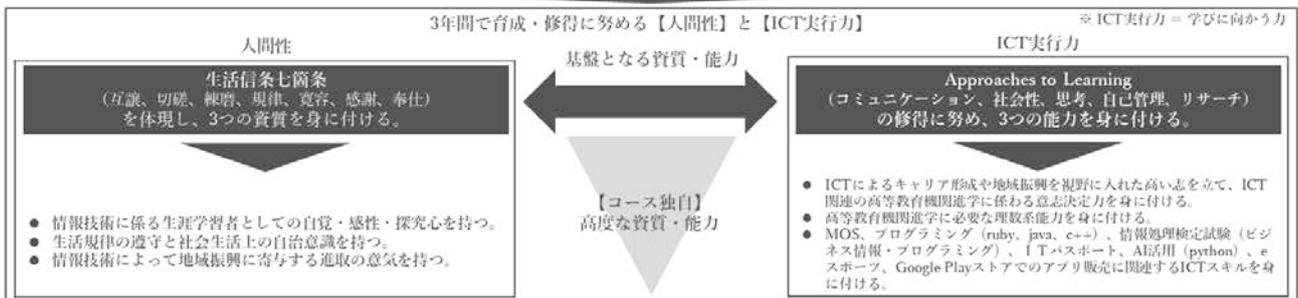
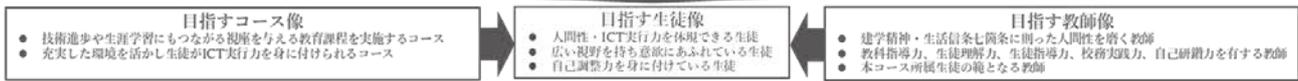
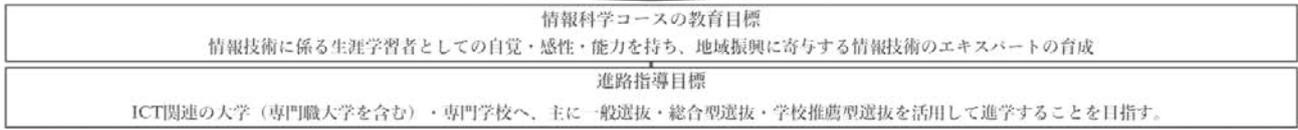
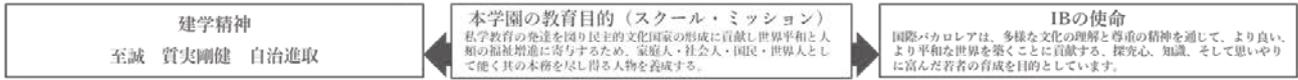
G) 主な重点施策・指導内容（「教育方針と重点課題」からの一部抜粋と独自設定）

重点課題	重点施策・指導内容
カリキュラムマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 各学校・各コースにおける、3つの方針やグランドデザインに基づく学年別カリキュラム一覧表を策定する。 ● 各教科においてシラバスを作成の上、シラバスに沿った観点別評価を実践する。 ● 文科省通知「高等学校等における遠隔教育の実施に係わる留意事項について」（2021年2月26日）に則り、教科や学校設定科目の一部でオンライン授業を年間計画に位置付け、シラバスに反映させるとともに、オンライン講座（課外講習）による実践を推進する。
ICT教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 一人一台のSurfaceの校内外活動（教科・HR・総合的な探究の時間、校外研修等）における運用を推進する。 ● プログラミング教育（Ruby, Java, C++）・AI教育（Python）を実施する。 ● 教科書（「建学精神の時間」におけるキャリアノート含む）のデジタル化を推進する。 ● eスポーツ講座を実施する。 ● 協働学習や反転学習を促進するサービス（Classi, Slack, Zoom, YouTube）を用いた教育活動を推進する。 ● 試験方法の電子化による「指導の個別化」と「学習の個性化」の研究を行う。 ● 発展的なプログラミングを学ぶ「TECH CAMP」を推進する。 ● 統計分野、地理分野を中心として、情報科、数学科、社会科の連携を推進する。
英語教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● プログラミング英語の学習を推進する。
学力（学びに向かう力）の質的向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 校内模試対策講習・放課後・長期休業中講習の参加徹底により基礎学力の定着を推進する。 ● 「アプリケーション」「卒業制作」（学校設定科目）を設定し、HPやアプリケーションを成果物として制作、アプリケーションはGoogle Playストアで販売する。 ● 「グローバルライセンス」（学校設定科目）を1年生から3年間、毎年2単位計6単位を全員が履修し、MOS（Microsoft Office Specialist）の資格取得を推進する。 ● 全国商業高等学校協会主催の情報処理検定試験（ビジネス情報・プログラミング）の対策講座開講及び受検の推進と、課外としてITパスポート対策講座・基本情報技術者試験講座を開講する。 ● 志望動機書作成と面接練習の全教員による個別指導を充実させる。
キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 最先端ICTを学習するために会津大学での模擬講義・体験学習を実施する。 ● 企業連携ジョブミーティング開催と生徒によるパワーポイント発表を実施する。 ● 東北文化学園大学知能情報システム学科の高大連携プログラムを実施する。 ● 東北芸術工科大学での講座体験を実施する。 ● 東北福祉大学・日本電子専門学校・iU専門職大学との共同実習講座（AI・ビッグデータ・IOT講習・eスポーツ）を実施する。
学校不適応対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 担任団制度を導入し、有効性について研究を行う。
国際交流の活発化	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外短期研修（ハワイ）への参加を推進する。

〈情報科学コース グランドデザイン〉

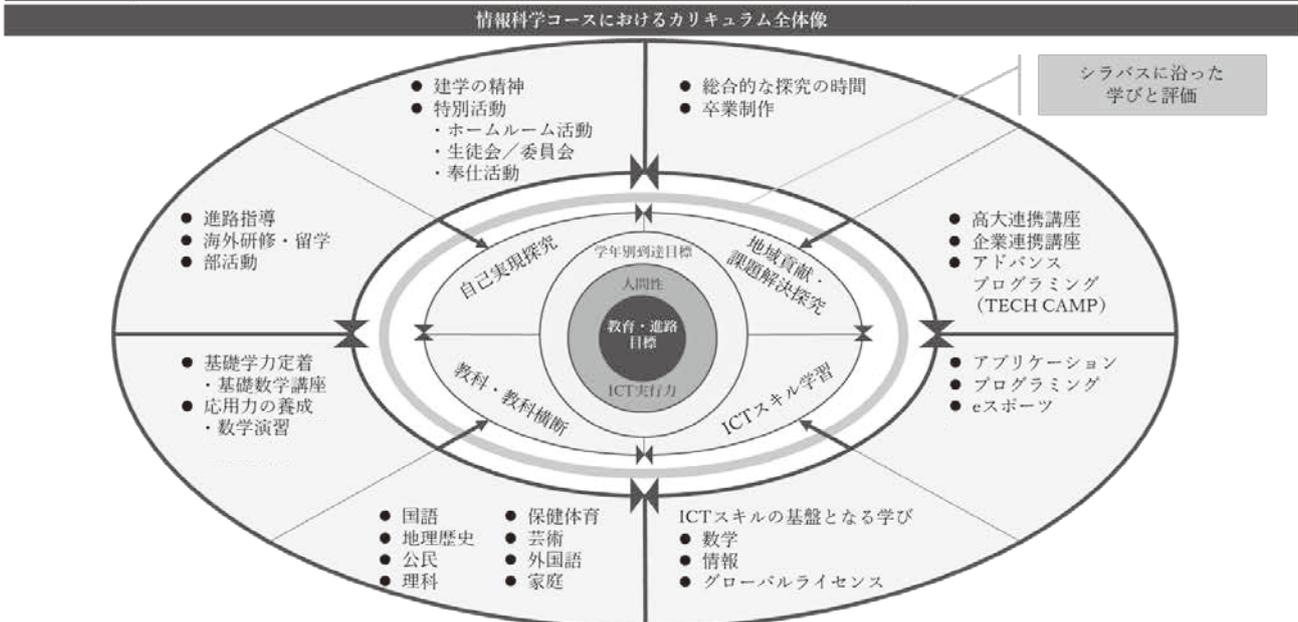


情報科学コース グランドデザイン
2025年度版



学年別到達目標

重点項目	1年生	2年生	3年生
人間性	● 【規律】【練習】への理解を深め、自律的に自己管理し、心身の健康に結びつく生活規律の遵守と社会生活上の自治意識を持つ。 ● 【切磋】への理解を深め、読解力と思考力をもとにICT実行力を高めるようとする意志を持つ。	● 【互譲】【寛容】への理解を深め、物事を他者との関係性の中で捉えることができる。 ● 情報技術に係る学習は生涯わたるものであると自覚しながら、【規律】【練習】【切磋】の実践	● 【感謝】への理解を深め、共生する持続的な社会実現への参画の視座を持つ。 ● 【奉仕】への理解を深め、情報技術によって地域振興に寄与する意志を持つ。
ICT実行力	● 教科学習、総合的な探究の時間、特別活動の中で「IBの学習方法スキル」を意識する。 ● Surfaceを用いて校内外活動が円滑にできる。 ● デジタル教材・図書等の資料を校内外活動で活用できる。 ● Slackを通じて自己と他者を尊重した協働的な学びができる。	● 教科学習、総合的な探究の時間、特別活動の中で「IBの学習方法スキル」に挑戦する。 ● 課題を分析しアルゴリズムを作成できる。 ● ネットワークやAI(人工知能)について理解する。 ● Slackやeスポーツを通じて自己と他者を尊重した協働的な学びを他者に働きかけられる。	● 教科学習、総合的な探究の時間、特別活動の中で「IBの学習方法スキル」を実践できる。 ● 社会的課題の解決に向け、MOS、情報処理検定、ITパスポート、ruby, java, c++, python等のICTスキルを用いた具体的な提案をする。 ● 自己と他者を尊重した協働的な学びの意義を社会に発信できる。
キャリア意識	● 生活社会における課題の理解と物事を深く突き詰めて考えるようとする意識を持つ。	● ICT分野を中心に職業の理解を進め、自己の目標を定める。	● ICT関連の高等教育機関進学やキャリア形成への強い意志を身に付け、地域振興も視野に高い志を立てる。



〈外国語コース〉

(全日制普通科単位制, 4学期制, 女子(男子:留学生), 多賀城校舎)

A) 教育目標

高度な言語能力・思考能力・文化理解により、
多文化共生にむけて至誠ある振舞いをする国際人 (cosmopolitan) の育成

B) 進路指導目標

海外大学・難関私立大学(文系)へ、主に一般選抜・総合型選抜・学校推薦型選抜を活用して
進学することを目指す。

C) 概要

1986年に設立され、本学園男女共学制開始の先駆けとなった外国語コースは、女性の国際社会進出のための基盤づくりを目的にこれまで展開している。しかしながら「女性」と「国際社会進出」の意味するところは設立時から現在にかけて多様になってきていることを踏まえ、ジェンダー論を超えた再定義を2025年度に行う。具体的には、「文化の発信・比較・受容」をテーマに、自他の文化を発信できる人(=言語能力【高度な能力】)、自他の文化を比較できる人(=思考能力【高度な能力】)、自他の文化を受容できる人(=文化理解【高度な資質】)として、多文化共生にむけて至誠ある振舞いをするのが外国語コースにおける「国際社会進出」の意味するところとする。

これらのことを踏まえて国際人 (cosmopolitan) を育成し、海外大学・難関私立大学(文系)などに進学できるよう指導する。

D) 資質・能力に関する方針(グラデュエーション・ポリシー)

教育目的(=スクールミッション)が反映された教育目標の達成に向け、高校3年間で引き出す資質と育成する能力を下記のとおり設定する。

■ 資質

【基礎的な資質】

生活信条七箇条(互譲, 切磋, 錬磨, 規律, 寛容, 感謝, 奉仕)を体現する。

【高度な資質】

ケンブリッジ国際学習者の5属性を通じて、自他の文化を受容できる人として文化理解を体現する。

■ 能力

【基礎的な能力】

コミュニケーション, 社会性, 思考, 自己管理, リサーチを習得する。

【高度な能力】

自他の文化を発信できる人として言語能力を習得する。

自他の文化を比較できる人として思考能力を習得する。

E) 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)

■ 資質, 能力を育むべく, 下記の教育課程を編成する。

- ・ケンブリッジ国際認定校となり、Cambridge International IGCSE, AS and A Levelにおける「English Language」, 「Thinking Skills」, 「Global Perspectives & Research」の3科目を導入する。
- ・「English Language」を通じて言語能力の育成を行い、成果としては能力測定を行い、2025年度における測定方法は英語の外部試験(卒業年次ではIELTS)とする。
- ・「Thinking Skills」を通じて思考能力の育成を行い、成果としては能力測定を行い、2025年度における測定方法は河合塾の「学びみらいPASS」によるリテラシー・コンピテンシー測定とする。
- ・「Global Perspectives & Research」を通じて文化理解を涵養し、成果としては大学進学にむけた英文での志望理由書の作成に加え、大学進学後における英文での研究計画書(A4で1枚程度)の作成を検討する。
- ・言語能力の育成のために、日本語と英語による複数教科でのイメージ教育, 多言語教育(韓国語・中国語・スペイン語)を中心とした教育課程を編成する。
- ・自文化理解の経験として日本伝統文化(華道・茶道), シジュウカラガン復活プロジェクト, 異文化理解の経験として海外研修, 留学, 海外大学との高大連携講座(Stanford e-Sendaiikuei)を組み込む。
- ・海外高等教育機関進学に関連するキャリア意識を養うため, 高等教育機関や企業との連携講座をはじめ海外大学進学アドバイザーを中心に企画する説明会・イベントを充実させる。

教育目標・3つの方針

- 評価方法については下記のとおりとする。
 - ・学習指導要領で定める【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】の「観点別評価」で評価を行う。
 - ・学習における目標・内容と評価の一致のために、「シラバス」、「総括的評価に用いる課題の評価観点・ルーブリックを明示した資料」を、単元・授業・評価の実施前に生徒に対して事前に公表する。単元・授業・評価の実施後には「振り返り」を行う。
 - ・「総合的な探究の時間」および「特別活動の時間」では、目標・内容と評価観点を一致させながら、個々のポートフォリオに基づく評価の実施やエピソード記述による指導要録への記載を行う。

F) 入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

建学精神、教育目標、進路指導目標に共感し、資質・能力の体現と習得を目指そうとする入学者について、求める資質・能力に基づいて募集する。外国語コースでは内部進学選抜、特待生選抜試験、自己推薦選抜試験、一般入学試験を実施し、受験生の適性や潜在的な資質・能力を多面的かつ総合的に評価する。

■ 外国語コース募集で求める資質・能力

- ・資質・能力の体現と習得に向けて努力する姿勢や意欲がみられること。
- ・特に英語科、国語科における中学校既習内容の基本的知識とその応用力もしくは日本語以外の言語に関する4技能（聞く、話す、読む、書く）を有すること。
- ・進路目標が外国語コースの進路指導目標と一致していること。

G) 主な重点施策・指導内容（「教育方針と重点課題」からの一部抜粋と独自設定）

重点課題	重点施策・指導内容
カリキュラムマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● グランドデザインの再構築を2028年度までに完了させるため、毎年度見直す。 ● 3つの方針やグランドデザインに基づく学年別カリキュラム一覧表を策定する。 ● 各教科においてシラバスを作成の上、シラバスに沿った観点別評価を実践する。
ケンブリッジ国際認定校の研究	<ul style="list-style-type: none"> ● Cambridge International IGCSE, AS & A Levelsを外国語コースで導入し、年次進行で実践する。
ICT教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● PC (BYOD形式) の運用を推進する。 ● ハワイ研修の事前学習としてオンラインでの交流・協働学習を導入する。 ● 生徒の協働学習や反転学習を促進するサービス (Classi, Slack, Zoom, YouTube) を用いた教育活動を推進する。
英語 (外国語) 教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● Weblitによるオンライン英会話やスタディサプリによるe-learningを推進する。 ● スタディサプリの活用を推進する。 ● 各資格・検定試験 (CEFR対照) のコース学年毎到達度目標を設置し、TOEFLiBT, IELTS, TOEIC, 英検やEATの受検を推進する。(高3進級時でTOEFLiBT 70点・英検2級以上) 特にIELTSについては推進校として認定されるように系統立てて推進する。 ● 英語と日本語によるイマージョン授業を実施する。 ● 中国語、韓国語、スペイン語から二言語を学ぶ多言語教育を実施する。 ● 英語や他の外国語の各種検定試験受検、スピーチコンテストや語学研修参加を推進する。
文化活動の振興	<ul style="list-style-type: none"> ● 茶道・華道 (日本伝統文化) の学習を通じ異文化理解の基盤を養成する。
学力 (学びに向かう力) の質的向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 土曜特別講習・長期休業中講習の参加徹底、語学検定・校内模試対策で基礎学力の定着と、語学応用力の養成を図る。 ● 文系私大向けの問題研究と考查への反映を行う。 ● 国内外大学の研究と志望理由書作成、面接練習の個別指導の充実を図る。
70% CLUBの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外大学進学を目標を新規に入れる。2025年度の目標は下記の2つとする。 ①第3年次の30%以上が海外大学へ出願する。 ②第2・3年次における海外大学のスカウト制度への登録を100%とする。
学校不適応対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 年次進行で担任団制度を導入し、有効性について研究を行う。
社会貢献活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● はつかりの会により、「シジュウカラガン復活プロジェクト」に取り組む。 ● 「GATEWAY」を活用して「CAS for G」を計画・実施し、社会問題の解決に向け行動する。
国際交流の活発化	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外短期研修 (高1におけるハワイ) の実施を推進する。 ● 海外短期 (3か月)・中期 (半年)・長期 (1年程度) 留学を促す。 ● スタンフォード大学のスタンフォード国際・多文化教育プログラム (SPICE) と協力して、「Stanford e-Sendaiikuei」プログラムを推進する。
海外留学生及び帰国子女の積極的受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ● 留学生クラス (春・秋入学生, 3G) を設置し、JSL教育を推進する。 ● インターナショナルスクール、現地校等からの帰国子女の受け入れを推進する。
海外大学進学指導体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 教頭・教務部長・進路担当・海外大学進学アドバイザーを中心に専門の外部機関と連携する。

〈外国語コース グランドデザイン〉

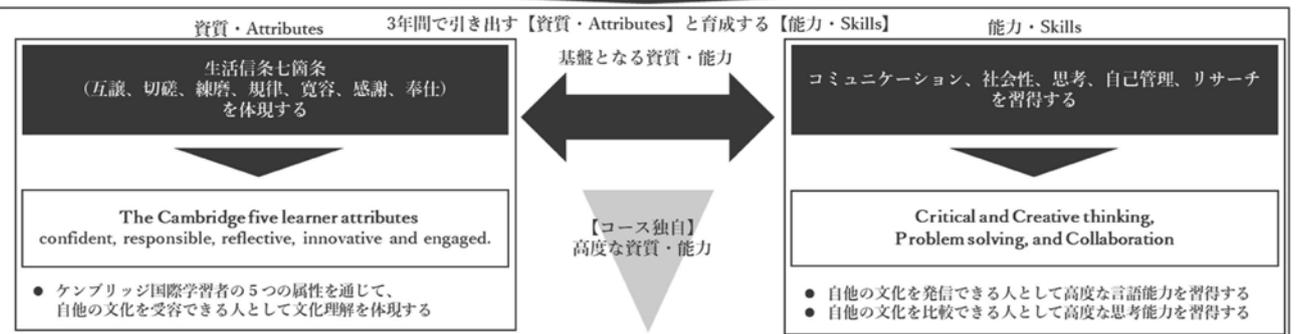
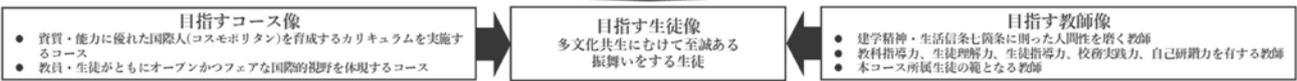


外国語コース グランドデザイン
2025年度版



外国語コースの教育目標
高度な言語能力・思考能力・文化理解により、多文化共生にむけて至誠ある振舞いをする国際人(Cosmopolitan)の育成

進路指導目標
海外大学・難関私立大学(文系)へ、主に一般選抜・総合型選抜・学校推薦型選抜を活用して進学することを目指す。



学年別到達目標			
重点項目	1年生	2年生	3年生
資質 Attributes	<ul style="list-style-type: none"> ● 建学の精神及び生活信条七箇条の理解を深め、日常生活において体现する。 ● 「Global Perspectives & Research」の学びの中で、自分自身に自信と責任を持ち、他者を尊重する態度を体现する。(Confident, Responsible) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活信条七箇条を踏まえ、自己理解の深化と自己受容を図る。 ● 「Global Perspectives & Research」の学びの中で、知的にも社会的にも、積極的に変化をもたらす準備を怠らず、常に自己を振り返る資質を体现する。(Engaged, Reflective) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 【奉仕】の将来的な体现にむけて、海外高等教育機関への進学や国内高等教育機関進学後の留学への強い意志を身に付け、グローバルなキャリア形成を視野に入れた高い志を立てる。 ● 「Global Perspectives & Research」の学びの中で、革新的で、自己実現のため、常に新たな挑戦を続ける資質を体现する。(Innovative)
能力 Skills	<ul style="list-style-type: none"> ● 「English Language」の学びの中で、英語を中心とした多言語の学習を通し外国語運用能力の基盤をつくる。 ● 「English Language」、海外語学研修、短期留学の学びの中で、実践的な言語能力を身に付ける。 ● 「Thinking Skills」や日本伝統文化(茶道・華道)の学びの中で、他国の文化と比較研究しながら国内外に発信できる知識や思考能力を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「English Language」の学びの中で、IELTS, TOEICなどの語学検定B1レベルの語学力を身に付ける。 ● 「English Language」、中・長期留学を通し異文化理解を深め、実践的な言語能力を高める。 ● 「Thinking Skills」、Stanford e-Sendaiikuei、シジュウカラガン復活プロジェクトの学びを通して世界の社会課題や自己の役割・価値観を多面的に捉える思考能力を身につける。 ● 「Global Perspectives & Research」の学びを踏まえて、異なる価値観や経験を持つ他者とかかわりながらキャリアを検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「English Language」の学びの中で、IELTS, TOEICなどの語学検定B2レベルの語学力を身に付ける。 ● 「English Language」、「Thinking Skills」、海外研修、留学、語学学習の学びの中で身に付けた実践的な言語能力や思考能力をもとに、「Global Perspectives & Research」の学びを踏まえて、英文等のキャリア計画(志望理由書、研究計画書など)を作成する。

外国語コースにおけるカリキュラム全体像



〈英進進学コース〉

(全日制普通科単位制, 4学期制, 男女共学, 多賀城校舎)

A) 教育目標

意思決定能力・言語能力・問題解決能力を持ち、
アントレプレナーシップを発揮するグローバル・キーパーソンの育成

B) 進路指導目標

国公立大学・私立大学へ、主に一般選抜・総合型選抜・学校推薦型選抜を活用して進学することを旨とする。

C) 概要

英進進学コースは、教育課程内外の活動で生活信条七箇条に即した人間性を養うとともに、自身の適性を見出す活動とその適性を踏まえた意思決定能力を高める活動に注力することで、在校中から学内外の諸活動を通して組織内外でアントレプレナーシップを発揮できることを目指す。そのため、アントレプレナーシップの理解と実践、英語によるコミュニケーション、特別選抜クラス(AJ)の設置、進学系統別クラス編成、国内初のBTECプログラム導入を行う。これらのことを通じ、グローバル(地球規模)の視野をもってローカル(地域)で行動ができ、コミュニティー(社会)に欠かせない人物であるグローバル・キーパーソン(Glocal Key Person)を育成し、各自の適性に合った高等教育機関に進学できるよう指導する。

※アントレプレナーシップ：様々な困難や変化に対し、与えられた環境のみならず、自ら枠を超えて行動を起こし、新たな価値を生み出していく精神(文部科学省 全国アントレプレナーシップ人材育成プログラムHPより)

D) 資質・能力に関する方針(グラデュエーション・ポリシー)

教育目的(=スクールミッション)が反映された教育目標の達成に向け、高校3年間で引き出す資質と育成する能力を下記のとおり設定する。

■ 資質

【基礎的な資質】

生活信条七箇条(互譲, 切磋, 錬磨, 規律, 寛容, 感謝, 奉仕)を体現する。

【高度な資質】

グローバル・キーパーソンとしてのアントレプレナーシップを体現する。

■ 能力

【基礎的な能力】

コミュニケーション, 社会性, 思考, 自己管理, リサーチを習得する。

【高度な能力】

自身の適性を踏まえた意思決定能力を習得する。

国際社会と地域社会の橋渡しに必要な言語能力と問題解決能力を習得する。

E) 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)

■ 資質・能力を育むべく、下記の教育課程を編成する。

- ・全学年次において特別選抜クラス(AJ)を設置する。
- ・1年次は各自の適性を見出すことを目的とした個に応じた指導を徹底するために英語Ⅰ・数学Ⅰで習熟度別クラスを編成する。
- ・2年次以降は進路希望に合わせた指導ができるように、文Ⅰ系(私立大系), 文Ⅱ系(国公立大系), 理Ⅰ系(国公立大系), 理Ⅱ系(私立大系)での教育課程を編成する。
- ・総合的な探究の時間では、建学精神に即した探究学習・アントレプレナーシップ教育に係る学習プログラムを編成する。
- ・学校設定科目では言語能力(英語力), 問題解決能力を育むために「英語4技能」「英語演習」, 「ハーバード式リーダーシップ養成プログラム」, 「スタディサプリ探究講座(興味研究型・課題研究型)」を設定する。
- ・高等教育機関や企業との連携講座を充実させる。
- ・希望者がBTECやIB教育(DLDP・ELDP)を受講しやすいように教育課程を編成する。

■ 評価方法については下記のとおりとする。

- ・学習指導要領で定める【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】の「観点別評価」で評価を行う。
- ・学習における目標・内容と評価の一致のために、「シラバス」, 「総括的評価に用いる課題の

- 評価観点・ルーブリックを明示した資料」を単元・授業・評価の実施前に生徒に対して事前に公表する。単元・授業・評価の実施後には「振り返り」を行う。
- ・評価観点における評価項目を作成する際にはIBの学習方法スキルである「Approaches to Learning」を参考とする。
 - ・「総合的な探究の時間」および「特別活動の時間」では、目標・内容と評価観点を一致させながら、個々のポートフォリオに基づく評価の実施やエピソード記述による指導要録への記載を行う。
 - ・BTEC受講生はBTECの評価観点と【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】の双方を取り入れて観点別評価を行う。

F) 入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

建学精神，教育目標，進路指導目標に共感し，資質・能力の体現と習得を目指そうとする入学者について，求める資質・能力に基づいて募集する。英進進学コースでは内部進学選抜，特待生選抜試験，自己推薦選抜試験，一般入学試験を実施し，受験生の適性や潜在的な資質・能力を多面的かつ総合的に評価する。

■ 英進進学コース募集で求める資質・能力

- ・資質・能力の体現と習得に向けて努力する姿勢や意欲がみられること。
- ・5教科（数学，国語，英語，社会，理科）における中学校既習内容の基本的知識・思考力もしくは学業以外の得意分野への高い向上心を有すること。
- ・進路目標が英進進学コースの進路指導目標と一致していること。

G) 主な重点施策・指導内容（「教育方針と重点課題」からの一部抜粋と独自設定）

重点課題	重点施策・指導内容
カリキュラムマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● アントレプレナーシップの涵養を軸としたグラウンドデザインへ再構成する。 ● 各教科においてシラバスを作成の上，シラバスに沿った観点別評価を実践する。
BTECの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● BTECの実践を英進進学コースで行い，英進進学コースにおけるアントレプレナーシップ教育（総合的な探究の時間）にBTECの要素を取り入れる。 ● BTEC資格による進路開拓を行う。
アントレプレナーシップ教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● スタディサプリ探究講座（興味研究型・課題研究型），ハーバード式リーダーシップ養成プログラム（ケースメソッド），BTECの要素を踏まえた学びを通じて社会課題の解決に向けたプランシートを作成し，提案・実践にむけて各種コンペティションに参加する機会を設ける。 ● この社会課題の一事例としてDX（Digital Transformation）を捉え，宮城大学との高大連携講座を推進する。
ICT教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● iPadの運用を推進する。 ● 生徒の協働学習や反転学習を促進するサービス（Classi, Slack, Zoom, MetaMoji, YouTube）を用いた教育活動を推進する。
英語（外国語）教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● Weblioによるオンライン英会話を導入する。 ● 英会話アプリケーションも用いながら教科「英語4技能」を実施する。 ● 英語検定・EATの受検を促進する。（高1で3級，高2で準2級，高3で2級を目標） ● 英語検定に向けた土曜日講習・primary英会話への参加を推進する。
学力（学びに向かう力）の質的向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 校内模試対策講習・放課後・長期休業中講習の参加徹底により基礎学力の定着を推進する。 ● アントレプレナーシップ教育に基づき教科横断的な学ぶ意欲を育成する。 ● 自立学習の促進のため，自習時間の“見える化”とフィードバックを推進する。 ● 共通テスト，国公立大学，私大向けの問題作成研修の実施と考査への反映を行う。 ● 志望動機書作成と面接練習の個別指導の充実を図る。
ポートフォリオ活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● Classiのポートフォリオ機能の活用を推進する。
キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 大学との「教育交流に関する協定」による出張・出前講座及び大学での講義受講を推進する。
学校不適応対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 仙台育英学園高等学校広域通信制課程での併修による連携を推進する。
「建学精神の時間」の研究推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 「建学精神の時間」における「主体的・対話的で深い学び」を推進する。
国際交流の活発化	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外短期研修（高2におけるハワイ）への参加を推進する。
海外留学生の積極的受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ● 通常クラスへの留学生の積極的受け入れを推進する。

〈英進進学コース グランドデザイン〉

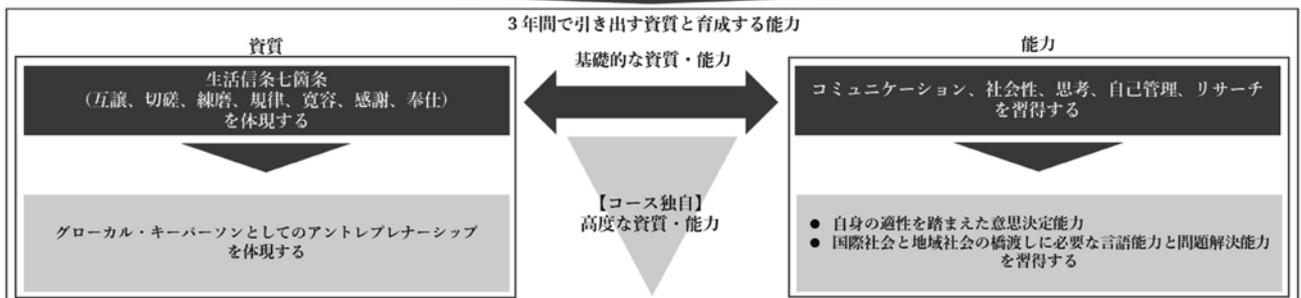
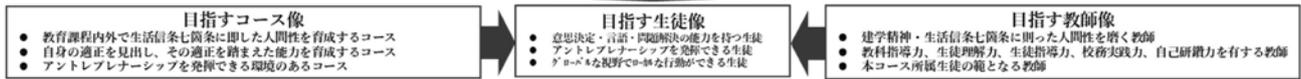


英進進学コース グランドデザイン
2025年度版



英進進学コースの教育目標
意思決定能力・言語能力・問題解決能力を持ち、アントレプレナーシップを発揮するグローバル・キーパーソンの育成

進路指導目標
国立大学・私立大学へ、主に一般選抜・総合型選抜・学校推薦型選抜を活用して進学することを目指す。



学年別到達目標			
重点項目	1年生	2年生	3年生
資質	<ul style="list-style-type: none"> 【規律】【練磨】への理解を深め、自律的に自己管理し、心身の健康に結びつく生活規律の遵守と社会生活上の自治意識を持つ。 【切磋】への理解を深め、国際社会と地域社会についての課題を意識し人間性を育む。 アントレプレナーシップ教育のWSを通して、あらゆる可能性に挑戦しようとする意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 【互読】【寛容】への理解を深め、他者との交流を通し自身の価値観と他者の価値観を理解しリーダーとしての資質を育む。 生活規律を遵守し、社会生活上の自治意識を高め、【規律】【練磨】【切磋】の実践する。 BTEC受講生は、高度なアントレプレナーシップ教育におけるPBL学習を通して、実践に裏付けられたアントレプレナーシップを体得する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【感謝】への理解を深め、国際社会と地域社会を俯瞰し双方を有機的に結びつけようとする視野を持つ。 【奉仕】への理解を深め、他者を活かしたリーダーとしての素養と進取の意識を持つ。 BTEC受講生は、高度なアントレプレナーシップ教育におけるPBL学習を通して、実践に裏付けられたアントレプレナーシップを体得する。
能力	<ul style="list-style-type: none"> 教科学習、総合的な探究の時間、特別活動の中でコミュニケーション、社会性、思考、自己管理、リサーチ (基礎的な能力) を意識する。 iPadを用いて校内外活動が円滑にできる。 建学の精神を通してキャリア形成を促進する。 興味研究型での問題解決能力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科学習、総合的な探究の時間、特別活動の中で基礎的な能力に挑戦する。 希望進路と自分の適正に合わせた文理選択を行い、グローバルなキャリア形成を意識した進路への意思決定能力を高める。 課題研究型での問題解決能力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科学習、総合的な探究の時間、特別活動の中で基礎的な能力を実践する。 自身・組織・社会の問題解決をプランシートにまとめ、学内外で発信する。 CEFR B1レベル以上の英語資格取得へ取り組む。 進路達成に係わる意思決定を行う。

英進進学コースにおけるカリキュラム全体像



〈フレックスコース〉

(全日制普通科単位制, 4学期制, 男女共学, 多賀城校舎)

A) 教育目標

生活信条七箇条にある規範意識を基盤とした生活・学習習慣と一分野で磨かれた才を持ち、国際的に高度なパフォーマンスを発揮するトッププレイヤーの育成

B) 進路指導目標

4年制大学(専門職大学を含む)・2年制大学・大学校・専門学校へ、主に一般選抜・総合型選抜・学校推薦型選抜を活用して進学することを目指す。

C) 概要

フレックスコースは、教育課程内外の活動で生活信条七箇条にある規範意識を基盤とした生活・学習習慣を養い、様々な分野で応用できるようにその定着を図るとともに、得意分野を中心に自身の才を磨き、国際的に高度なパフォーマンスを発揮できることを目指す。そのため、全国レベルの教育課程外活動(部活動など)にも集中できるカリキュラム設定・環境整備や、必履修教科・科目の他に多くの学校設定科目の中から自分の進路や個性に応じた講座を希望選択できる環境を整える。これらのことを通じて各分野におけるトッププレイヤーを育成し、4年制大学(専門職大学含む)・2年制大学・大学校・専門学校などに進学できるよう指導する。

D) 資質・能力に関する方針(グラデュエーション・ポリシー)

教育目的(=スクールミッション)が反映された教育目標の達成に向け、高校3年間で育む人間性と追求する力を下記のとおり設定する。

■ 人間性

生活信条七箇条(互譲, 切磋, 錬磨, 規律, 寛容, 感謝, 奉仕)を体現し、3つの資質を身に付ける。

- ・得意分野に係るトップレベルでの視野と自らがプレイヤーである自覚を持つ。
- ・他の模範となる道徳性によって生活規律の遵守と社会生活上の自治意識を持つ。
- ・一つの分野を徹底して追求し続ける素養と進取の意気を持つ。

■ 追求する力

Approaches to Learning(コミュニケーション, 社会性, 思考, 自己管理, リサーチ)の修得に努め、3つの能力を身に付ける。

- ・自らの得意を最大限活かすキャリア形成を視野に入れた高い志を立て、得意分野を活用した進路達成に係わる意志決定力を身に付ける。
- ・高等教育機関進学に必要な基礎的学力を身に付ける。
- ・得意分野に関する高等教育機関・社会人レベルの初歩的な【知識・技能】、【思考力・判断力・表現力】、【主体的に学習に取り組む態度】を身に付ける。

E) 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)

■ 人間性, 追求する力を育むべく, 下記の教育課程を編成する。

- ・全学次において全国レベルの教育課程外活動(部活動など)にも集中できるような教育課程編成ならびに時間割設定をきめ細かく行う。
- ・中学校レベルにおける英語の基礎的学力を確実に定着させるため個別最適学習を行う。
- ・2年次以降は、多様な学校設定科目の中から各自の進路に応じた講座を選択することで、教育課程外の活動とバランスの取れた効率的な学習を進める。
- ・総合的な探究の時間や学校設定科目では、外部機関との連携を積極的に行うことで、キャリア教育と絡めながら、生徒の進路, 興味関心, 得意分野に応じた質の高い講座を自由に選択できるように進める。

■ 評価方法については下記のとおりとする。

- ・半期ごとに単位認定を行うことで、フォローアップ体制を円滑にする。
- ・学習指導要領で定める【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】の「観点別評価」で評価を行う。
- ・学習における目標・内容と評価の一致のために、「シラバス」, 「総括的評価に用いる課題の評価観点・ルーブリックを明示した資料」, を単元・授業・評価の実施前に生徒に対して事前に公表する。単元・授業・評価の実施後には「振り返り」を行う。
- ・評価観点における評価項目を作成する際にはIBの学習方法スキルである「Approaches to Learning」を参考とする。

教育目標・3つの方針

- ・「総合的な探究の時間」および「特別活動の時間」では、目標・内容と評価観点を一致させながら、個々のポートフォリオに基づく評価の実施やエピソード記述による指導要録への記載を行う。また、本校在学中の教育課程内外の活動を幅広く評価するためにポートフォリオ評価を重視する。
- ・生活信条七箇条に係る生徒の定着度合について定性的な評価を行う。

F) 入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

建学精神、教育目標、進路指導目標に共感し、「人間性」「追求する力」に掲げる資質・能力を目指そうとする入学者について、求める資質・能力に基づいて募集する。フレックスコースでは内部進学選抜、特待生選抜試験、自己推薦選抜試験、一般入学試験を実施し、受験生の適性や潜在的な資質・能力を多面的かつ総合的に評価する。

■ フレックスコース募集で求める資質・能力

- ・「人間性」「追求する力」に掲げる資質・能力に向けて努力する姿勢や意欲がみられること。
- ・5教科（数学、国語、英語、社会、理科）の中学校既習内容のうち一部の基本的知識・思考力もしくは学業以外の得意分野への高い向上心を有すること。
- ・進路目標がフレックスコースの進路指導目標と一致していること。

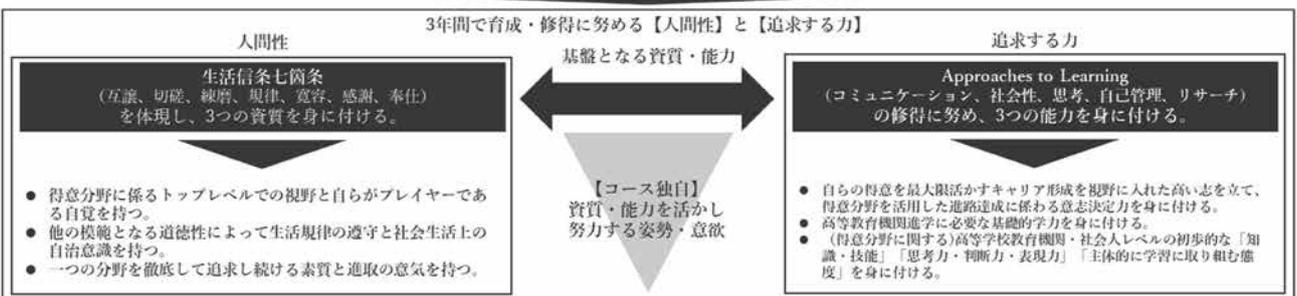
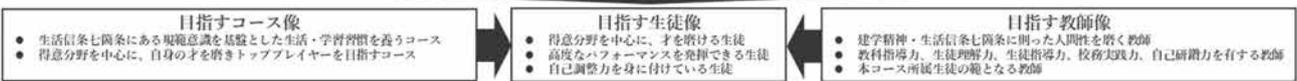
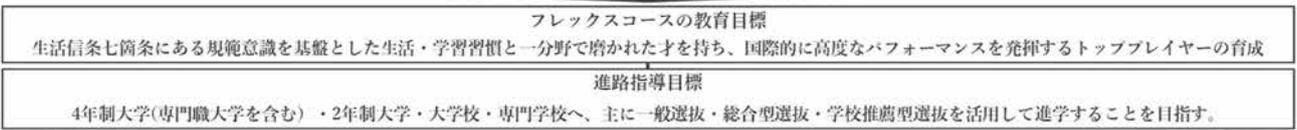
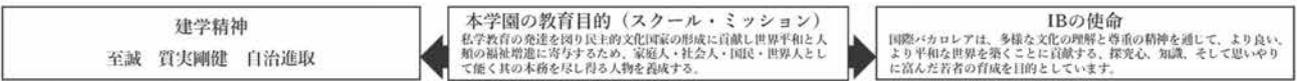
G) 主な重点施策・指導内容（「教育方針と重点課題」からの一部抜粋と独自設定）

重点課題	重点施策・指導内容
カリキュラムマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 一部講習で受講者全員を対象にClass for Zoomを用いたオンライン講習とすることで、課外活動により参加しやすい環境づくりの研究を行う。 ● 各教科においてシラバスを作成の上、シラバスに沿った観点別評価を実践する。
ICT教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● Chrome Bookの運用を推進する。 ● 生徒の協働学習や反転学習を促進するサービス（Classi, Slack, Zoom, Google Classroom, YouTube, スタディサプリ）を用いた教育活動を推進する。
英語（外国語）教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● スタディサプリEnglishの活用を推進する。（2年次）
スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> ● 各体育会運動部の活動の充実と生徒による各体育会運動部への応援を促進するためのカリキュラム編成を行う。
文化活動の振興	<ul style="list-style-type: none"> ● 各文化会学芸部の活動の充実と生徒による各文化会学芸部への応援を促進するためのカリキュラム編成を行う。
学力（学びに向かう力）の質的向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 校内模試対策講習・放課後・長期休業中講習の参加徹底により基礎学力の定着と小論文指導を徹底する。 ● 自立学習の促進のため、自習時間の“見える化”とフィードバックを推進する。 ● ボランティア活動をはじめ幅広く校外活動に参加した場合、単位として認定する。 ● 単位未取得者に対する補習などの指導を徹底する。 ● 必要に応じて広域通信制課程で併修対応を行い、学習進捗をサポートする。 ● デジタル教材を活用したキャリア教育を推進する。 ● スタディサプリ高校講座（スタディサプリEnglish）の公認期間中等に活用する。
ポートフォリオ活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● Classiのポートフォリオ機能の活用を推進する。
学校不適応対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 仙台育英学園高等学校広域通信制課程と併修による連携を図る。 ● 不登校生徒、高校生活不適応生徒、成績不振生徒に対して同一の対応をせず、二者・三者面談を徹底する。
「建学精神の時間」の研究推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 「建学精神の時間」に自己の言動と行動に責任を持つための「深く考える力」を養えるような学習方法を徹底する。
ボランティア活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● ボランティア活動の企画・運営を積極的に推進する。
基本的な生活習慣定着の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎朝のHRや行事ごとに「生活信条七箇条」の唱和・掲示教育を行う。 ● 学校生活正常化運動（ゼロ・ディフェクト）の徹底する。 ● 「ソーシャルメディア・ポリシー」に則り、SNS利用上のマナーとルールを厳守できるよう指導する。 ● 5SR（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ・リサイクル）の向上にむけて生徒を指導し、環境美化への配慮を促進する。 ● 生徒間での言葉遣いについて指導し、言語環境への配慮を促進する。

〈フレックスコース グランドデザイン〉



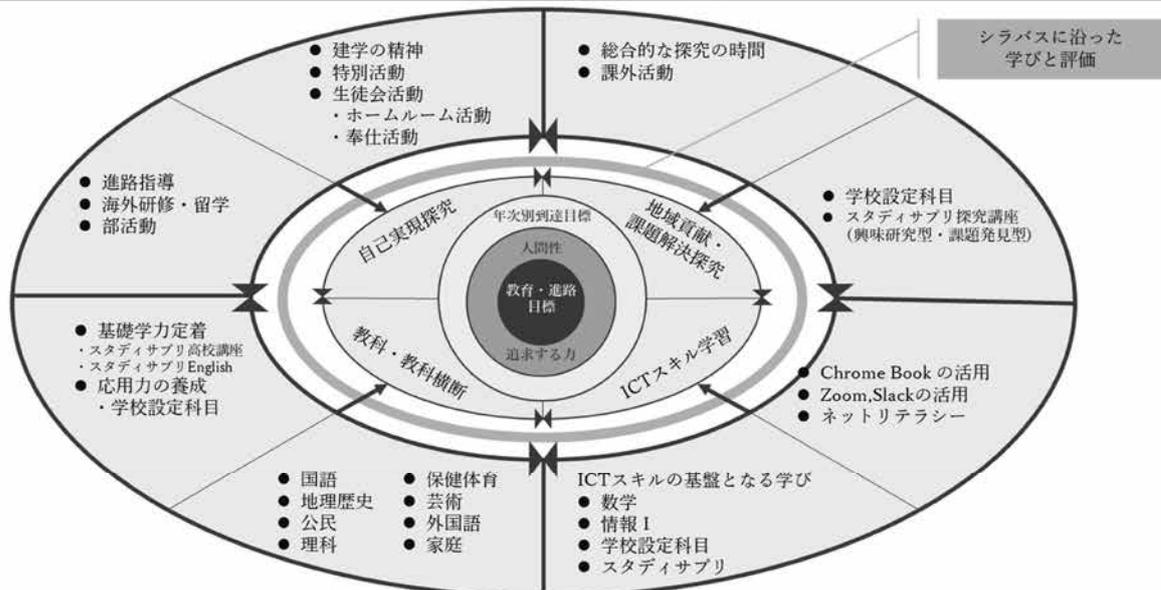
フレックスコース グランドデザイン
2025年度版



年次別到達目標

重点項目	1年次	2年次	3年次
人間性	<ul style="list-style-type: none"> 【互譲】【練磨】への理解を深め、自律的に自己管理し、心身の健康に結びつく生活規律の遵守と社会生活上の自治意識を持つ。 【切磋】他者理解と、相手を考えた行動を身に付け、課外活動等で切磋琢磨する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【互譲】【寛容】への理解を深め、物事を他者との関係性の中で捉えることができる。 自らの学習課題を設定し、【規律】【練磨】【切磋】を実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【感謝】への理解を深め、持続可能な共生社会実現への参画の視座を持つ。 【奉仕】への理解を深め、国際的な視点を持ち、社会で活躍できる基礎を固める。
追求する力	<ul style="list-style-type: none"> 教科学習、総合的な探究の時間、特別活動の中でシラバスを意識し、基礎基本の定着を目指す。 Chrome Bookを積極的に利用し、自己の得意分野を追究するスキルを身に付ける。 スタディサプリ探究講座の総合的な探究の時間での活用を通じ、広い視野からの自らの将来像を描く。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科学習、総合的な探究の時間、特別活動の中でシラバスを意識し、学習改善に努める。 自分の進路や個性に応じた選択科目を履修し、得意分野に磨きをかける。 スタディサプリ探究講座を活用し、自分の思考の変化を自覚する。 活動の記録をポートフォリオに記録する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科学習、総合的な探究の時間、特別活動の中でシラバスを意識し、自信をもって妥当な自己評価ができる。 自己と他者を尊重した協働的な学びの意義を社会に発信できる。 スタディサプリ探究講座を活用し、自分の考えを持ち発信することができる。
キャリア意識	<ul style="list-style-type: none"> スタディサプリ探究講座を活用し、自己理解に努める意識を持つ。 特色のある学校行事を通じて、プレイヤーとしての自己理解に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己理解を踏まえて、興味関心を学校設定科目に反映し、学びを深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来のなりたい自分像を持ち、進路達成に向けて高い志を立てることができる。 進路目標を実現する具体的な手立てを実行できる。

フレックスコースにおけるカリキュラム全体像



〈技能開発コース〉

(全日制普通科単位制, 4学期制, 男女共学, 多賀城校舎)

A) 教育目標

自己管理スキル・職業技能により, 自信を挑戦へ結びつけられる主体的である人の育成

B) 進路指導目標

技能適性のある業界へ就職する, 若しくは大学(専門職大学含む)・大学校・専門学校へ, 主に総合型選抜・学校推薦型選抜を活用して進学することを目指す。

C) 概要

技能開発コースは, 教育課程内外の活動を通し, 自己管理スキル(目標設定・継続・感情コントロール)および職業技能といった能力を習得する中で, 生活信条七箇条にある互譲・切磋の体現によって自信を得て, その自信をもとにした挑戦として奉仕の体現へ結びつけるといった資質の引き出しを目指す。そのため, 学外組織(企業など)と連携した活動もできるカリキュラム設定・環境整備や, 資格取得にも対応した多くの学校設定科目の中から自分の進路に応じた講座を希望選択できる環境を整える。これらのことを通じて主体的である人を育成し, 技能適性のある業界へ就職や4年制大学(専門職大学含む)・2年制大学・大学校・専門学校への進学ができるよう指導する。
※「主体的である」: 自ら選択し, 選択したことの責任を引き受けること

『7つの習慣』スティーブン・R・コヴィー

D) 資質・能力に関する方針(グラデュエーション・ポリシー)

教育目的(=スクールミッション)が反映された教育目標の達成に向け, 高校3年間で引き出す資質と育成する能力を下記のとおり設定する。

■ 資質

【基礎的な資質】

生活信条七箇条の互譲・切磋の体現

【高度な資質】

生活信条七箇条の奉仕の体現

■ 能力

【基礎的な能力】

自己管理スキル(目標設定・継続・感情コントロール)の習得

【高度な能力】

職業技能の習得

E) 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)

■ 資質・能力を育むべく, 下記の教育課程を編成する。

- ・全学次において教育課程外活動にも集中できるような教育課程編成と時間割設定を行う。
- ・数学の基礎的学力を確実に定着させるため個別最適学習でAIを活用して行う。
- ・2年次以降は, 外部人材を数多く活用し, 資格試験にも対応した多様な学校設定科目の中から進路に応じた講座を希望選択することで, 技能人としてキャリアアップを図る意欲を育てる。
- ・総合的な探究の時間や学校設定科目では, 外部機関との連携を積極的に行うことで, キャリア教育と絡めながら, 生徒の進路, 興味関心, 得意分野に応じた質の高い講座を自由に選択できるように進める。

■ 評価方法については下記のとおりとする。

- ・半期ごとに単位認定を行うことで, フォローアップ体制を円滑にする。
- ・学習指導要領で定める【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】の「観点別評価」で評価を行う。
- ・学習における目標・内容と評価の一致のために, 「シラバス」, 「総括的評価に用いる課題の評価観点・ルーブリックを明示した資料」, を単元・授業・評価の実施前に生徒に対して事前に公表する。単元・授業・評価の実施後には「振り返り」を行う。
- ・「総合的な探究の時間」および「特別活動の時間」では, 目標・内容と評価観点を一致させながら, 個々のポートフォリオに基づく評価の実施やエピソード記述による指導要録への記載を行う。また, 本校在学中の教育課程内外の活動を幅広く評価するためにポートフォリオ評価を重視する。
- ・生活信条七箇条に係る生徒の定着度合について定性的な評価を行う。

- ・【主体的に学習に取り組む態度】の評価課題に応じた観点別評価にあたっては、その評価項目に自己管理スキル(目標設定・継続・感情コントロール)を全教科で以下のとおり設定する。

評価観点 ※各評価課題で1つ以上の評価観点を使用	評価項目	内容	使用項目	評価基準				
				A(十分満足できる)	B(おおむね満足できる)	C(努力を要する)	評価なし	
主体的に 学習に取り組む態度	各教科の単元に応じた観点							
	※学習指導要領の目標等を参考に担当者が独自に作成							
	※学校設定科目等は独自に作成							
	各教科の単元に応じた観点は必ず1項目以上使用ください。→チェック項目(青色は1項目以上使用、赤色は未使用)			0				
	<自己管理能力> 目標設定	目標設定のために、自身や他者と向き合い具体的な方策を立てる。						
		現実的な目標を設定する。						
		目標や課題に取り組むための計画を立てる。						
	<自己管理能力> 継続	目標や課題の締め切りを守る。						
		自身にあった自習方法を見つける。						
		自身にあった自習方法を習慣化する。						
<自己管理能力> 感情コントロール	自身にあった自習方法の良さと課題を分析する。							
	「今日、何について学んだのか?」を考える。							
	「まだ理解していないことは何か?」を考える。							
【自己管理能力】に応じた観点は必ず1項目以上使用ください。→チェック項目(青色は1項目以上使用、赤色は未使用)			0					

F) 入学者の受け入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)

建学精神、教育目標、進路指導目標に共感し、資質・能力の体現と習得を目指そうとする入学者について、求める資質・能力に基づいて募集する。技能開発コースでは内部進学選抜、特待生選抜試験、自己推薦選抜試験、一般入学試験を実施し、受験生の適性や潜在的な資質・能力を多面的かつ総合的に評価する。

■ 技能開発コース募集で求める資質・能力

- ・資質・能力の体現とその習得に向けて努力する姿勢や意欲がみられること。
- ・5教科(数学、国語、英語、社会、理科)の中学校既習内容のうち一部の基本的知識・思考力もしくは学業以外の得意分野への高い向上心を有すること。
- ・進路目標が技能開発コースの進路指導目標と一致していること。

G) 主な重点施策・指導内容(「教育方針と重点課題」からの一部抜粋と独自設定)

重点課題	重点施策・指導内容
カリキュラムマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 技能開発コースでは「資質(自信→挑戦)」、「能力(自己管理スキル→職業技能)」の育成を軸とした構想を確立し、グランドデザインへの反映と系統的なカリキュラムの策定と実践に取り組む。 ● 各教科においてシラバスを作成の上、シラバスに沿った観点別評価を実践する。
ICT教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● Chrome Bookの運用を推進する。 ● 生徒の協働学習や反転学習を促進するサービス(Classi, Slack, Zoom, Google Classroom, YouTube, スタディサプリ)を用いた教育活動を推進する。 ● 「せんだいまなびや」を通じた電子商取引に関する教育を推進する。
英語(外国語)教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● スタディサプリEnglishの活用を推進する。
学力(学びに向かう力)の質的向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 「まなびや」プログラムを策定する。「まなびや」プログラムの構成内容は、職業技能に係る選択科目、SAAP、アルバイト、インターンシップ、せんだいまなびや、となる。成果としては資格取得、SAAP・アルバイト・インターンシップでの業務報告書、「せんだいまなびや」での企画書を検討する。 ● 進学・就職に役立つ資格(情報処理技術、トリマー、メイクアップ、パティシエ、各種検定)の取得を推進する。 ● ボランティア活動をはじめ幅広く校外活動に参加した場合、単位として認定する。 ● 単位未取得者に対する補習などの指導を徹底する。 ● 必要に応じて広域通信制課程で併修対応を行い、学習進捗をサポートする。 ● デジタル教材を活用したキャリア教育を推進する。 ● 生徒の知識・技能を中心とした学力層での差を踏まえた個別最適な学習を実施するために、教科教育内における単元別自由進度学習をICT教材(スタディサプリ)によって推進する。この際に、自由進度学習を観点別評価で評価できるように研究を進める。
ポートフォリオ活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● Classiのポートフォリオ機能の活用を推進する。
キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 「7つの習慣」とスタディサプリ探究講座を通じてキャリア意識の醸成を図り、3年次には「ライフプラン」(高校卒業5年後(23歳)までの人生設計図)の作成指導を行う。 ● 福祉に関わる高大連携・企業連携を推進する。
学校不適応対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 仙台育英学園高等学校広域通信制課程での併修による連携を推進する。 ● 不登校生徒、高校生活不適応生徒、成績不振生徒に対して同一の対応をせず、二者・三者面談を徹底する。
「建学精神の時間」の研究推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 「建学精神の時間」に自己の言動と行動に責任を持つための「深く考える力」を養えるような学習方法を徹底する。
ボランティア活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● ボランティア活動の企画・運営を積極的に推進する。
基本的な生活習慣定着の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎朝のHRや行事ごとに「生活信条七箇条」の唱和・掲示教育を行う。 ● 学校生活正常化運動(ゼロ・ディフェクト)の徹底する。 ● 「ソーシャルメディア・ポリシー」に則り、SNS利用上のマナーとルールを厳守できるよう指導する。 ● 5SR(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ・リサイクル)の向上にむけて生徒を指導し、環境美化への配慮を促進する。 ● 生徒間での言葉遣いについて指導し、言語環境への配慮を促進する。
海外留学生の積極的受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外留学生の入学前・入学後日本語指導を展開する。 ● 専門職教育(介護)の提供を視野にいれた留学生受け入れについて各種団体・法人と連携する。

〈技能開発コース グランドデザイン〉



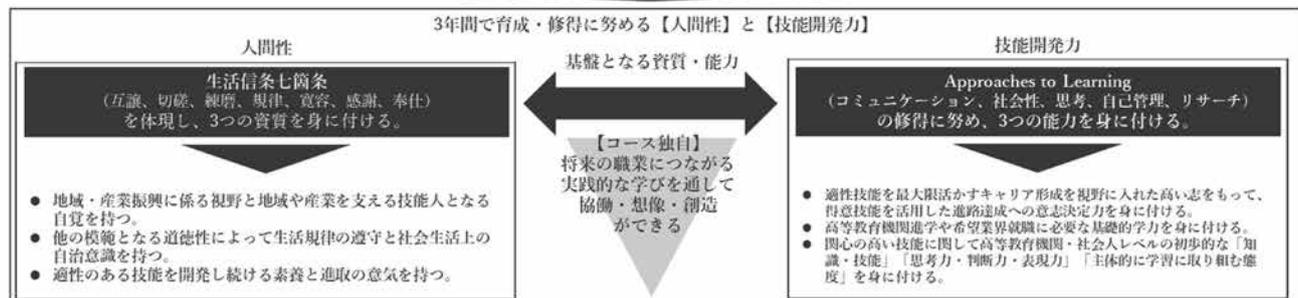
技能開発コース グランドデザイン
2025年度版

建学精神 至誠 質実剛健 自治進取	本学園の教育目的（スクール・ミッション） 私学教育の発達を図り民主的文化国家の形成に貢献し世界平和と人権の徹底増進に寄与するため、家庭人・社会人・国民・世界人として能く其の本務を尽し得る人物を養成する。	IBの使命 国際バカロレアは、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する。探究心、知識、そして思いやりによって富んだ若者の育成を目的としています。
-----------------------------	---	---

技能開発コースの教育目標
生活信条七箇条にある規範意識を基礎とした生活・学習習慣と協働・想像・創造に必要な技能を持ち、地域振興のために高度なパフォーマンスと職業的倫理観を発揮する技能人の育成

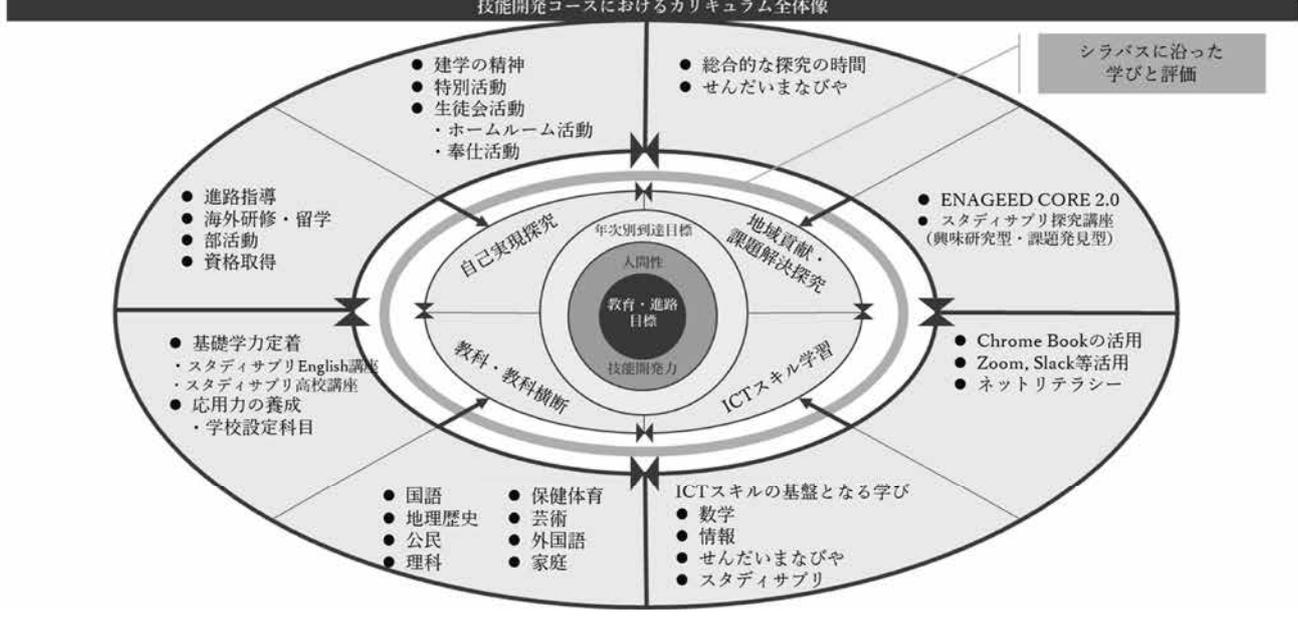
進路指導目標
大学(専門職大学を含む)・大学校・専門学校へ、主に総合型選抜・学校推薦型選抜を活用して進学する若しくは技能適性のある業界へ就職することを旨とする。

目指すコース像 ● 生活信条七箇条にある規範意識を基礎とした生活・学習習慣を養うコース ● 協働・想像・創造に必要な技能や社会人として求められる教養・意識を高めるコース	目指す生徒像 ● 協働・想像・創造できる生徒 ● 将来の職業を目指して実践的に学ぶ生徒 ● 地域振興のために高度なパフォーマンスと職業的倫理観を発揮できる生徒	目指す教師像 ● 建学精神・生活信条七箇条に則った人間性を磨く教師 ● 教科指導力、生徒理解力、生徒指導力、校務実践力、自己研鑽力を有する教師 ● 本コース所属生徒の親となる教師
---	---	---



学年別到達目標

重点項目	1年次	2年次	3年次
人間性	● 【規律】【練磨】への理解を深め、自律的に自己管理し、心身の健康に結びつく生活規律の遵守と社会生活上の自治意識を持つ。 ● 【切磋】他者理解を持ち、相手を考えた行動を身に付け、課外活動等で切磋琢磨する。	● 【互誼】【寛容】への理解を深め、物事を他者との関係性の中で捉えることができる。 ● 自らの学習課題を設定し、【規律】【練磨】【切磋】を実践する。	● 【感謝】への理解を深め、持続的な共生社会実現への参画の視座を持つ。 ● 【奉仕】への理解を深め、国際的な視点を持ち、社会で活躍できる基礎を固める。
技能開発力	● 教科学習、総合的な探究の時間、特別活動の中でシラバスを意識し、基礎基本の定着を目指す。 ● Chrome Book を積極的に利用し、AIを活用した個別最適学習に取り組む。 ● スタディサプリ探究講座の総合的な探求の時間での活用を通じ、広い視野から自らの将来像を描く。	● 教科学習、総合的な探究の時間、特別活動の中でシラバスを意識し、学習改善に努める。 ● 外部人材を活用した多様な選択科目を履修し、各種資格試験にも積極的にチャレンジし、実践的な学力を身に付ける。 ● ENAGED CORE 2.0とスタディサプリ探究講座を活用し、自分の思考の変化を自覚し、活動の記録をポートフォリオに記録する。	● 教科学習、総合的な探究の時間、特別活動の中でシラバスを意識し、自信をもって妥当な自己評価ができる。 ● 自己と他者を尊重した協働的な学びの意義を社会に発信できる。 ● ENAGED CORE 2.0とスタディサプリ探究講座を活用し、グループワークやプレゼンテーションスキルを身に付け、自分の考えを持ち発信できる。
キャリア意識	● せんだいまなびやの活動を通して、広く地域の課題や地域産業の取り組みに関心を持つ。 ● スタディサプリ探究講座を活用し、職業人としての自己理解に努める意識を持つ。	● せんだいまなびやの出店勧誘(Zoom)などに参加し、コミュニケーション力や社会性を身に付ける。	● 将来のやりたい自分像を持ち、進路達成に向けて高い志を立てることができる。 ● 進路目標を実現する具体的な手立てを実行できる。



仙台育英学園高等学校 広域通信制課程

(通信制普通科単位制, 2学期制, 男女共学, ILC宮城, ILC青森, ILC沖縄)

平成9年12月通信制課程 設置認可
平成13年12月広域通信制課程認可
平成15年9月教育区域の変更認可Ⅰ
平成25年9月教育区域の変更認可Ⅱ

A) 教育目標

明るい人間関係の構築のもと、他者と磨き合おうとする互譲・切磋の意欲をもち、自己調整能力・計画実行能力を駆使しながら理想の自己像にむけて行動できる実践者の育成

B) 進路指導目標

高等学校卒業資格取得を第一としながら、大学・大学校・専門学校への進学、適性のある業界への就職、若しくは現職でのさらなる活躍を目指す。

C) 概要

1997年12月、宮城県から認可され、本県に本校を置いている私立高校の中では初めての通信制課程であった。2001年12月には広域通信制課程の認可を受け、2002年4月にILC青森校、2014年4月にILC沖縄校が開校し、広域化を進めてきた。※ ILC… Ikuei-Learning-Center

広域通信制課程は、宮城県、青森県、沖縄県の3つのスクーリング拠点が互いに連携し合うことで、教育課程内外の活動を通じて、明るい人間関係の構築のもと、他者と磨き合おうとする互譲・切磋の意欲をもち、自己管理能力に属する自己調整能力・計画実行能力を駆使しながら理想の自己像にむけて行動できる実践者の育成を目指す。また高等学校卒業資格取得を第一としながら、大学・大学校・専門学校への進学や適性のある業界への就職、現職でのさらなる活躍につながるための指導・支援を行う。

D) 資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

教育目的（＝スクールミッション）が反映された教育目標の達成に向け、在学中に引き出す資質と育成する能力を下記のとおり設定する。

■ 資質

【基礎的な資質】

互譲（われらは互いに譲り合い 明るい人間関係を建設する）の体現

【高度な資質】

切磋（われらは互いに磨き合い 真の学力を身につける）の体現

■ 能力

【基礎的な能力】

自己調整能力（目標を立てる力、伸長する力）の習得

【高度な能力】

計画実行能力（計画を立てる力、完遂する力）の習得

E) 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

■ 資質、能力を育むべく、下記の教育課程を編成する。

- ・ 基本的な生活並びに学習における手助けとなるべく、自身への気づきを促すことを目的として、丁寧な対話を全授業で実践する。
- ・ 課題達成による明確化によって、着実に成功体験を積み、取り組みを褒めることで、能力向上を図る。
- ・ 新卒者をはじめ、他の高等学校からの転編入を希望する生徒や中途退学者など、学習意欲のある者を受け入れ、前籍校を含め3年間以上在学した上で74単位以上の単位を修得すれば卒業資格を得られるようにする。
- ・ 教育課程の特例に基づき、報告課題の添削指導や面接指導はICTを活用できるように教育課程を編成し、生徒が主体的・自律的に履修できる体制とする。
- ・ 世代を超えたコミュニケーションを必須と考え、普段の授業以外での行事（新入生歓迎会・オリエンテーション・スポーツ応援など）をカリキュラムに編成していく。

■ 評価方法については下記のとおりとする。

- ・ 2021年度以前の入学生に対しては旧規定に基づく評価を適用するものの、下記の内容も可能な限り取り入れる。
- ・ レポート・スクーリング・テストの取り組みを踏まえた多様な学習活動の中で「観点別評価」を行う。また、テストの中でも設問等の設定方法を工夫することで「観点別評価」を行う。
- ・ 学習における「目標・内容と評価の一致」のための前提となる「教科・科目別全体シラバス」や「単元シラバス」を作成する。

教育目標・3つの方針

- ・「観点別評価」のうち、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」では教科目の特性を生かして、各教科目が観点の評価項目を決定する。
- ・「観点別評価」のうち、「主体的に学習に取り組む態度」では、全教科目で自己管理能力に属する自己調整能力（目標を立てる力、伸長する力）、計画実行能力（計画を立てる力、完遂する力）を評価項目に設定する。その具体的なルーブリックは以下のとおりとする。

ILCの定める能力 <自己管理能力>	評価項目	具体的行動に伴う評価段階		
		A	B	C
自己調整能力	①目標を立てる力	単位修得にむけてレポート・スクーリングの基準や期限を理解し、レポートの自力解決度合いに応じたスクーリングの工夫の必要性についても理解している。	単位修得にむけてレポート・スクーリングの基準や期限を理解している。	単位修得にむけてレポート・スクーリングの基準や期限を理解できていない。
	②伸長する力	当初定められた提出期間内でレポート・スクーリングの規定回数を【完了し続けている／完了するようになった】	当初定められた提出期間を超え、再度設定された提出期間内でレポート・スクーリングの規定回数を【完了し続けている／完了するようになった】	再度設定された提出期間を超えて、テストを受ける直前までにレポート・スクーリングの規定回数を【完了し続けている／完了するようになった】
計画実行能力	③計画を立てる力	規定回数の全てにおいて、レポートを8割以上回答した上で、スクーリングの予約を行っている	規定回数の半分以上、レポートを回答した上で、スクーリングを行っている	規定回数の半分以上、レポートを回答せず、スクーリングを行っている
	④完遂する力	当初定められた提出期間内でレポート・スクーリングの規定回数を完了している	当初定められた提出期間を超え、再度設定された提出期間内でレポート・スクーリングの規定回数を完了している	再度設定された提出期間を超えて、テストを受ける直前までにレポート・スクーリングの規定回数を完了している
主体的に学習に取り組む態度		①-④の評価が以下組み合わせ AAAA,AAAB,AAAC,AABB,AABC	①-④の評価が以下組み合わせ AACC,ABBB,ABBC,ABCC,ACCC,BBBB,BBBB,BBCC	①-④の評価が以下組み合わせ BCCC,CCCC

※「8割」「半分」という基準は、各ILCで決めた基準や教科で決めた基準に変更可能。

F) 入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

建学精神、教育目標、進路指導目標に共感し、資質・能力の体現と習得を目指そうとする入学者について、求める資質・能力に基づいて募集する。広域通信制課程では自己推薦選抜試験、一般入学試験を実施し、受験生の適性や潜在的な資質・能力を多面的かつ総合的に評価する。

■ 広域通信制課程募集で求める資質・能力

- ・資質・能力の体現とその習得に向けて努力する姿勢や意欲がみられること。
- ・中学校あるいはそれに準ずる卒業資格があること。
- ・進路目標が広域通信制課程の進路指導目標と一致していること。

G) 主な重点施策・指導内容（「教育方針と重点課題」からの一部抜粋と独自設定）

重点課題	重点施策・指導内容
カリキュラムマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 広域通信制課程における、3つの方針やグランドデザインに基づく進路別モデルカリキュラムを策定する。 ● 各学校・各課程・各コースで各教育目標に基づき、資質・能力を明示したグランドデザインを策定する。 ● 各教科においてシラバスを作成の上、シラバスに沿った観点別評価を実践する。
ICT教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● Lネットスクーリングの活用、及びオンラインスクーリングの実施を推進する。 ● リザーブ予約サイトを活用した安全安心なスクーリングを実施する。 ● Lネット（動画視聴、レポート提出）をGoogle Classroomと連携して活用できるように推進する。
スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> ● 各体育会運動部の部規則を部長が定め、所属生徒から保護者連名で内容に同意を得ることで、建学精神を体した生活信条七箇条の実践に部活動を通して取り組むよう推進する。
学力（学びに向かう力）の質的向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 通信制課程の基礎基本となる自学自習を確立する。 ● 学業不振生徒への適切な支援を行う。 ● 義務教育段階との円滑な学習内容の連携を行う。 ● スタディサプリを導入し、4年生大学等を目指す生徒に対し、標準化された学力試験（模擬試験）、及び個々の学習習慣に応じた学習ガイダンスの機会を与え、生徒が自己の学力を主体的・客観的に把握・分析する意識の高揚を促す。 ● 地域の専門学校や大学との連携を図り、出前授業や講話等を通して、生徒への進路指導の充実を図る。
キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期的な教育相談と進路相談の連携を行う。 ● 将来の自分づくりのための設計づくり（サポート）を行う。 ● 公共職業安定所や企業との連携を行う。
学校不適応対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 不登校経験者や人間関係づくりの苦手な生徒への支援を行う。 ● 通常のスクーリングでは履修困難な生徒に対し、常勤職員の教育相談や個別スクーリングによる対応の充実を図る。 ● 将来的な社会適応を目指した社会スキルの習得を促進する。
ボランティア活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● ボランティア活動の企画・運営を積極的に推進する。
基本的な生活習慣定着の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 「生活信条七箇条」の唱和・掲示教育に努める。
教育施設・備品の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 広域通信制を対象としたオンライン図書館（電子図書）の活用を推進する。 ● ILC青森のユートリーでの学習機会を確保しながら、湊高台校舎の拡張を推進する。 ● ILC沖繩の学則定員増加と仙台育英学園沖繩高校との共用体制を踏まえ、「南冥校舎」の新設を推進する。

ILC宮城

(宮城・福島・山形・岩手・秋田・埼玉・栃木各県・東京都)

◇ILC宮城校 (〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野二丁目4-1)

- ① スクーリング(面接指導)は原則として、土曜日の午前9時から午後4時40分までの時間帯
- ② 校舎の利用は、毎週火曜日から金曜日の午前9時00分より午後5時00分までの時間帯
 - ア スクーリング(面接指導)の代替指導
 - イ レポート作成指導
 - ウ 教育全般にわたっての生徒・保護者・教師との相談
 - エ 基礎学力補充のための特別講義、進路相談・大学入試にかかわる指導
 - オ ILC青森・ILC沖縄の生徒もILC宮城の校舎で学習可。

ILC青森

(青森・岩手・秋田各県)

◇ILC青森校 (〒031-0823 八戸市湊高台三丁目2番2)

- ① スクーリング(面接指導)
ILC青森校：毎週「火、水、木、金、土」の午前9時00分から午後5時00分までの時間帯
- ② 指導内容
 - ア レポート作成の指導
 - イ 不登校や引きこもりで困っている生徒や保護者の悩みについて相談

ILC沖縄

(沖縄県)

◇ILC沖縄校 (〒904-0021 沖縄県沖縄市胡屋二丁目6-17)

- ① スクーリング(面接指導)
毎週「火、水、木、金、土」に、個別スクーリングで、午前9時10分から午後4時50分までの時間帯
- ② 指導内容
 - ア レポート作成指導
 - イ 教育全般にわたって生徒・保護者・教師との相談

仙台育英学園沖縄高等学校

(全日制普通科単位制, 4学期制, 男女共学, 栄光校舎)

A) 教育目標

生活信条七箇条に則り現在と将来の自立を目指し、
情報技術によって生まれる新しい絆を育むICTエンジニアの育成

B) 進路指導目標

経済的に自立するため、ICT分野で就職・起業を目指す。
希望に応じてICT関連の国内外大学・専門学校への進学を目指す。

C) 概要

ICT (Independence, Chance, Try) をテーマとした仙台育英学園沖縄高等学校は2023年度に開校した。Society5.0にある世界観の中で情報技術によって生まれる新しい絆(ゆいまー)を育てるICTエンジニアとなり、生活信条七箇条を標榜しながら在学中と卒業後に自立できるよう、【行動特性(U-Lions)】の体現と【基礎学力(U-ICT)】の習得に向けた教育を行う。特に「生徒の満足度」と「資質・能力の到達度」を注視する。

※U=Uchina(うちなー) ※学力=学びに向かう力

そして、進路開拓に不可欠な基礎的な学力の養成に向けた授業をはじめ、ICT関連の資格取得に対応した学校設定科目の設定、学外組織(企業・大学・専門学校・地域組織)と連携し、ICTスキルを習得し、アントレプレナーシップを体現できるカリキュラム設定・環境整備を行う。

これらのことを通じてICTエンジニアを育成し、ICT分野で起業・就職するなど経済的に自立できるよう指導し、その過程において進学が必要と生徒が意思決定した際には、ICT関連の国内外大学・専門学校への進学指導を行う。特に、「進路決定者100%」を必達目標とし、かつ就職・起業・進学希望者の「希望進路達成率100%」を努力目標とする。

D) 資質・能力に関する方針(グラデュエーション・ポリシー)

教育目的(=スクールミッション)が反映された教育目標の達成に向け、高校3年間で引き出す資質と育成する能力を下記のとおり設定する。

■ 資質

- ・行動特性: U-Lions(生活信条七箇条)
- ・価値観: 起業家(経済的自立者)としての価値観(Entrepreneurship)

■ 能力

- ・基礎学力: U-ICT(学び方)
- ・ICTリテラシー: ICTエンジニアとしてのICTスキル(ICT Skills)

E) 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)

■ U-Lions, U-ICTを育むべく、下記の教育課程を編成・実施する。

- ・全学年次において教育課程内外の活動で学び方を学ぶ活動・ICTスキルの資格習得・アントレプレナーシップ教育に関連する教育課程編成、時間割設定を行う。

- ・1年次においては、中学校レベルにおける基礎学力を確実に定着させるための授業を国語（日本語）・数学・英語で行う。
- ・2年次以降においては、個別最適学習を必修科目の数学・英語を中心とした各教科でも積極的に取り入れ、ICTツールを活用しながら単元内自由進度学習の実践を推進する。
- ・総合的な探究の時間や学校設定科目では、外部機関との連携を積極的に行うことで、ICTスキル習得・アントレプレナーシップ教育と絡め、生徒の経済的な自立に結び付くように働きかける。

■ 評価方法については下記のとおりとする。

- ・1－3学期は学期ごとに仮評定を行うことで、フォローアップ体制を円滑にする。
- ・学習指導要領で定める【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】の「観点別評価」で評価を行う。
- ・学習における目標・内容と評価の一致のために、「シラバス」,「総括的評価に用いる課題の評価観点・ループリックを明示した資料」,を単元・授業・評価の実施前に生徒に対して事前に公表する。単元・授業・評価の実施後には「振り返り」を行う。
- ・評価観点における評価項目を作成する際にはU-ICT（コミュニケーションスキル, 社会性, 思考力, 自己管理能力, リサーチスキル）の項目を【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】に組み合わせる。
- ・「総合的な探究の時間」および「特別活動の時間」では、目標・内容と評価観点を一致させながら、個々のポートフォリオに基づく評価の実施やエピソード記述による指導要録への記載を行う。また、本校在学中の教育課程内外の活動を幅広く評価するためにポートフォリオ評価を重視する。
- ・生活信条七箇条に係る生徒の定着度合について定性的な評価を行う。
- ・単元内自由進度学習では目標設定（状態・成果・行動）と振り返り（Good, Bad, Next）を意識させる振り返りを評価課題の一部とする。

F) 入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

建学精神, 教育目標, 進路指導目標に共感し, 資質・能力の体現と習得を目指そうとする入学者について, 求める資質・能力に基づいて募集する。募集方法としては, UP入試（専願・併願）〔Uchina Promotion入試※〕を複数回実施し, 受験生の適性や潜在的な資質・能力を多面的かつ総合的に評価する。

※レベルアップ・キャリアアップを図る入試, 沖縄（うちなー）の振興を図る入試

■ 募集で求める資質・能力

- ・「U-Lions」「U-ICT」「ICT Skills」「Entrepreneurship」に掲げる資質・能力に向けて努力する姿勢や意欲がみられること。
- ・仙台育英学園沖縄高等学校の進路指導目標に賛同し, 家族も応援していること。
- ・地域貢献に対して, 積極的に関わろうとする姿勢を持っていること。

教育目標・3つの方針

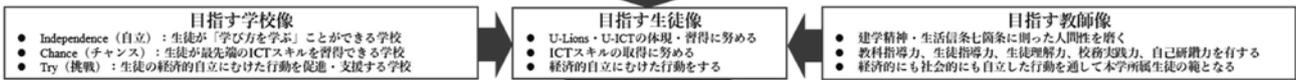
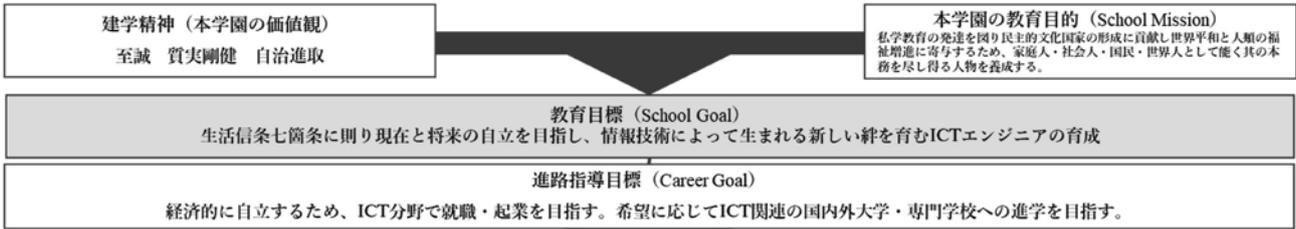
G) 主な重点施策・指導内容（「教育方針と重点課題」からの一部抜粋と独自設定）

重点課題	重点施策・指導内容
カリキュラムマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 各教科においてシラバスを作成の上、シラバスに沿った観点別評価を実践する。
アントレプレナーシップ教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 1年次の「Time Tact」、2年次の「ジャパンチャレンジャープロジェクト」、「ギルドヒーローズ」での企業連携講座を通じて、企業課題を知って企業への改善提案を経験した上で、資金調達・解散までの一連の起業体験をし、SDGsの観点でのキャラクターデザイン（キャラクターストーリー）による事業アイデアを企業に提案する。3年次には「創業計画書」を作成・発表した上で起業を想定したHP作りをする。このような一連のアントレプレナーシップ教育プログラム（iUP）を開発する。上記の様々な活動を「iUP（アイアップ）」と総称し、私（i）がIKUEI Lionへ向かって成長していく過程で、Career UPによりアドミッションポリシーにも掲げているUchina Promotionを推進する。
ICT教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● Surfaceの運用を推進する。 ● プログラミング教育（HTML, CSS, Java Script）を実施する。 ● 教科書（教材）のデジタル化を研究する。 ● e-スポーツ講座を実施する。 ● 生徒の協働学習や反転学習を促進するサービス（Slack, Google Classroom, YouTube, スタディサプリ）を推進する。 ● 発展的なプログラミングを学ぶ「TECH CAMP」を情報科学コースの実践を踏まえて導入する。
英語教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● プログラミング英語の学習を推進する。
学力（学びに向かう力）の質的向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 「グローバルライセンス」（学校設定科目）を全員が履修し、MOS（Microsoft Office Specialist）の資格取得を推進する。 ● 全国商業高等学校協会主催の情報処理検定試験（ICT活用講座・プログラミング演習）の対策講座開講及び受検の推進と、ITパスポート対策講座を開講する。 ● 「学び方を学ぶ」の意識醸成を確固たるものにするために1年次に「第1の習慣セルフコーチング by 7つの習慣J」を導入する。 ● 生徒の知識・技能を中心とした学力層での差を踏まえた個別最適な学習を実施するために、教科教育内における単元別自由進度学習をICT教材（スタディサプリ）によって推進する。この際に、自由進度学習を観点別評価で評価できるように、主体的に学習に取り組む態度に係る学習課題として目標設定（状態目標、成果目標、行動目標）と振り返り（Good, Bad, Next）を必ず取り入れ、研究を進める。 ● Ai GROWにより生徒の資質能力・コンピテンシーを定量的に測定。結果をもとに、生徒自身が成長を認識するとともに「どの特性を伸ばしたいのか」というセルフコーチングによりメタ認知を高め、希望進路達成の一助とする。
キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 「経済的自立」の考え方として下記のことを意識して指導にあたる。 <ol style="list-style-type: none"> ① 卒業後に就職する。 ② 在学中もしくは卒業後に起業する。 ③ ICT関連の高等教育機関（通信制含む）に進学して、のちに就職・起業する。 ● 仙台育英学園高等学校情報科学コースと共同開催しながら、高大連携・企業連携を推進する。
学校不適応対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 仙台育英学園高等学校広域通信制課程での学修による連携を推進する。 ● 不登校生徒、高校生活不適応生徒、成績不振生徒に対して同一の対応をせず、二者・三者面談を徹底する。 ● 担任団制度を導入し、有効性について研究を行う。
「建学精神の時間」の研究推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 「建学精神の時間」に自己の言動と行動に責任を持つための「深く考える力」を養えるような学習方法を徹底する。
ボランティア活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域ボランティア活動の企画・運営を積極的に推進する。 ● SDGsを理解し、地域貢献としてビーチクリーンや商店街清掃活動を推進する。
基本的な生活習慣定着の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎朝のHRや行事ごとに「生活信条七箇条」の唱和・掲示教育を行う。 ● 「ソーシャルメディア・ポリシー」に則り、SNS利用上のマナーとルールを厳守できるよう指導する。 ● 5SR（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ・リサイクル）の向上にむけて生徒を指導し、環境美化への配慮を促進する。 ● 生徒間での言葉遣いについて指導し、言語環境への配慮を促進する。

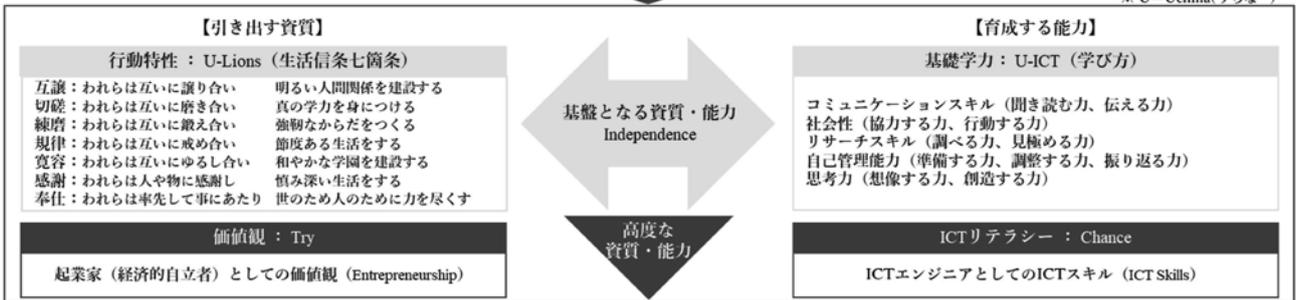
〈仙台育英学園沖縄高等学校 グランドデザイン〉



仙台育英学園沖縄高等学校 グランドデザイン
2025年度版

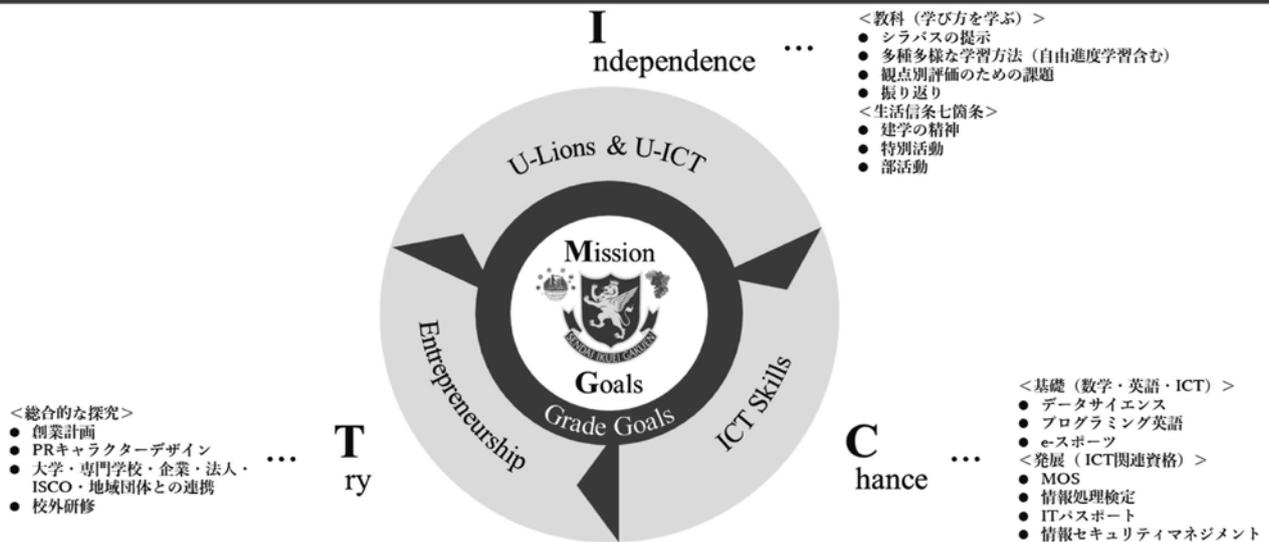


※ U=Uchina(うちなー)



学年別到達目標 (Grade Goals)			
重点項目	1年生	2年生	3年生
Independence	U-Lions	● 【互譲】 【寛容】 の理解を深め、物事を他者との関係性の中で捉える意識をもてる。 ● 【規律】 【練習】 【切磋】 が行動でみられる。	● 【感謝】 の理解を深め、持続可能な社会の実現に参画する意志をもてる。 ● 【奉仕】 の理解を深め、情報技術によって経済的に自立する意志をもてる。
	U-ICT	● 教科学習、総合的な探究の時間、特別活動を通じてコミュニケーションスキル、社会性、思考力、自己管理能力、リサーチスキルを活用し、自身と他者の活用状況を説明することができる。	● 教科学習、総合的な探究の時間、特別活動を通じてコミュニケーションスキル、社会性、思考力、自己管理能力、リサーチスキルを活用し、より向上させる計画を自身と他者のために立てることができる。
Chance	ICT Skills	● ICT関連資格取得に向けた数学・語学の高校必修レベルを自由進度学習で習得できる。 ● MOS (Excel Specialist)、情報処理検定2級 (ビジネス情報)、ITパスポートを取得できる。 ● デジタル機器、本学園認定SNS、デジタル教材、e-スポーツ等の活用により校内活動が円滑にできる。	● データサイエンス数学ストラテジスト (中級)、プログラミング英語検定 (ベーシック) を取得できる。 ● MOS (PowerPoint)、情報処理検定2級 (プログラミング)、情報セキュリティマネジメントを取得できる。 ● デジタル機器、本学園認定SNS、デジタル教材、e-スポーツ等の活用により外部団体と連携した活動が主体的にできる。 ● 他者の創業計画書をベースにしたHPの作成することができる。
Try	Entrepreneurship	● 起業プロセスを理解した上で、うちなーの社会・ビジネス課題をSDGsの観点で分析し、課題解決方法を空想を加味して立案できる。 ● ICTスキルを活かした経済的自立に向けた進路開拓を計画できる。	● 身近な出来事に着想を得た創業計画を立案・発信できる。(現状に異議を唱える) ● ICTスキルを活かし、経済的自立に向けた進路開拓への行動ができる。(リスクをとる)

カリキュラム全体像



7 学校行事等 (2025年度)

〈秀光中学校・秀光コース年間行事予定〉

四月	秀光中学校・秀光コース入学式・写真撮影 (4/4) スタディサポート (4/8) 中3全国学力・学習状況調査 (4/16) 結核検診 (4/21) ベネッセ4月記述模試 (4/17-19) 授業参観・春季教育懇談会 (4/19) 学力推移調査① (4/22) 新入生歓迎会・部活動紹介 (4/24) 新入生健康診断 (4/25)	十月	学園創立120周年記念日 (10/1) 第3学期開始, 衣替え (10/1) 第2回校内模試 (10/2-3) TOEFL (10/2-3) 秀光祭 (10/18) 秀光 Open Campus Day III (10/18) DPトライアル説明会 (1M) (10/22) 農業体験 (1S, 東和蛍雪校舎) (10/23) 秋季教育懇談会 (10/25) 高校個別相談② (10/25) Canada GLA 説明会 (1S, 2S) (10/25) 面接週間 (10/27-11/7) IB最終試験 (10/27~11/14)
	五月		秀光生徒総会 (5/8) 教育実習 (5/12~30) I-Lion Day (5/22) 学びみらいPASS (5/23) 父母教師会総会 (5/24) 農業体験 (1S 東和蛍雪校舎 5/26) 大学推薦入試説明会 (5/31)
六月	衣替え (6/1) スポーツチャレンジ (6/5) 県高校総体 (6/7-9) 振替休業日 (6/10) 第1回校内模試 (6/12) 秀光在卒懇 (6/14) 仙台市中総体 (6/14-16) IBセミナー (6/21) 1学期考査 (6/23-27) 防災避難訓練 (6/27) 秀光 Open Campus Day I (6/29) カナダGLA (3S 6/29-7/13) ベネッセ総合学力テスト (6/30) ベネッセ総合記述 (3M 6/30-7/1)	十一月	DPトライアル面接試験 (12/1) 創立者ご生誕日 (143年, 12/3) DPトライアル (1M 12/8-3/19) 秀光コース内部進学選考 (3S 12/13) EEプレゼンテーション (2M 12/18-19) 冬季休業 (12/27~1/7)
	七月		第2学期開始 (7/1) 東和蛍雪校舎研修 (2S 7/1) 健康診断 (7/3) グリーンスクール (1S 7/3-4) 起業体験ワークショップ (1S 7/5, 7/12) 職場体験 (2S 7/9-11) 秀光 Open Campus Day II (7/13) 夏季休業 (7/14-8/24) 面談週間 (7/14-25) IB合宿 (2M 7/15-17) ワールドピースゲーム (2S 7/16~23) 県中総体 (7/20-23) 全国総文祭 (7/26-27) 秀光入試対策 I (7/27)
八月	授業開始 (8/25) 中学国語校内弁論大会 (8/28)	十二月	カーボンニュートラルゲーム (1S 2/3) 秀光中学校合格者ガイダンス (2/7) 茶道教室 (1S 2/10 2S 2/12-13) 国公立大学入試 (前期) (2/25~26) 秀光中学校卒業式 (2/27 午前) 秀光コース卒業式 (2/27 午後)
九月	大学入学共通テスト説明会 (9/1) スタディサポート (1M 2M 9/3) 進路講話 (9/6) 秀光入試対策II, 高校個別相談① (9/6) 学力推移調査 (9/9) Mock試験 (3M 9/11-19) 校外研修 (1M 東和蛍雪校舎 9/17) MYP課題週間 (9/22-27) 球技大会 (9/25-26)		二月
		三月	

〈仙台育英学園高等学校年間行事予定〉

四月	<p>高等学校入学式 (4/5) ILC 宮城入学式 (4/12) ILC 青森入学式 (4/2) 始業式 (4/7) 高校学力診断テスト (1年:4/7) 第1回実力テスト (2・3年:4/7-9) 仙台育英学園沖繩高等学校入学式 (4/9) ILC 沖繩入学式 (4/9) 3 F K 沖繩研修旅行 (男 4/12-15 女 4/13-16) 3 J 沖繩研修旅行 (4/15 ~ 4/18) 3 A 沖繩研修旅行 (男 4/18-21 女 4/19-22) 授業参観, 第1回教育懇談 (4/19) 新入生健康診断 (多:4/24・宮:4/25) 東和蛸雪校舎研修 (特進 4/23・24)</p>	十月	<p>学園創立 120 周年記念日 (10/1) 第3学期開始 (10/1) 第2回校内模試 (二次型) (10/2・3) 育英祭 (10/11・12) Open Campus in Tagajo V (10/11) Open Campus in Tagajo VI (10/12) 振替休業日 (10/14=10/12分) 第2回教育懇談会・面談週間 (10/25 ~) 入試個別相談会② (10/25) 東和蛸雪校舎研修 (ILC 宮城 10/24) ハワイ研修 (外国語・1班:予定) 吹奏楽部ジョイントコンサート (10/26) 私学合同入試説明会 ジョブミーティング (情報科学1年) オータムチャレンジ (情報科学)</p>
五月	<p>GW 課題確認テスト (5/7) 東和蛸雪校舎研修 (特進 5/8・9・13・14) 教育実習 (5/12-30) Stanford e-Sendaiikuei (外国語 5/10) スプリングチャレンジ (外国語 5/14) 父母教師会総会 (5/24) 東和蛸雪校舎研修 (情報科学 5/20・21・23) スプリングチャレンジ (特別進学 5/15) I-Lion Day (5/22) 大学推薦入試保護者説明会 (宮:5/31) 東和蛸雪校舎研修 (英進進学 5/27・28・29)</p>	十一月	<p>入試個別相談会 (11/1・8) 第3回校内模試 (11/5▶6) 3学期考查 (11/25-28) 防災訓練 (11/28) ハワイ研修 (外国語・2班:予定)</p>
六月	<p>高校県総体 (6/7-9) 振替休業日 (6/10 = 6/8分) スプリングチャレンジ (秀光:6/5) 東和蛸雪校舎研修 (英進進学 6/3・4・11・12・13) 在卒懇 (宮:6/7, 秀:6/14) Open Campus in Miyagino I (6/21) 在卒懇 (外国語:6/21) 1学期考查 (6/24 ~ 27) 防災避難訓練 (6/27) Open Campus in Miyagino II (6/28)</p>	十一月	<p>創立者ご生誕日 (143年, 12/3) 2 T 研修旅行 (12/13-16) 面談週間 (12/19-26) 合唱コンクール (12/24-25) 冬季休業 (12/28-1/7) 冬期講習 スピーチコンテスト (外国語)</p>
七月	<p>2学期開始 (7/1) 東和蛸雪校舎研修 (外国語 7/2 ~ 4) Open Campus in Miyagino III (7/5)・IV (7/12) 夏季休業 (7/16 ~ 8/25) 面談週間 (7/17 ~ 8/1) 夏期講習 (宮:7/17 ~)</p>	一月	<p>第4学期開始・実力テスト (1/8) 特待・自己推薦等入試日 (1/14) 特待・自己推薦等合格発表 (1/15) 大学入学共通テスト激励会 (1/16) 大学入学共通テスト (1/17-18) フォローアップ講座 (1/20 ~ 2/10) A日程入試日 (1/29) ハワイ研修 (外国語・3班:予定)</p>
八月	<p>PLAN2000 (特別進学1年) 韓国語学研修 (外国語:8/3 ~ 18) 東和蛸雪校舎研修 (フレックス 8/28-30) 授業開始 (8/26) 東和蛸雪校舎研修 (フレックス 8/28-30)</p>	二月	<p>B日程入試日 (2/2) 一般入試合格発表 (2/4) 合格者ガイダンス (2/7) 4学期考查 (2/16-20) 国公立大学入試 (前期) (2/25 ~ 26)</p>
九月	<p>大学入学共通テスト説明会 (9/1) 東和蛸雪校舎研修 (フレックス 9/2-3 技能 9/8-10・16) 入試個別相談会① (9/6) ILC 沖繩前期卒業式 (9/13) 東和蛸雪校舎研修 (秀光 9/19) ILC 青森前期卒業式 (9/20) ILC 宮城前期卒業式 (9/21) 2学期考查 (9/22・24-27) 教育実習 (9/29 ~ 10/17)</p>	三月	<p>卒業式 (3/1) スピーチコンテスト (外国語) ILC 宮城後期卒業式 (3/3) ILC 青森後期卒業式 (3/4) ILC 沖繩後期卒業式 (3/11) 修了式 (3/19) 二次入試日 (3/17) 学年末休業日 (3/20 ~ 31) 春期講習 (3/23 ~) 特別進学:入学前準備講習 (3/24 ~ 26)</p>

〈沖縄高等学校年間行事予定〉

四月	始業式・実力テスト(2年次)(4/8) 入学式(4/7) 新入生HR開き(4/10) 学び方を学ぶ月間(4/10～5/7) 情報科学コース交流会(4/17) ITパスポート試験(4/13)	十月	学園創立120周年記念日(10/1) 3学期開始(10/1) 第2回オープンキャンパス(10/4) 授業参観・第2回教育懇談会(10/18) 学校説明会①(10/25)
	部活動紹介・進学相談会(4/22) 循環器検診・健康診断(1年次)(4/23) 定期健康診断(3年次)(4/23) 父母教師会沖縄支部総会(4/29) 授業参観・第1回教育懇談会(4/29)		十一月
五月	新入生歓迎交流会(5/6) I-Lion Day特別講話(5/22) 高校総体開会式(5/23) 三者面談期間(5/27～6/7)	十一月	創立者ご生誕日(143年 12/3) 防災避難訓練(12/3) 学校説明会④(12/13) 面談期間(12/15～27) 冬季休業(12/27～1/7)
六月	マナー講座(6/13) 1学期評価期間(6/16～30) 慰霊祭清掃活動・平和学習(6/20) 防災避難訓練・校内清掃活動(6/28)		一月
七月	2学期開始(7/1) 金品教育(7/4) 地域清掃活動(7/10) 学びミュージアム(進路イベント)(7/16) 進路シュミレーション会議(7/16) 面談期間(7/16～8/1) 夏季休業(7/17～8/25) うちなー育英祭(7/20・21) iUPインターンシップ週間(7/28～8/8)	二月	学校説明会⑧(2/7) UP入試2(2/11) 4学期評価期間(2/9～24)
	八月		保護者対象サマースクール(8/2) 授業開始(8/26)
九月	高校選択進路研修会(中学校対象)(9/2) スタディサプリ到達度テスト(9/12) 第1回オープンキャンパス(9/13) 2学期評価期間(9/16～30) 第2回オープンキャンパス(9/28) 情報処理検定試験(9/28)	三月	

8 国際理解教育推進の歩み

- 昭和36年（1961）・本校生がレスリング大会に優勝し、全国高校選抜アメリカ遠征に参加する。
以来、他に先駆けて国際理解教育の推進を図る。
- 昭和38年（1963）・米国オレゴン州に留学生1名を送り、米国から交換留学生1名を受け入れる。
・初めて英会話の指導者として米国から外国人講師を迎える。
- 昭和40年（1956）・〔創立60周年〕国際ロータリークラブ青少年交換プログラム発足に伴い、全国に先
駆けて生徒1名が留学。米国から留学生1名（女子）を受け入れる。
- 昭和47年（1972）・初めて海外語学研修を実施する。（米国ソレトレイク市）
- 昭和59年（1984）・国際理解教育推進のため「育英国際センター」を設置する。
- 昭和62年（1987）・カナダBC州スティーブストン高校他4校と国際姉妹校提携を始める。
・来日留学生等を対象に「JSSコース」（日本語、日本文化講座）を設置する。
- 平成4年（1992）・海外への修学旅行を実施する。（イタリア知識旅行：外国語コース）
- 平成7年（1995）・文部省から帰国子女教育研究協力校の指定を受ける。（平成7～8年度）
・国際青少年フォーラムに参加し、国際理解教育協力提携校ウルヴィ高校（スウェー
デン）を訪問する。
- 平成8年（1996）・韓国スポーツ国際交流団（女子卓球部、女子バレー部、サッカー部）をソウル等に
派遣する。
- 平成9年（1997）・ウェストバンクーバー市教育委員会人事部長をはじめ高校関係者が来校する。
・国際夢交流博覧会に国際理解教育をメインテーマとして出展する。
- 平成10年（1998）・レーナ・マリアコンサートを学園協賛で開催する。
・ニューヨークシンフォニックアンサンブルとの合同演奏会を実施する。
・初めて秀光中ユーロスクールを実施する。（スイス・オーストリア・イギリス）
- 平成11年（1999）・キューバ大使夫妻が来校する。
- 平成12年（2000）・キューバスports省副大臣、キューバ女子バレーナショナルチームが来校し本校女
子バレー部とフレンドシップゲームを行う。（6月）
・キューバ野球ナショナルチームが来校しシドニーオリンピックの合宿練習を行う。
キューバスports省大臣も来校し、キューバ野球ナショナルチーム歓迎式典を開催
する。（8月）
・キューバ、スポーツ総裁が来校し講演会を開催する。（10月）
- 平成13年（2001）・秀光中生他がキューバ共和国を訪問し、支倉常長銅像寄贈除幕式等に参加する。
- 平成14年（2002）・秀光中生がイタリア、トリノ市地球環境国際会議に出席する。
- 平成15年（2003）・ジャパン・リターンプログラム2003年日本語ジュニアサミットが開催され、本校が
ホストスクールとして宮城県代表に選ばれ、10か国から学生を受け入れる。秀光中
等教育学校生等が対応する。
- 平成16年（2004）・エジプト、アレキサンドリア市で開催された地球環境交際青少年会議に秀光中等教
育学校生が参加する。
- 平成18年（2006）・アイルランド姉妹提携校ホーリーファミリー高校訪問団と交流する。（2月）
・タイ王国NGO団体ドゥアン・プラティープ財団の代表が来校し、タイ王国との交流
に関する講演会を開催する。（7月）
- 平成20年（2008）・韓国、京畿道教育委員会の視察団が来校する。（3月）
・21世紀東アジア青少年大交流計画により来校したベトナム訪日中学生訪問団と交流
する。（7月）

国際理解教育

- 平成22年（2010）
- ・インドネシア，バンドン市教育委員会の視察団が来校する。（8月）
 - ・米国ハワイ州ホノルルにアイ・ライオン・ハワイ校（ILHA）を設置する。（10月）
- 平成23年（2011）
- ・中国，大連市建設学校訪問団が来校し，水墨画展を開催し席上揮毫を披露する。
 - ・理事長・校長加藤雄彦先生がキューバ共和国国家評議員会友好勲章を受章（11月）
- 平成24年（2012）
- ・秀光，米国ニューヨーク州ペース大学にてニューヨークスクールを実施する。（7月）
 - ・本学園獅子太鼓部がインドネシアバンドン市の姉妹校を表敬訪問する。（9月）
 - ・アイルランド共和国，駐日大使が本学園を訪問し，講演を行う。（9月）
- 平成25年（2013）
- ・駐日ブルガリア共和国特命全権大使が来校し，講演会を実施する。（5月）
 - ・「TOMODACHIプロジェクト」により米国から高校生26名が来校し，本学園生徒の自宅にホームステイをするなどの交流を行う。（7月）
 - ・姉妹校の中国洛陽市東方高級中学校のサッカー部が来校し，本校サッカー部と交流試合を実施する。（8月）
 - ・仙台・キューバ友好協会主催「遣欧使節400年祭……書と音楽」（アントニオ古賀リサイタル）に秀光生と外国語コース1・2年が参加する。（8月）
 - ・訪日ニュージーランド議長団一行が来校し，新校舎を視察する。（10月）
 - ・駐日キューバ共和国特命全権大使が来校し，慶長遣欧使節団出帆400年記念・東日本大震災復興祈念講演会を実施する。（11月）
 - ・フィンランド共和国ロヴァニエミ市長，民俗合唱団らが来校し，東日本大震災復興支援「サンタプロジェクト」を開催する。（11月）
 - ・秀光中等教育学校野球部，米国ハワイ州にてイオラニスクール招聘による野球交流試合に参加する。（2月）
- 平成26年（2014）
- ・ニュージーランド姉妹校のクライストチャーチ男子高校から12名の生徒が来校し，本校ラグビー部員宅にホームステイをしながら交流する。（4月）
 - ・慶長遣欧使節団キューバ共和国ハバナ寄港400周年記念行事「日本・キューバ交流の集い」を開催する。（キューバ共和国臨時代理大使エリザベス・バルデスマランダ氏ら来校し，式典と文化交流会を実施）（7月）
 - ・あしながインターンシッププログラム：「この夏！世界の超エリート大学からすごい大学生がやってくるぞ！」計2回実施（合計で約90名の世界の大学院生が来校し，本校生徒約470名に英語による特別授業＝ワークショップを実施していただいた。）（8月）
 - ・慶長遣欧使節団キューバ共和国ハバナ寄港400周年記念事業：「全日空チャーター便で行くキューバ・ハバナ6日間の旅」に参加する。（茶道部・仙台育英獅子太鼓部部員をはじめ一般生徒・保護者，理事長先生，教職員等29名が参加，10月）
 - ・ホノルルマラソン大会に陸上部員及びチアリーダー14名が参加する。（12月）
- 平成27年（2015）
- ・創立110周年記念事業 ミクロネシア連邦ジョン・フリッツ大使講演会「ミクロネシア連邦と日本の関係とさらなる未来への展望」（4月）
 - ・キューバ共和国，キューバ国立芸術学校から5人の学生と先生1名が来日し，本校吹奏楽部『SALTO』との合同演奏を行うなどの交流を深めた。（5月）
（2014.10，「慶長遣欧使節団キューバ共和国ハバナ寄港400周年記念事業」への返礼）
 - ・スウェーデンの剣道ナショナルチームが来校・合宿し，本校剣道部と交流。（5月）
（ナショナルチーム監督の佐藤公美さんは本校出身，2003年から監督を務めている。）
 - ・ウガンダ共和国の「あしながウガンダレインボーハウス・寺子屋」の30名の生徒たちが多賀城校舎に来校し，交流会を実施。（6月）
 - ・NPO法人「Ashita」主催のニューヨークにおけるワークショップ「Express Yourself! Summer 2015 at Horace Mann School」に特進生5名が参加（7月）
 - ・ハーバード大学・スタンフォード大学などの講師の指導を受け，日本・中国・韓国の高校生が参加するリーダーシップ・サミット「第2回Trilateral Leadership Summit」に特進生2名，外国語生2名が参加（8月）
 - ・フランス共和国，レンヌの姉妹校サンタマルタン高等学校サントジュヌヴィエヴ校から10名の研修生が来校し，本校生宅にホームステイをするなどして，日本の伝統文化等を学ぶとともに本校生と交流を深める。（10月）※2016.4.1をもって姉妹校提携終了。
 - ・ホノルルマラソンにチアリーダー部員5名参加。（12月）
 - ・台湾国立台南高級商業職業学校から64名の生徒が本学園を訪問し，外国語コースの生徒と交流を深める。（2月）
 - ・NPO法人「Ashita」主催のワークショップ「Express Yourself! Spring 2016 at Sendai Ikuei High School」に，特進生1・2年約30名が参加（宮城野校舎，3月）

- 平成28年（2016）
- ・ニュージーランドの姉妹校クライストチャーチ男子高等学校の生徒14名が来校し、ホームステイをしながら本校生徒と交流する。（4月）
 - ・仙台育英孔子課堂銘板除幕式（5月）
 - ・ニュージーランド姉妹校 カイアポイ（Kaiapoi）高等学校から、生徒7名が来校し、ホームステイをしながら本校生徒と茶道や華道等で交流する。（7月）
 - ・NPO法人「Ashita」主催のニューヨークにおけるワークショップ「Express Yourself! Summer 2016 at Horace Mann School」に特進2年生6名が参加（7月）
 - ・本学園からパプアニューギニア軍楽隊に中古楽器を贈呈
 - ・仙台育英学園高校とパプアニューギニアのソゲリ国立高校との姉妹校の提携をし、空手道部顧問と生徒が同校を訪問し、空手道を通して交流（8月）
 - ・チャリーダー部韓国研修旅行（原州ダイナミックフェスティバル参加）（9月）
 - ・中国・広東外語外貿大学学生芸術団日本公演開催（ゼルコバホール、10月）
（主催：仙台育英学園孔子課堂、札幌大学孔子学院、武蔵野大学孔子学院）
 - ・駐仙台大韓民国総領事館 梁桂和総領事の来校のもと、多賀城校舎で韓国の果川高校との剣道交流会を開催。（聖ドミニコ学院高・仙台高の剣道部も参加）（12月）
 - ・中華人民共和国吉林省長春市にある東北師範大学付属高校と姉妹校締結（1月）
 - ・パプアニューギニアのソゲリ国立高校との姉妹校締結に伴い、同校への日本語センター開所式を挙行（2月）
 - ・北京航空航天大学 黄海軍副学長による講演会開催（ゼルコバホール、2月）
 - ・男子サッカー部ドイツ遠征、親善試合を実施（バイエルミュンヘン等、3月）
 - ・外国語コース1・2年海外研修旅行（北京航空航天大学実験校 生徒12名、3月）
 - ・ハワイ研修 秀光中等教育学校2年1班（1月28日～2月10日）2班（2月11日～24日）3班（2月27日～3月10日）
- 平成29年（2017）
- ・茶道部アイルランド研修、姉妹校ホーリーファミリー高校訪問及び在アイルランド日本大使館公邸にてお点前披露（5月）
 - ・インドネシア大使館教育文化部による本学園視察（5月）
 - ・ミクロネシア連邦ボンベイ州ロータリークラブ会長による講演会実施（5月）
 - ・仙台育英孔子課堂設立1周年記念行事（5月）
 - ・カナダ ブリテッシュ・コロンビア州サニッチトン市サニッチ第63学区 [Saanich School District#63] と姉妹校提携（6月）
 - ・ボックスホールベースボールアカデミー（カナダ）から男子生徒2名本学園へ短期研修（6月）
 - ・北京航空航天大学実験学校（中国）から生徒10名本学園へ短期研修（7月）
 - ・2017International Students Summer Camp-Beijing（中国）に生徒4名参加（7月）
 - ・カナダ研修 秀光中等教育学校4年（7月2日～18日）
 - ・剣道部サイパン研修（10月）
 - ・ケルン市（ドイツ）音楽学校ユース・シンフォニック・ウインドオーケストラ&仙台育英学園高等学校吹奏楽部による国際交流ジョイントコンサート（11月）
 - ・ハワイIB体験短期研修（ハワイ姉妹校 Island Pacific Academy）にIB受講生5名、引率1名参加（1月）
 - ・ミクロネシア連邦ボンベイ州の教育局と姉妹校締結（2月）
 - ・仙台育英獅子太鼓部 ミクロネシア連邦（ボンベイ）でのジャパンフェスティバルで太鼓演奏を実施（2月）
 - ・仙台育英孔子課堂中国語学研修特別進学・外国語コース生徒12名が参加し、中国北京航空航天大学実験学校で、語学研修を実施（3月）
- 平成30年（2018）
- ・英進進学コース3年生が台湾研修旅行を実施（4月）
 - ・台湾国立金門高級農工職業学校から訪問団が来校。交流会を開催。（4月）
 - ・ベトナム社会主義共和国ハノイ市に在する学校法人日本国際学校【Japanese International School】と姉妹校締結。（5月）
 - ・中華人民共和国江蘇省揚州市に在する北京新東方揚州外国語学校【Beijing New Oriental Foreign Language School At yangzhou】と姉妹校締結。（6月）
 - ・カナダトロント市に在するフィールドストーンスクール [Fieldstone School] との姉妹校締結。（6月）
 - ・中日友好宮城県高校生訪中団が訪中。（生徒5名参加 ～15日）（7月）
 - ・秀光前期課程3年 秀光コース1年カナダ研修を実施1班（6月24日～7月10日）2班（7月15日～31日）
 - ・北京航空航天大学実験学校と交換交流会を実施。（来校生徒12名～22日）（7月）
 - ・サッカー部ドイツ遠征（参加生徒24名 ～10月3日）（9・10月）
 - ・外国語コース（第1班）がハワイ研修を実施（～26日）（10月）
 - ・「日中植林・植樹国際連帯事業」2018年度中国高校生訪日団湖南省長沙市第一中学

- 校が来校。サッカー交流を実施。(生徒30名・引率4名)(10月)
- ・ミクロネシア連邦国交30周年記念式典において仙台育英獅子太鼓部が太鼓演奏を実施。(11月)
- ・アメリカ合衆国ハワイ州に存するカピオラニコミュニティカレッジと姉妹校締結(1月)
- ・外国語コース(第2班)がハワイ研修を実施(～11月16日)(11月)
- ・中華人民共和国南陽市に在する南陽市第二中学校と姉妹校締結(1月)
- ・中華人民共和国吉林市に在する吉林市第一中学校と姉妹校締結(1月)
- ・中華人民共和国上海市に存する華東師範大学第二附属中学校と姉妹校締結(1月)
- ・中華人民共和国深圳市に在する建文外国語学校と姉妹校締結(1月)
- ・外国語コース(第3班)がハワイ研修を実施(～25日)(1月)
- ・特進・情報・英進コース(14名)がハワイ研修を実施。(～29日)(3月)
- ・仙台育英孔子課堂が北京語学研修を実施。(8日間)(3月)

- 令和元年(2019)
- ・英進進学コース3年生が台湾研修旅行を実施(4月)
 - ・秀光前期課程3年カナダ研修を実施(7月21日～8月4日)
 - ・大韓民国ソウル市に存する鳳和中学校と姉妹校締結(7月)
 - ・中国北京航空航天大学実験学校と交換交流会を実施(生徒9名:9～13日)(10月)
 - ・外国語コース(第1班)がハワイ研修を実施(10月19日～11月1日)
 - ・外国語コース(第2班)がハワイ研修を実施(11月9日～11月22日)
 - ・インドネシア共和国西ジャワ州ボゴール市に在するピナフサダ健康職業学校と姉妹校締結(11月)
 - ・インドネシア共和国西ジャワ州パンガンダラン県に在するパリギ健康職業学校と姉妹校締結(11月)
 - ・台湾台南市私立興国高級中学校訪問団来校 姉妹校締結 日本文化体験・生徒間交流(生徒38名,引率2名)歓迎会にて仙台育英獅子太鼓部が太鼓演奏を実施(11月13日)
 - ・中華人民共和国江蘇省蘇州市に在する新草橋中学と姉妹校締結(12月)
 - ・中国江蘇省泗洪県に在する洪翔中学と姉妹校締結(2月)

- 令和2年(2020)
- ・ニュージーランドオークランド市に在するマシーハイスクールと姉妹校締結(12月)
 - ・ロシア連邦モスクワ市に在する“グローブ”一般教育学校と姉妹校締結(2月)
 - ・ロシア連邦モスクワ市に在するモスクワ州予算教育機関シャルル・ド・ゴール将軍に名付けられた学校第1251と姉妹校締結(2月)

- 令和3年(2021)
- ・在日スリランカ大使館次席公使W.K.チャンドラウィーラセーナ氏 講演会「スリランカ：スリランカと日本との関係が深い理由」実施(12月)
 - ・在日パラオ共和国臨時大使ピーター・アデルバイ氏来校(3月)

- 令和4年(2022)
- ・在日カナダ大使館参事官マット・フレーザー氏東和蛍雪校舎開校記念式典参列(7月)
 - ・外国語コースが韓国仁川ハヌル高校とオンライン交流会(10月～12月)
 - ・在日ウクライナ大使館三等書記官インナ・イナリ氏 講演会「ウクライナ／古代の歴史と独特の文化を持つスポーツの強いヨーロッパの国」実施(10月)

- 令和5年(2023)
- ・米国ニュージャージー州ハドンフィールド地域高校生交換プログラム訪問団(生徒17名引率2名)と交流(7月)
 - ・韓国ソウル特別市韓国外国語大学と大学進学(指定校)に関する協定締結(10月)
 - ・台湾姉妹校台北市私立復興実験高級中学からの訪問団(91名)と交流(12月)
 - ・韓国短期研修ウィンタープログラム中高生18名受入れ(1月)

- 令和6年(2024)
- ・ニュージーランド姉妹校クライストチャーチ男子高等学校から,生徒21名引率3名来校し,外国語コース生徒と交流(4月)
 - ・中国張家港市常青藤実験学校と姉妹校提携並びに訪問団(生徒28名引率3名)来校交流(4月)
 - ・韓国(ソウル)大学留学説明会を宮城野校舎並びに多賀城校舎で実施(6月)
 - ・台湾姉妹校復興実験高級中学野球部(生徒16名引率2名),秀光中学校秀光ボーイズと野球交流(7月)
 - ・台湾姉妹校復興実験高級中学訪問団(生徒95名引率5名)外国語コース1・2年生と交流(10月)

9 留学生・海外研修

《留学生の受け入れ・外国人講師等人数：令和 7.5.1 現在》

国名	留学生	外国人講師等	国名	留学生	外国人講師等
アメリカ	—	5	ペルー	—	1
中国(香港含む)	48	6	バングラデシュ	—	1
韓国	32	2	インドネシア	19	—
ケニア	2	—	スペイン	1	—
カナダ	—	2	ニュージーランド	1	—
ウクライナ	4	3	台湾	2	—
英国	—	1	タイ	10	—
ベトナム	4	—	合計	123	21

《海外語学研修，研修旅行等派遣人数》（海外派遣生徒は延べ 7,626 名に）

年度	派遣国	生徒	教職員	年度	派遣国	生徒	教職員		
昭和47～ 平成17年	アメリカ (昭和48はヨーロッパ)	延 575	52	平成24年	アメリカ	121	16		
	イギリス	1,211	73		インドネシア	10	3		
	カナダ	884	47		イスラエル	2	—		
	ヨーロッパ	1,011	29		中国	17	8		
	ハワイ	664	41		平成25年	アメリカ	23	3	
	ニュージーランド	192	15			アメリカ(ハワイ)	123	12	
	韓国	444	31			中国	10	2	
	中国	130	34			韓国	—	2	
	平成18～ 平成19年	キューバ	86		16	平成26年	アメリカ	26	3
		エジプト	3		1		アメリカ(ハワイ)	166	12
平成20～ 平成21年		アメリカ(ハワイ)	17	5	平成27年	アメリカ	20	2	
		アイルランド	121	4		アメリカ(ハワイ)	103	7	
		カナダ	36	8	平成28年	アメリカ	18	2	
		スイス	124	13		アメリカ(ハワイ)	90	8	
		オーストリア	76	6		カナダ	4	1	
		フランス	43	3		中国	2	2	
		平成22～ 平成23年	ドイツ	43	3	パプアニューギニア	1	2	
			イタリア	22	2	平成29年	アメリカ(ハワイ)	71	4
	イギリス		14	2	カナダ		42	4	
	UAE		2	—	ミクロネシア		9	2	
スウェーデン	1		—	サイパン	6		2		
平成20～ 平成21年	アメリカ(ハワイ)		25	4	中国	19	3		
	アイルランド		35	2	韓国	31	3		
	カナダ		5	—	アイルランド	9	2		
	中国		14	4	平成30年	アメリカ(ハワイ)	72	5	
	スイス・イタリア		113	11		カナダ	51	6	
	フランス	19	1	中国	11	2			
	韓国	10	1	台湾	42	3			
	令和元年	ニュージーランド	4	—	令和4年	アメリカ(ハワイ)	53	6	
		アメリカ(ハワイ)	25	2		アメリカ	2	—	
		カナダ	22	3		カナダ	15	—	
中国		14	4	ニュージーランド		5	—		
台湾		47	3	オーストラリア	1	—			
中国		13	2	令和5年	アメリカ(ハワイ)	80	7		
令和6年	アメリカ(ハワイ)	62	4		カナダ	43	3		
	アメリカ(本土)	15	2		ニュージーランド	3	—		
	韓国	12	1	アメリカ(ハワイ)	62	4			
カナダ	38	3	アメリカ(本土)	15	2				
				韓国	12	1			
				カナダ	38	3			

※令和 2・3 年新型コロナウイルス感染対策により実施せず

《海外研修旅行：2024（令和 6）年度の実績》

訪問国	コース名等	期間
アメリカ(ハワイ)	外国語・特進・情報・英進・フレックス・技能 1, 2 年	約 2 週間
アメリカ(本土)	外国語・特進・情報・英進・フレックス・技能 1, 2 年	約 2 週間
カナダ	秀光	約 3 週間
韓国	全コース	約 4 週間

《海外研修旅行：2025（令和 7）年度の計画》

訪問国	コース名等	期間
アメリカ(ハワイ)	外国語・特進・情報・英進・フレックス・技能	約 2 週間
カナダ	秀光	約 3 週間
韓国	全コース	約 4 週間

10 国際理解教育協力姉妹校一覽

	国名	姉妹校提携先学校名	提携年月日	
1	カナダ	Steveston Secondary School	スティーブストン高等学校	1987. 3.20
2	〃	Richmond Senior Secondary School	リッチモンド高等学校	〃
3	〃	West Vancouver Secondary School	ウェストバンクーバー高等学校	〃
4	〃	Sentinel Secondary School	センチネル高等学校	〃
5	〃	Oak Bay High School	オークベイ高等学校	1989. 5.31
6	〃	Cowichan Secondary School	カウチン高等学校	〃
7	〃	A. L. Fortune Secondary School	A・L フォーチュン高等学校	1998. 1.20
8	〃	South Delta Secondary School	サウス・デルタ高等学校	1998. 3.27
9	〃	Sands Junior Secondary School	サンズジュニア高等学校	〃
10	〃	George S. Henry Academy	ジョージ・S・ヘンリーアカデミー	1998. 4. 1
11	〃	A. Y. Jackson Secondary School	A・Y ジャクソン高等学校	1989. 5.31
12	〃	Leaside High School	リーサイド高等学校	1990.11.20
13	〃	Matthew McNair Senior Secondary School	マシューマックノア高等学校	〃
14	〃	East York Collegiate Institute	イーストヨーク高等学校	〃
15	〃	Wexford Collegiate Institute	ウェックスフォード高等学校	2000. 4.17
16	アメリカ	Cheshire High School	チェサー高等学校	1991. 7. 1
17	スウェーデン	Ullvi gymnasiet High School	ウルヴィ高等学校	1992. 4. 1
18	韓国	Shin Wei Girl's Secondary School	信義女子高等学校	1997.12.11
19	クロアチア	VII High School	ザグレブ第七高等学校	1996. 7.30
20	〃	II Gimnazija	ザグレブ第二高等学校	2000. 3. 7
21	〃	Klasicha Gimnazija	クラシック高等学校	2000. 5.12
22	ニュージーランド	Mahurangi College	マフランギ高等学校	1994. 9.26
23	〃	Mt. Roskill Grammar School	マウント・ロスキル高等学校	1992. 4. 1
24	〃	Christchurch Boy's High School	クライストチャーチ男子高等学校	1998. 3.20
25	ベネズエラ	Institute Panamericano	パンアメリカノ高等学校	1998.11. 8
26	中国	北京市四塊玉体育運動技術学校		1994. 9. 1
27	〃	長春外国語学校		1995. 6.20
28	〃	南京体育学院附属体育運動学校		1995. 9. 1
29	〃	北京市先農壇体育運動技術学校		1998.10.13
30	〃	石家庄市第 15 中学		〃
31	〃	上海市北中学		1998.12.16
32	〃	四川省運動技術		1997. 1.23
33	〃	遼寧省沈陽市鉄路実験中学校		1999.11.11
34	〃	山東省体育運動技術学院		2000. 1.21
35	ケニア	Ngaru Secondary School	ガル高等学校	1992. 4. 1
36	〃	Simbara Secondary School	シンバラ高等学校	1995. 2.20
37	キューバ	Marcelo salado	マルセロサラード	2000. 1.15
38	カナダ	University of Toronto	トロント大学	2000. 2.14
39	〃	Cowichan District #79	カウチン第 79 学区	2000.10.20
40	ベネズエラ	Unidad Educativa Colegio Miguel Angel	ミゲルアンヘル教育学校	2002. 1.18
41	ニュージーランド	Onehunga High School	ネオフンガ高等学校	2002. 6. 1
42	〃	Aranui High School	アラヌイ高等学校	2003. 6.30
43	カナダ	West Vancouver School District #45	ウェストバンクーバー第 45 学区	〃
44	〃	H. J. Cambie Secondary School	H. J. キャンビー高等学校	〃
45	ニュージーランド	Shirley Boys' High School	シェリー男子高等学校	2003. 7.30
46	〃	Kaiapoi High School	カイアポイ高等学校	2003. 9. 1
47	中国	煙台市芝罘区協議体育学校		2005. 3.21
48	ニュージーランド	Hurunui College	フルヌイカレッジ高等学校	2005. 4. 1
49	アイルランド	St.Mary's College,Rathmines	セントメリーズ・カレッジ、ラスマイン	2005. 2.23
50	〃	Community School Glenamaddy	コミュニティ・スクール・グレンナマディー	2005. 3. 3
51	カナダ	School district #64 (Gulf Islands)	ガルフアイランズ第 64 学区	2005. 9.21
52	アイルランド	Holy Family Secondary School	ホーリーファミリー高等学校	2005. 3. 3
53	ニュージーランド	Northcote College	ノースコート高等学校	2006. 4.20
54	カナダ	School District #71 (Comox Valley)	コモクスバレー第 71 学区	2006.12. 1
55	中国	福清三華職業技術学校		2008.12.17
56	〃	福清龍華職業中専学校		2009. 2.27
57	〃	長春市十一高中学校		2009. 9. 1
58	ケニア	Nyahururu Elite School	ニャフルルエリートスクール	2010. 2. 1
59	中国	上海市甘泉外国語中学		2010. 3.26
60	〃	葫芦島轻工職業技術学校		2010. 4.26
61	〃	福建省僑興轻工学校		2010. 7. 5
62	〃	洛陽理工学院附属中学		2010. 7. 7
63	〃	瀋陽師汎大学附属学校		2010. 7. 9
64	〃	大連市建設学校		2010.11.16
65	〃	洛陽市東方高級中学校		2011.10.20
66	〃	福清市職業技術学校		2011.11.25

国際理解教育

	国名	姉妹校提携先学校名	提携年月日
67	〃	天津外国語大学附属外国語学校	2011.12. 9
68	〃	萊陽市第9中学校	2011.12.21
69	〃	遼寧華瀾学校／遼陽市文澤職業高等中学	2012. 1.27
70	インドネシア	SMAN2 Bandung	2012. 3.29
71	〃	SMAN5 Bandung	〃
72	〃	SMAN10 Bandung	〃
73	〃	SMKN3 Bandung	〃
74	〃	SMKN4 Bandung	〃
75	〃	SMKN6 Bandung	〃
76	〃	SMKN8 Bandung	〃
77	〃	SMKN10 Bandung	〃
78	〃	SMKN11 Bandung	〃
79	〃	SMKN12 Bandung	〃
80	〃	SMKN14 Bandung	〃
81	〃	SMKN15 Bandung	〃
82	〃	SMK Merdeka Bandung	〃
83	〃	SMK Nugraha Bandung	〃
84	〃	SMK Negeri 1 Bandung	2012. 9.25
85	〃	SMKN9 Bandung	2012. 9.25
86	〃	SMAN5 Bekasi	2013. 1.23
87	〃	SMAN4 Bandung	2013. 5.13
88	〃	SMAN8 Bandung	〃
89	〃	SMAN9 Bandung	〃
90	〃	SMAN11 Bandung	〃
91	〃	SMAN24 Bandung	〃
92	〃	SMAN13 Bandung	〃
93	〃	SMKN4 Bandung	〃
94	〃	SMAN4 Cimahi	〃
95	インドネシア	Lazuardi G. I. S	2013.11.23
96	アメリカ	Island Pacific Academy	2015.11. 2
97	中国	北京航空航天大学実験学校	2016. 5.12
98	パプアニューギニア	Sogeri National High School	2016. 8. 2
99	中国	東北師範大学附属高校	2017. 1.11
100	カナダ	Saanich School District #63	2017. 6.12
101	ミクロネシア	The Pohnpei State Department of Education	2018. 2.16
102	ベトナム	Japanese International School	2018. 5.20
103	中国	Beijing New Oriental Foreign Language School At yangzhou	2018. 6. 4
104	カナダ	Fieldstone School	2018. 6.21
105	アメリカ	University of Hawaii Kapi'olani Community College	2018.11.27
106	中国	南陽市第二中学校	2019. 1.10
107	中国	吉林市第一中学校	2019. 1.10
108	中国	上海市華東師範大学第二附属中学校	2019. 1.17
109	中国	深圳市建文外国語学校	2019. 1.17
110	インドネシア	SMK Kesehatan Pelita Ilmu	2019. 1.21
111	〃	SMK Kesehatan Fajar Kencana	2019. 1.16
112	韓国	鳳和中学校	2019. 7. 8
113	インドネシア	SMK Kesehatan Bina Husada	2019.11.26
114	インドネシア	SMK Kesehatan Parigi	2019.11.26
115	中国	江蘇省蘇州新草橋中学	2019.12. 2
116	台湾	台南市興國高級中学	2019.11.13
117	中国	洪翔中学	2020. 2. 3
118	ニュージーランド	Massey High School	2020.12.11
119	ロシア	"Globe" General Education School	2021. 2.25
120	ロシア	State Budget Educational Institution of Moscow "School No. 1251 named after General Charles de Geulle"	2021. 2.25
121	台湾	稲江高級護理家事職業学校	2021. 8.31
122	台湾	復興實驗高級中学	2021.10. 1
123	ケニア	Milimani Secondary School	2021.11.30
124	ケニア	Baari Secondary School	2021.11.30
125	インドネシア	SMK Kesehatan Fajar Kencana	2022.11. 7
126	〃	SMF Farmasi Bhakti Kencana Soreang	2022.11. 7
127	ケニア	Ol Joro Orok Secondary School	2023. 1.15
128	インドネシア	SMK Pelita Alam	2023. 1.18
129	韓国	仁川ハヌル高等学校	2023. 4. 1
130	中国	張家港市常青藤実験学校	2024. 4.18
131	カナダ	New Westminster Secondary School	2024.11.21
132	ニュージーランド	Rangiora High School	2024.12.11

11 仙台育英学園の留学プログラム

1 短期海外研修

- ・ハワイ研修は、特別進学、外国語、英進進学、情報科学の各コースの生徒が参加可能な2週間プログラム。
- ・秀光海外研修（秀光3年生が参加）は、2018（平成30）年度より2週間のプログラムで、カナダ・リーダーシップ（IB）研修。
- ・台湾研修（2018（平成30）年度、英進進学コースが参加）は、3泊4日のプログラム。
- ・韓国研修は、全コースの生徒が参加可能な16日間のプログラム。
- ・各部活動による短期研修。

2016（平成28）年度実施（チアリーダー部韓国研修、サッカー部ドイツ研修、秀光野球部カナダ研修等）

2017（平成29）年度実施（茶道部アイルランド研修、孔子課堂北京研修等）

2018（平成30）年度実施（サッカー部ドイツ研修）

- ・多彩で、多くの生徒が参加できる海外研修とする。
- ・単位取得となる研修、学園から補助のある研修もある。

2 仙台育英学園海外姉妹校短期（3カ月）留学プログラム

- ・国際部（育英国際センター）が運営し、全コースの生徒を対象とする。
- ・留学期間は、学生ビザが不要な90日以内（3カ月間）とし、カナダ留学については、第1年次、第2年次の9月初旬から12月初旬を基本とする。
- ・留学要件は、担任、学年主任、所属コース教頭の推薦があり、学校長が認めたものとするが、長期交換留学生選抜ほどの厳格さは求めない。
- ・留学費用は、実費とする。

3 その他

- ・仙台育英学園海外姉妹校長期（10カ月）留学プログラムや外部公益法人等交換留学団体AFS、EIL、YFUによる留学プログラムの紹介。
- ・以上の各プログラムの詳細についての問い合わせは、国際部（育英国際センター）まで。

外国語コース

在校生からのメッセージ

～カナダ留学について～

3年G2組 安部ひなの（岩切中出身）

私は高校2年生の9月から11月の3か月間、カナダのCowchan Secondary Schoolに留学しました。はじめは不安や緊張から縮こまってしまうことが多かったですが、ホストファミリーや学校の先生が優しく接してくださったことで、とても充実した留学になりました。学校では自分の好きな授業をとって学ぶことができ、写真の授業では撮る時のコツや、加工の仕方を学んだり、様々なアクティビティなどでは、からだを動かしながら他国の留学生とも交流を深めることができました。カナダでは様々な国から留学生が来るので、お互いに母国語を教え合うなど、異文化交流が盛んに行われておりました。また、休日には友だちやホストファミリーと近くの町に行ったり、有名なビクトリアを訪れたりしました。日本にはない景色は、私にとってとても興味深かったです。高校生での留学はよい経験になります。興味がある方はぜひ参加してみてください。

12 2025 (令和7) 年3月卒業生の進路の状況

〈大学の合格者数 (秀光・全日制課程・広域通信制課程)〉

	4年制大学		短期大学		文部科学省 所管外大学	外国系大学	合 計
	国公立	私 立	国公立	私 立			
現 役	84	848	0	28	6	24	990
過 卒	15	55	0	0	0	0	70
合 計	99	903	0	28	6	24	1060

【内訳】

	4年制大学						短期大学						文部科学省 所管外大学			外国系大学			合 計		
	国公立			私 立			国公立			私 立			秀光	全日制	広域通信	秀光	全日制	広域通信	秀光	全日制	広域通信
	秀光	全日制	広域通信	秀光	全日制	広域通信	秀光	全日制	広域通信	秀光	全日制	広域通信									
現役	6	74	4	25	786	37	0	0	0	0	22	6	0	6	0	7	17	0	38	905	47
(小計)	84			848			0			28			6			24			990		
過卒	0	15	0	0	51	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66	4
(小計)	15			55			0			0			0			0			70		
合計	6	89	4	25	837	41	0	0	0	0	22	6	0	6	0	7	17	0	38	971	51
総計	99			903			0			28			6			24			1060		

〈大学進学者数 (現役生徒)〉

	4年制大学		短期大学		文部科学省 所管外大学	外国系大学	合 計
	国公立	私 立	国公立	私 立			
秀 光	4	13	0	0	0	2	19
全 日 制	69	474	0	22	6	8	579
広域通信	3	27	0	7	0	0	37
合 計	76	514	0	29	6	10	635

〈専修・各種学校等進学者数 (高校全日制課程)〉

	専修学校		各種学校	公共職業 訓練機関	その他の 学校	合 計	受験準備 (予備校含む)
	専門課程	その他の課程					
男子	74	0	10	3	0	87	42
女子	103	0	1	2	1	107	21
合計	177	0	11	5	1	194	63

〈全日制課程 就職者内訳〉

1 産業別就職者数 (就職希望者では100%の就職率達成)

	業 種	男子	女子	計
1	建設業	14	0	14
2	製造業	3	6	9
3	運輸業・郵便業	4	8	12
4	卸売業・小売業	10	10	20
5	金融業・保険業	1	0	1
6	不動産業・物品賃貸業	1	1	2
7	宿泊業・飲食サービス業	0	1	1
8	生活関連サービス業・娯楽業	1	2	3
9	医療・福祉	0	2	2
10	サービス業	5	4	9
11	公務	8	1	9
12	その他	1	0	1
合 計		48	35	83

2 都道府県別就職者数

	都道府県名	男子	女子	計
1	宮城県	40	22	62
2	山形県	1	2	3
3	福島県	0	1	1
4	群馬県	1	1	2
5	埼玉県	1	0	1
6	千葉県	1	0	1
7	東京都	3	5	8
8	神奈川県	0	3	3
9	石川県	0	1	1
10	大阪府	1	0	1
合 計		48	35	83

進路(進学・就職)

〈卒業生徒 大学別合格者数 (総合型選抜・学校推薦型選抜・特別選抜・一般選抜)〉

仙台育英学園高等学校【全日課程】

大 学 名				合格者数	現役	過卒	大 学 名				合格者数	現役	過卒	大 学 名				合格者数	現役	過卒	
東京大(文)科I類)	1	1					桜 美 林	大	4	4				東 北 学 院 大	181	174	7	東 北 学 院 大	181	174	7
京 都 大	1	1	1				立 正	大	2	2				東 北 福 祉 大	83	82	1	東 北 福 祉 大	83	82	1
東 北 大	7	3	4				学 習 院 女 子	大	2	2				東 北 工 業 大	43	43		東 北 工 業 大	43	43	
海 道 大	1	1	1				昭 和 学 院	大	4	4				東 北 文 化 学 園 大	21	21		東 北 文 化 学 園 大	21	21	
お 茶 の 水 女 子	1	1					昭 和 女 子 栄 養 子	大	1	1				東 北 医 科 薬 科 大	25	23	2	東 北 医 科 薬 科 大	25	23	2
東 京 芸 術 工	1	1	1				女 清 泉	大	1	1				宮 城 学 院 女 子	34	33	1	宮 城 学 院 女 子	34	33	1
茨 城 玉 城	2	2					創 価 女 子 栄 養 子	大	1	1				仙 台 白 合 女 子	6	6		仙 台 白 合 女 子	6	6	
茨 城 玉 城	1	1					東 京 工 業 大	大	3	3				尚 綱 学 院	16	16		尚 綱 学 院	16	16	
茨 城 玉 城	5	5					東 京 工 業 大	大	4	4				東 北 生 活 文 化 大	4	4		東 北 生 活 文 化 大	4	4	
茨 城 玉 城	2	2					東 京 工 業 大	大	1	1				仙 台 青 葉 学 院	3	3		仙 台 青 葉 学 院	3	3	
茨 城 玉 城	1	1					東 京 工 業 大	大	1	1				石 巻 専 修 大	14	14		石 巻 専 修 大	14	14	
茨 城 玉 城	2	2					東 京 工 業 大	大	4	3				仙 台 青 葉 学 院	18	18		仙 台 青 葉 学 院	18	18	
茨 城 玉 城	1	1					東 京 工 業 大	大	1	1				私 立 大 学 計	862	811	51	私 立 大 学 計	862	811	51
茨 城 玉 城	1	1					東 京 工 業 大	大	1	1				宮 城 県 農 業 大 学 校	1	1		宮 城 県 農 業 大 学 校	1	1	
茨 城 玉 城	1	1					東 京 工 業 大	大	2	2				所 管 外 短 期 計	1	1		所 管 外 短 期 計	1	1	
茨 城 玉 城	1	1					東 京 工 業 大	大	3	3				フ ェ リ シ ア こ ど も 短 期 大	1	1		フ ェ リ シ ア こ ど も 短 期 大	1	1	
茨 城 玉 城	1	1					東 京 工 業 大	大	7	7				関 西 外 国 語 大 短 期 大 学 部	1	1		関 西 外 国 語 大 短 期 大 学 部	1	1	
茨 城 玉 城	3	3					東 京 工 業 大	大	8	8				八 戸 学 院 大 短 期 大 学 部	2	2		八 戸 学 院 大 短 期 大 学 部	2	2	
茨 城 玉 城	1	1	1				東 京 工 業 大	大	1	1				聖 和 学 園 短 期 大	2	2		聖 和 学 園 短 期 大	2	2	
茨 城 玉 城	3	3					東 京 工 業 大	大	1	1				仙 台 青 葉 学 院 短 期 大	2	2		仙 台 青 葉 学 院 短 期 大	2	2	
茨 城 玉 城	1	1					東 京 工 業 大	大	1	1				仙 台 青 葉 学 院 短 期 大	13	13		仙 台 青 葉 学 院 短 期 大	13	13	
茨 城 玉 城	1	1					東 京 工 業 大	大	1	1				仙 台 赤 門 短 期 大	3	3		仙 台 赤 門 短 期 大	3	3	
茨 城 玉 城	4	4					東 京 工 業 大	大	1	1				私 立 短 期 計	22	22		私 立 短 期 計	22	22	
茨 城 玉 城	1	1					東 京 工 業 大	大	1	1				Temple University, Japan Campus	1	1		Temple University, Japan Campus	1	1	
茨 城 玉 城	5	5					東 京 工 業 大	大	3	3				延 世 大 (韓 国)	1	1		延 世 大 (韓 国)	1	1	
茨 城 玉 城	25	21	4				東 京 工 業 大	大	1	1				建 国 大 (韓 国)	1	1		建 国 大 (韓 国)	1	1	
茨 城 玉 城	2	2					東 京 工 業 大	大	1	1				中 央 大 (韓 国)	1	1		中 央 大 (韓 国)	1	1	
茨 城 玉 城	3	3					東 京 工 業 大	大	1	1				Taylor's University (マレーシア)	3	3		Taylor's University (マレーシア)	3	3	
茨 城 玉 城	2	2					東 京 工 業 大	大	1	1				Monash University (オーストラリア)	1	1		Monash University (オーストラリア)	1	1	
茨 城 玉 城	2	2					東 京 工 業 大	大	1	1				The University of Sydney (オーストラリア)	1	1		The University of Sydney (オーストラリア)	1	1	
茨 城 玉 城	2	2					東 京 工 業 大	大	1	1				Masaryk University (チェコ)	1	1		Masaryk University (チェコ)	1	1	
茨 城 玉 城	2	2					東 京 工 業 大	大	1	1				Charles University (チェコ)	1	1		Charles University (チェコ)	1	1	
茨 城 玉 城	2	2					東 京 工 業 大	大	1	1				Charles University Hradec Kralove (チェコ)	1	1		Charles University Hradec Kralove (チェコ)	1	1	
茨 城 玉 城	1	1					東 京 工 業 大	大	1	1				Palacky University (チェコ)	1	1		Palacky University (チェコ)	1	1	
茨 城 玉 城	10	10					東 京 工 業 大	大	1	1				Semmelweis University (ハンガリー)	2	2		Semmelweis University (ハンガリー)	2	2	
茨 城 玉 城	1	1					東 京 工 業 大	大	1	1				University of Pecs (ハンガリー)	2	2		University of Pecs (ハンガリー)	2	2	
茨 城 玉 城	2	2					東 京 工 業 大	大	1	1				University of Szeged (ハンガリー)	2	2		University of Szeged (ハンガリー)	2	2	
茨 城 玉 城	1	1					東 京 工 業 大	大	1	1				University of Debrecen (ハンガリー)	2	2		University of Debrecen (ハンガリー)	2	2	
茨 城 玉 城	1	1					東 京 工 業 大	大	1	1				Pavol Jozef Safarik University (スロバキア)	1	1		Pavol Jozef Safarik University (スロバキア)	1	1	
茨 城 玉 城	1	1					東 京 工 業 大	大	1	1				Comenius University (スロバキア)	1	1		Comenius University (スロバキア)	1	1	
茨 城 玉 城	2	2					東 京 工 業 大	大	1	1				North Iowa Area Community College (アメリカ)	1	1		North Iowa Area Community College (アメリカ)	1	1	
茨 城 玉 城	1	1					東 京 工 業 大	大	1	1				外 国 系 大 学 計	24	24		外 国 系 大 学 計	24	24	
茨 城 玉 城	1	1					東 京 工 業 大	大	1	1				大 学 合 格 者 総 数	1009	943	66	大 学 合 格 者 総 数	1009	943	66
茨 城 玉 城	1	1					東 京 工 業 大	大	1	1				仙台育英学園高等学校【広域通信制課程】							
茨 城 玉 城	2	2					東 京 工 業 大	大	1	1				大 学 名	合格者数	現役	過卒	大 学 名	合格者数	現役	過卒
茨 城 玉 城	1	1					東 京 工 業 大	大	1	1				岩 手 経 済 大	1	1		岩 手 経 済 大	1	1	
茨 城 玉 城	1	1					東 京 工 業 大	大	1	1				高 崎 経 済 大	1	1		高 崎 経 済 大	1	1	
茨 城 玉 城	1	1					東 京 工 業 大	大	1	1				名 桜 学 院 大	1	1		名 桜 学 院 大	1	1	
茨 城 玉 城	1	1					東 京 工 業 大	大	1	1				岩 手 県 立 大	1	1		岩 手 県 立 大	1	1	
茨 城 玉 城	1	1					東 京 工 業 大	大	1	1				国 公 立 大 学 計	4	4		国 公 立 大 学 計	4	4	
茨 城 玉 城	15	15					東 京 工 業 大	大	1	1				立 教 大	1	1		立 教 大	1	1	
茨 城 玉 城	8	8					東 京 工 業 大	大	1	1				東 京 農 業 大	1	1		東 京 農 業 大	1	1	
茨 城 玉 城	6	6					東 京 工 業 大	大	1	1				北 里 大	1	1		北 里 大	1	1	
茨 城 玉 城	7	7					東 京 工 業 大	大	1	1				創 価 女 子 大	2	2		創 価 女 子 大	2	2	
茨 城 玉 城	23	8	15				東 京 工 業 大	大	1	1				埼 玉 学 園 大	1	1		埼 玉 学 園 大	1	1	
茨 城 玉 城	16	10	6				東 京 工 業 大	大	1	1				帝 京 平 環 境 大	2	2		帝 京 平 環 境 大	2	2	
茨 城 玉 城	9	7	2				東 京 工 業 大	大	1	1				人 間 国 際 大	1	1		人 間 国 際 大	1	1	
茨 城 玉 城	9	9					東 京 工 業 大	大	1	1				沖 縄 大	3	3		沖 縄 大	3	3	
茨 城 玉 城	2	2					東 京 工 業 大	大	1	1				青 森 大	1	1		青 森 大	1	1	
茨 城 玉 城	1	1					東 京 工 業 大	大	1	1				八 戸 学 院 大	4	4		八 戸 学 院 大	4	4	
茨 城 玉 城	16	15	1				東 京 工 業 大	大	1	1				戸 工 業 大	2	2		戸 工 業 大	2	2	
茨 城 玉 城	8	8					東 京 工 業 大	大	1	1				岩 手 医 科 大	2	2		岩 手 医 科 大	2	2	
茨 城 玉 城	5	5					東 京 工 業 大	大	1	1				東 北 学 院 大	3	3		東 北 学 院 大	3	3	
茨 城 玉 城	1	1					東 京 工 業 大	大	1	1				東 北 工 業 大	3	3		東 北 工 業 大	3	3	
茨 城 玉 城	2	2					東 京 工 業 大	大	1	1				東 北 文 化 学 園 大	3	2	1	東 北 文 化 学 園 大	3	2	1
茨 城 玉 城	3	3					東 京 工 業 大	大	1	1				仙 台 白 合 女 子	3	3		仙 台 白 合 女 子	3	3	
茨 城 玉 城	2	2					東 京 工 業 大	大	1	1				尚 綱 学 院	1	1		尚 綱 学 院	1	1	
茨 城 玉 城	2	2					東 京 工 業 大	大	1	1				東 北 生 活 文 化 大	1	1		東 北 生 活 文 化 大	1	1	
茨 城 玉 城	9	8	1				東 京 工 業 大	大													

〈専修学校・各種学校等進学先一覧〉

No.	学 校 名	男子	女子	計	県内	県外	専修学校	各種学校	公共職業 訓練機関	その他の 学校
1	HAL 東京	1	0	1		○	○			
2	MCL 盛岡医療福祉スポーツ専門学校	1	0	1		○	○			
3	SENDAI 中央理容美容専門学校	2	3	5	○		○			
4	葵会仙台看護専門学校	1	4	5	○		○			
5	石巻赤十字看護専門学校	0	2	2	○		○			
6	大宮理容美容専門学校	0	1	1		○	○			
7	花壇自動車大学校	7	0	7	○			○		
8	カワイ音楽学園	0	1	1		○		○		
9	キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校	0	2	2	○		○			
10	国際マルチビジネス専門学校	1	0	1	○		○			
11	静内種馬場 JBBA 研修	0	1	1		○				○
12	首都医校	0	1	1		○	○			
13	尚美ミュージックカレッジ専門学校	1	0	1		○	○			
14	専修大学北上福祉教育専門学校	0	2	2		○	○			
15	仙台 ECC 動物海洋専門学校	1	3	4	○		○			
16	仙台 YMCA 国際ホテル専門学校	0	1	1	○		○			
17	仙台医健・スポーツ専門学校	2	1	3	○		○			
18	仙台医療センター附属仙台看護助産学校	0	2	2	○		○			
19	仙台医療秘書福祉&IT 専門学校	0	10	10	○		○			
20	仙台医療福祉専門学校	0	8	8	○		○			
21	仙台ウェディング&ブライダル専門学校	0	7	7	○		○			
22	仙台大原簿記情報公務員専門学校	5	2	7	○		○			
23	仙台工科専門学校	1	0	1	○		○			
24	仙台こども専門学校	0	6	6	○		○			
25	仙台市医師会看護専門学校	1	1	2	○		○			
26	仙台スイーツ&カフェ専門学校	0	1	1	○		○			
27	仙台スクールオブミュージック&ダンス専門学校	3	2	5	○		○			
28	仙台総合ビジネス公務員専門学校	1	0	1	○		○			
29	仙台総合ペット専門学校	1	1	2	○		○			
30	仙台デザイン&テクノロジー専門学校	13	2	15	○		○			
31	仙台デザイン専門学校	0	3	3	○		○			
32	仙台徳州看護専門学校	0	1	1	○		○			
33	仙台ビューティアート専門学校	1	8	9	○		○			
34	仙台ヘアメイク専門学校	0	3	3	○		○			
35	仙台幼児保育専門学校	0	1	1	○		○			
36	仙台リゾート&スポーツ専門学校	5	1	6	○		○			
37	仙台理容美容専門学校	2	4	6	○		○			
38	専門学校デジタルアーツ仙台	1	1	2	○		○			
39	専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京	1	0	1		○	○			
40	辻調理師専門学校	1	0	1		○	○			
41	東京 IT プログラミング会計専門学校仙台校	0	1	1	○		○			
42	東京女子医科大学看護専門学校	0	1	1		○	○			
43	東京電子専門学校	1	0	1		○	○			
44	東京ビューティアート専門学校	0	1	1		○	○			
45	東京法律公務員専門学校仙台校	3	2	5	○		○			
46	東北愛犬専門学校	0	1	1	○		○			
47	東北職業能力開発大学校	1	0	1	○			○		
48	東北電子専門学校	10	1	11	○		○			
49	東北動物看護学院	0	2	2	○		○			
50	東北保健医療専門学校	1	1	2	○		○			
51	栃木シティ学園 FOOTBALL ACADEMY	1	0	1		○	○			
52	トヨタ東京自動車大学校	1	0	1		○		○		
53	日産栃木自動車大学校	1	0	1		○		○		
54	日本工学院	0	1	1		○	○			
55	日本工学院八王子専門学校	1	0	1		○	○			
56	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校	0	1	1		○	○			
57	日本デザイナー芸術学院	1	1	2	○		○			
58	東日本医療専門学校	3	0	3	○		○			
59	ヒューマンアカデミー仙台校	1	0	1	○		○			
60	ベルエポック美容専門学校	0	2	2	○		○			
61	宮城県仙台高等技術専門学校	3	2	5	○			○		
62	宮城高等歯科衛生士学院	1	0	1	○		○			
63	宮城調理製菓専門学校	2	2	4	○		○			
64	宮城文化服装専門学校	1	0	1	○		○			
65	横浜中央看護専門学校	0	1	1		○	○			
66	代々木アニメーション学院仙台校	2	1	3	○		○			
	計	87	107	194	50	22	62	8	1	1

※予備校(進学準備)は未掲載

13 2025（令和7）年度 生徒数

〈コース・学年別生徒数〉

R7.5.1 現在

秀光中学校		1年			2年			3年			合計									
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計							
		23	15	38	13	23	36	25	29	54	61	67	128							
高等学 校	全日制（コース）		1年			2年			3年			合計								
	特別進学	情報科	秀光	外国語	英進進学	フレックス	技能開発	沖繩高等学校	全日制課程合計											
			79	128	207	105	94	199	155	150	305	339	372	711						
			85	24	109	73	21	94	93	37	130	251	82	333						
			9	13	22	10	14	24	13	19	32	32	46	78						
			0	67	67	0	41	41	5	65	70	5	173	178						
			132	147	279	144	155	299	126	157	283	402	459	861						
			150	41	191	140	60	200	134	51	185	424	152	576						
			74	61	135	59	71	130	57	77	134	190	209	399						
			23	9	32	23	12	35	23	9	32	69	30	99						
		552	490	1042	554	468	1022	606	565	1171	1712	1523	3235							
校	広域通信制	普通科	令和7年度生			令和6年度生			令和5年度生			令和4年度生			令和3年度以前生			合計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
		ILC宮城	24	28	52	36	46	82	28	27	55	9	7	16	3	3	6	100	111	211
		ILC青森	43	61	104	66	103	169	43	56	99	16	10	26	5	3	8	173	233	406
		ILC沖繩	36	54	90	58	48	106	41	52	93	13	25	38	16	19	35	164	198	362
	合計	103	143	246	160	197	357	112	135	247	38	42	80	24	25	49	437	542	979	

※外国語コースの男子は、IB・留学生である。

〈出身地別生徒数〉

R7.5.1 現在

学校	出身地区	仙台市	仙台		大河原	北部		登米		気仙沼	県外	海外	合計	
			南	北		大崎	栗原	石巻	登米					
秀光 中 学 校	1年	男	13	4	3	0	0	0	1	0	0	2	0	23
		女	9	1	1	0	1	0	2	0	0	1	0	15
		計	22	5	4	0	1	0	3	0	0	3	0	38
	2年	男	9	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	13
		女	11	1	5	0	1	0	2	0	0	2	1	23
		計	20	1	7	1	1	0	2	0	0	3	1	36
	3年	男	8	0	5	1	0	0	2	3	0	5	1	25
		女	14	1	6	0	0	1	2	3	0	0	2	29
		計	22	1	11	1	0	1	4	6	0	5	3	54
校 合計	男	30	4	10	2	0	0	3	3	0	8	1	61	
	女	34	3	12	0	2	1	6	3	0	3	3	67	
	計	64	7	22	2	2	1	9	6	0	11	4	128	
高等学 校	1年	男	206	32	129	9	9	3	27	6	2	88	18	529
		女	217	55	96	9	7	4	46	4	3	18	22	481
		計	423	87	225	18	16	7	73	10	5	106	40	1010
	2年	男	207	39	122	11	9	3	26	4	4	80	24	529
		女	203	34	117	12	14	6	28	11	2	17	14	458
		計	410	73	239	23	23	9	54	15	6	97	38	987
	3年	男	222	49	127	14	13	4	36	2	2	88	29	586
		女	232	53	136	17	13	2	47	7	0	22	24	553
		計	454	102	263	31	26	6	83	9	2	110	53	1139
	校 合計	男	635	120	378	34	31	10	89	12	8	256	71	1644
		女	652	142	349	38	34	12	121	22	5	57	60	1492
		計	1287	262	727	72	65	22	210	34	13	313	131	3136
広域通信制	男	55	8	15	3	7	0	9	0	0	340	0	437	
	女	40	9	31	5	8	1	8	0	0	440	0	542	
	計	95	17	46	8	15	1	17	0	0	780	0	979	

教
生
職
徒
員
数
等

14 教職員数一覧

R7.5.1 現在

		校長	副校長・ 校長室長	教頭	教諭・ 講師	外国人 講師	養護 教諭	職 員			非 常 勤		校 医 薬剤師	合 計
								事 務	用 務	外国人	講 師	職 員		
秀光中学校	男	1	1	1	5	3	0	0	1	0	4	0	(5)	16
	女	0	0	0	9	0	1	1	0	0	2	2	0	15
	計	1	1	1	14	3	1	1	1	0	6	2	(5)	31
高等学校 (仙台英学園 沖縄高等学校 広域通信制)	男	1	2	7	123	4	0	20	13	0	60	1	9	240
	女	0	0	2	62	4	4	17	0	1	39	11	0	140
	計	1	2	9	185	8	4	37	13	1	99	12	9	380
	男	(1)	1	1	3	0	0	2	0	0	0	0	3	10
	女	0	0	0	4	0	1	1	0	0	0	0	0	6
	計	(1)	1	1	7	0	1	3	0	0	0	0	3	16
	男	(1)	2	2	11	0	0	1	0	0	21	0	1	38
	女	0	0	0	9	0	0	3	0	0	4	0	0	16
計	(1)	2	2	20	0	0	4	0	0	25	0	1	54	
総計 (本務)	男	2	6	11	142	7	0	23	14	0	85	1	13	304
	女	0	0	2	84	4	6	22	0	1	45	13	0	177
	計	2	6	13	226	11	6	45	14	1	130	14	13	481

〈注〉 () 内は兼務者の概数

※臨時職員は除く

15 父母教師会組織

[1] 組 織

(1) 役員

顧問 1名(校長)
 会長 1名(P1)
 副会長 5名(P5)
 会計 2名(P1・T1)
 監事 3名(P3)
 幹事 131名(P102・T29)

(2) 専門委員会

(A) 委員会名

※幹事が分担して担当

- 1 総務部
- 2 保健体育部
- 3 文化部
- 4 社会教育部
- 5 臨時に設置される部

(B) 各委員会の構成

※委員長
 ※副委員長

(3) 部

(A) 部名

- 1 秀光中学校部
- 2 高等学校部
- 3 沖縄高等学校部

(B) 各部役割の構成

※部長(副会長を兼任)
 ※副部长(副会長を兼任)

(4) 支部(9支部)

(A) 地区ごとに支部を設置

(B) 各支部役員の構成

※支部長
 ※副支部長
 ※庶務
 ※会計

[2] 事務局

事務局長 1名(T1)
 副事務局長 1名(T1)
 事務局参与 1名(T1)
 庶務 3名(T3)

16 同窓会組織

1 会員総数 [R6年度卒]

旧制時代		3,563名
新制中学校		951名
高等学校(商業科)		14,570名
〃 (普通科)	924	58,697名
〃 (通信制)	303	3,535名
計		81,316名
中等教育学校	24	850名
総合計		82,166名

2 役員

名誉顧問	1名
名誉会長	1名
顧問	1名
会長	1名
副会長	3名
参与	6名
監事	4名
会計	3名
事務局長	1名
事務局次長	2名
幹事	9名

3 総会

毎年1回開催(8月最後の土曜日)

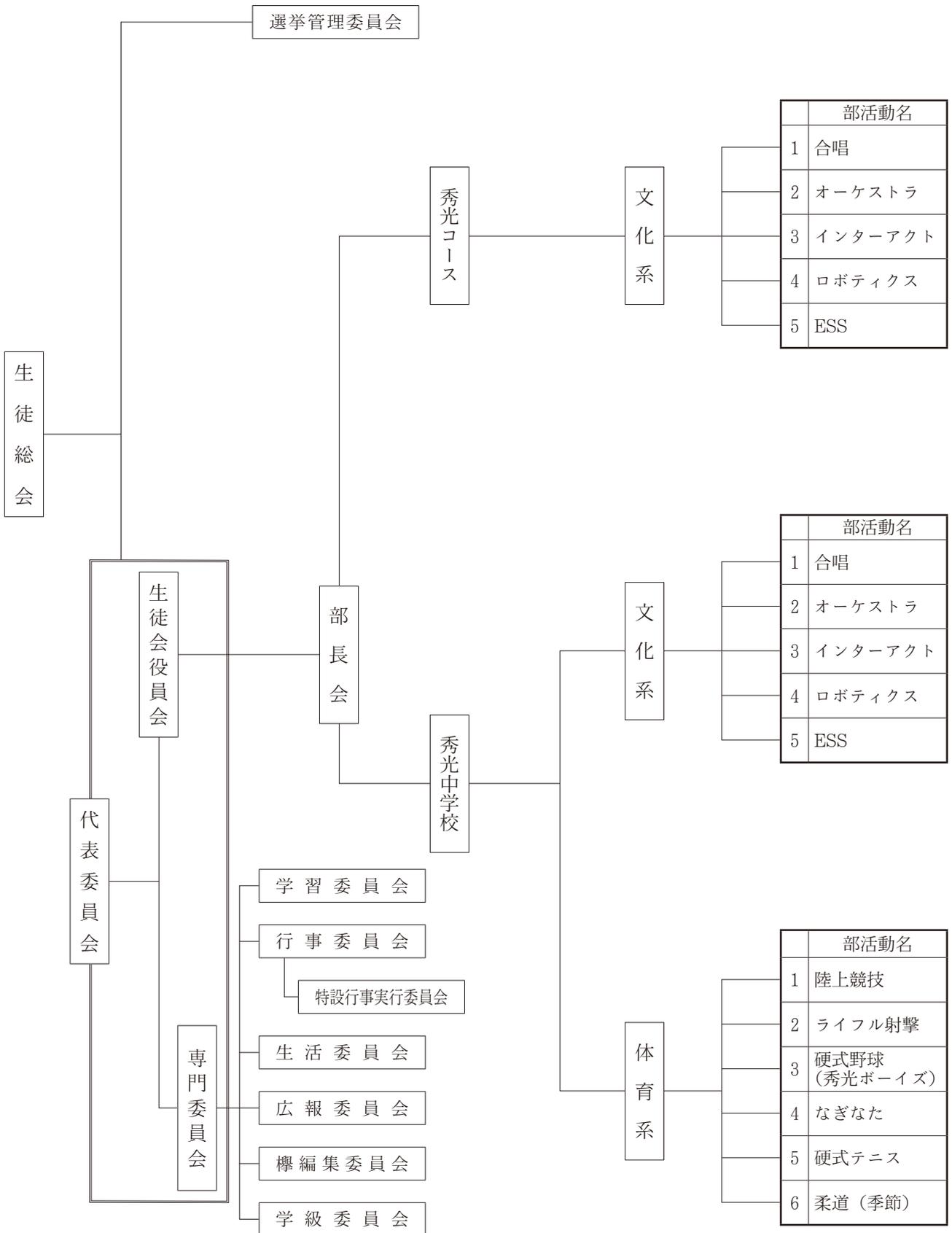
17 学級担任等一覧

コース等	学年	組	コース等	学年	組	コース等	学年	組		
秀光中学校	1年	学年主任	情報科学コース	1年	学年主任	フレックスコース	1年	学年主任		
		S1			J1			F1		
		S2			J2			F2		
		副担任			J3			F3		
		副担任			副担任			F4		
	2年	学年主任		学年主任	2年		学年主任	学年主任	2年	学年主任
		S1		J1			F5			
		S2		J2			副担任	副担任		副担任
		副担任		J3			副担任	副担任		副担任
	3年	学年主任		学年主任	3年		学年主任	学年主任	3年	学年主任
		S1		J1			F1			
		S2		J2			F2			
秀光コース	1年	学年主任	外国語コース	1年	学年主任	技能開発コース	1年	学年主任		
		M1			G1			F1		
		副担任			G2			F2		
		副担任			G3			F3		
	2年	学年主任		学年主任	2年		学年主任	学年主任	2年	学年主任
		M1		G1			F4			
		ELDP		G2			副担任	副担任		副担任
		副担任		G3			副担任	副担任		副担任
	3年	学年主任		学年主任	3年		学年主任	学年主任	3年	学年主任
		M1		G1			F5			
		ELDP		G2			副担任	副担任		副担任
		副担任		G3			副担任	副担任		副担任
特別進学コース	1年	学年主任	英進進学コース	1年	学年主任	沖繩高等学校	学年・組	担任団主任		
		T1			A1			担任		
		T2			A2			担任		
		T3			A3			担任		
		T4			A4			担任		
		T5			A5			担任		
		T6			A6			担任		
		副担任			A7			担任		
		副担任			副担任			担任		
		副担任			副担任			担任		
		副担任			副担任			担任		
		副担任			副担任			担任		
	2年	学年主任		学年主任	2年	学年主任	学年主任	I L C 宮城	令和7年度4月生担任	
		MAP		A1		令和6年度4月生担任				
		T1		A2		令和5年度4月生担任				
		T2		A3		令和4年度以前生担任				
		T3		A4		令年度10月生担任				
		T4		A5		令和7年度生担任				
		T5		A6		令和7年度生担任				
		T6		A7		令和6年度生担任				
		T7		A8		令和6年度生担任				
		T8		副担任		令和5年度生担任				
		副担任		副担任		令和5年度生担任				
		副担任		副担任		令和4年度以前生担任				
3年	学年主任	学年主任	3年	学年主任	学年主任	I L C 青森	令和7年度生担任			
	MAP	A1		令和7年度生担任						
	T1	A2		令和6年度生担任						
	T2	A3		令和6年度生担任						
	T3	A4		令和5年度生担任						
	T4	A5		令和5年度生担任						
	T5	A6		令和4年度以前生担任						
	T6	A7		令和7年度生担任						
	T7	A8		令和7年度生担任						
	T8	副担任		令和6年度生担任						
	副担任	副担任		令和6年度生担任						
	副担任	副担任		令和5年度生担任						
						沖繩高等学校	学年・組			
							担任団主任			
							担任			
							担任			
						I L C 宮城	学年・組			
							令和7年度4月生担任			
							令和6年度4月生担任			
							令和5年度4月生担任			
						I L C 青森	学年・組			
							令和7年度生担任			
							令和6年度生担任			
							令和5年度生担任			
						I L C 沖繩	学年・組			
							令和7年度生担任			
							令和6年度生担任			
							令和5年度生担任			

教
職
員
数
等

18 生徒会組織図及び部活動等顧問一覧

〈秀光中学校・仙台育英学園高等学校秀光コース〉



部活動顧問
生徒会組織

〈仙台育英学園沖縄高等学校・I L C 沖縄部活動等顧問一覧〉

【体育会・運動部】

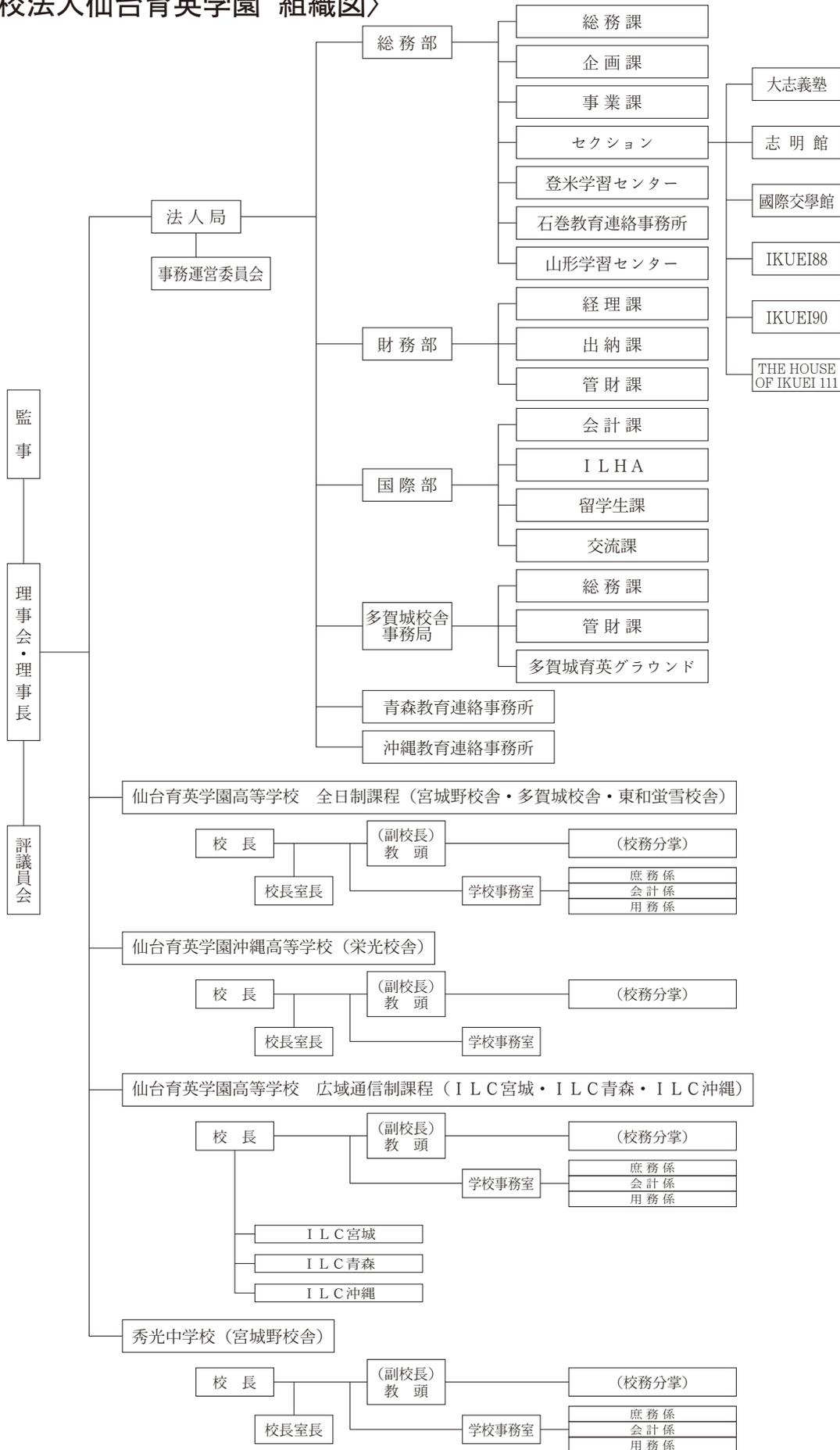
No.	部活動・クラブ	沖縄 高等学校	I L C 沖縄
1	ライフル射撃部	○	○
2	なぎなた部	○	○

【文化会・学芸部・同好会】

No.	部活動等名	沖縄 高等学校	I L C 沖縄
1	e スポーツ部	○	○
2	投資部	○	○
3	図書部（仮）	○	○
4	生徒会執行部	○	○

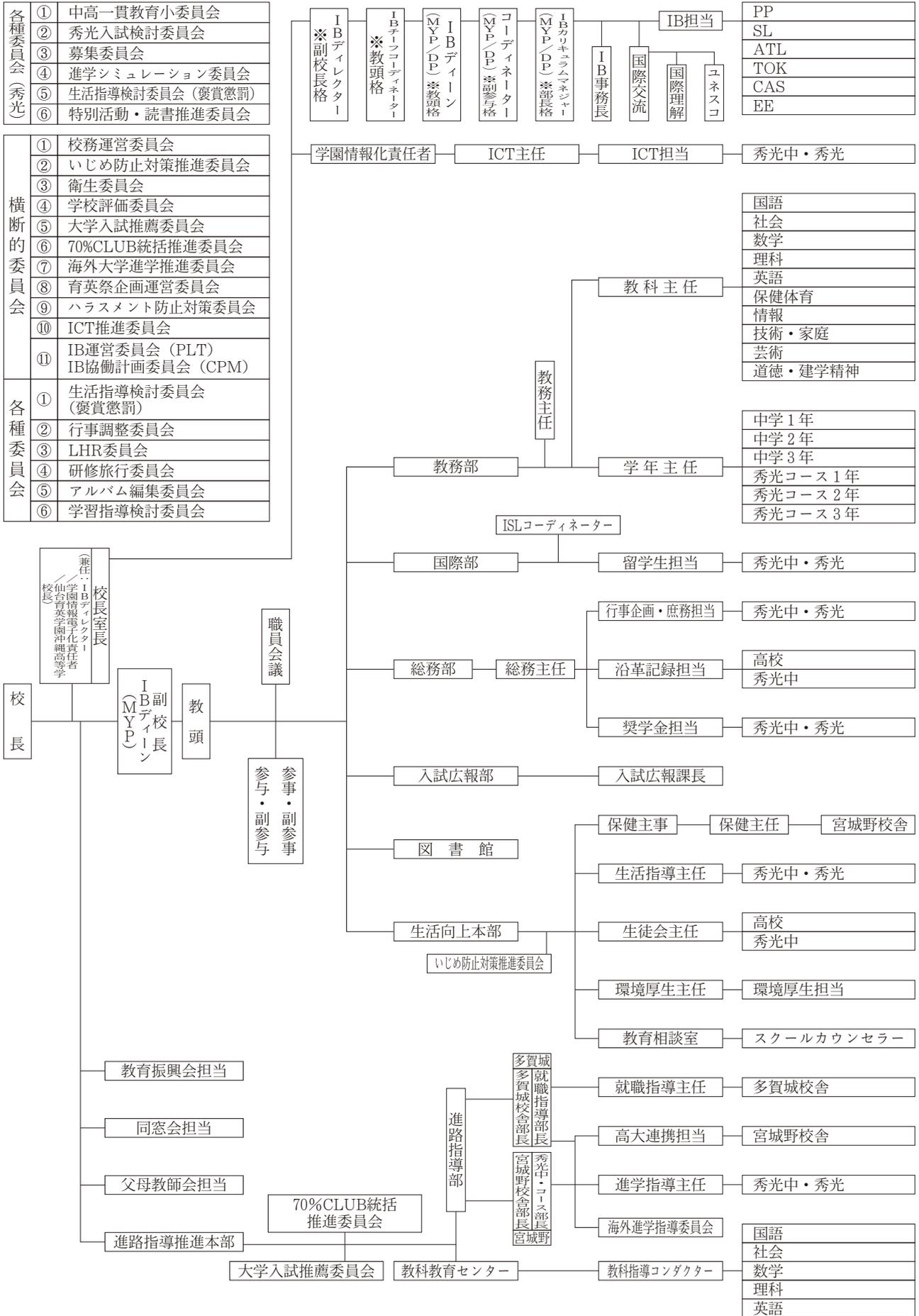
19 組織機構

〈学校法人仙台育英学園 組織図〉



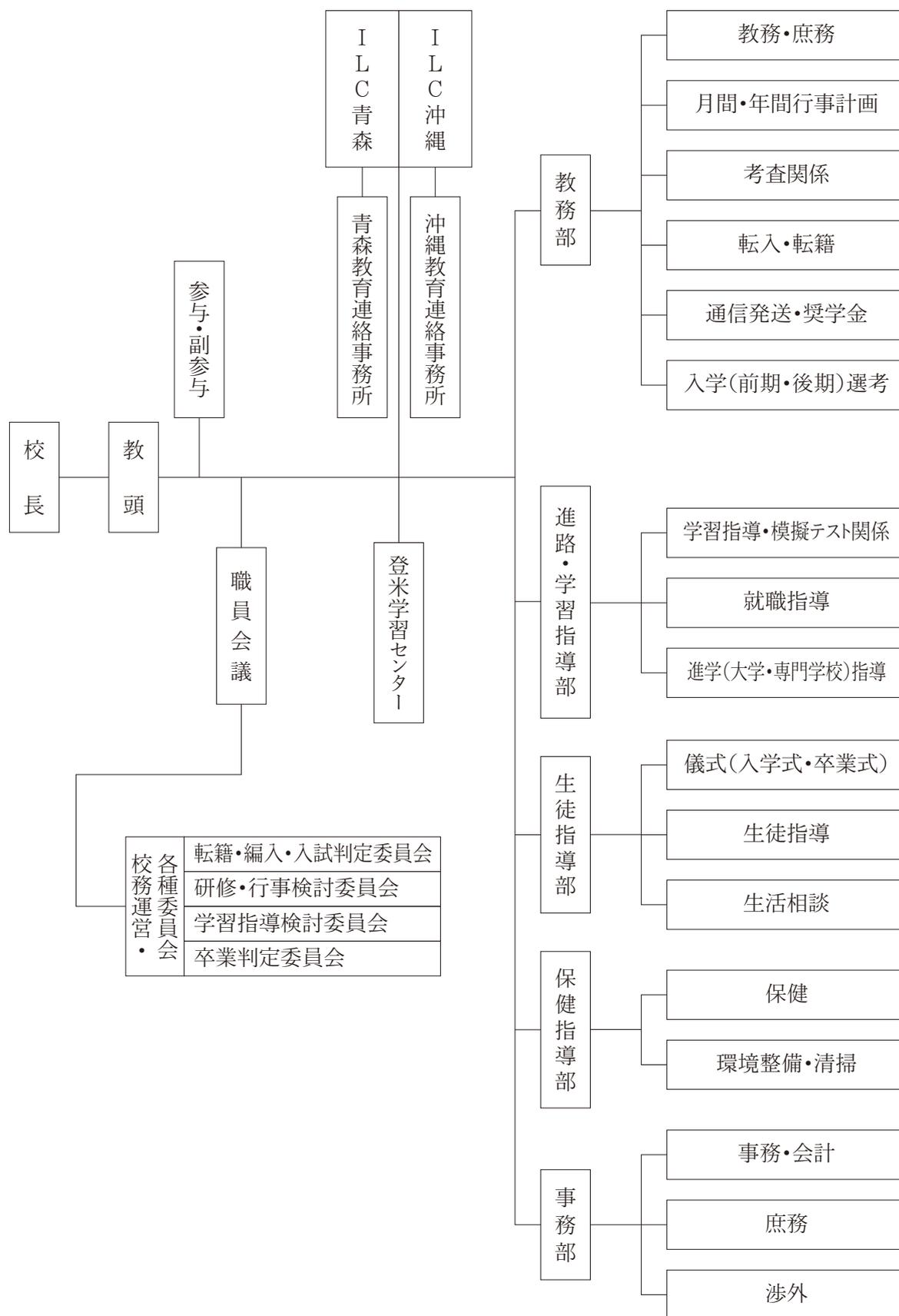
組織機構

〈秀光中学校〔高校の「秀光コース」を含む〕 組織機構一覽〉



組織機構

〈広域通信制課程 組織機構一覧【ILC宮城】〉



組織機構

※ ILC青森・ILC沖縄の組織機構図は、省略（ILC宮城に準ずる）

20 学則

〈秀光中学校 学則抜粋〉

(修業年限)

第5条 本校の修業年限は、3年とする。

(学 年)

第6条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学 期)

第7条 学年を分けて、次の4学期とする。

第1学期 4月1日から6月30日まで

第2学期 7月1日から9月30日まで

第3学期 10月1日から12月31日まで

第4学期 1月1日から3月31日まで

(休業日、臨時授業及び臨時休業)

第8条 休業日は、次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日

(3) 学年始休業日 4月1日から4月5日まで

(4) 夏季休業日 7月16日から8月25日まで

(5) 冬季休業日 12月28日から翌年1月7日まで

(6) 学年末休業日 3月20日から3月31日まで

(7) 「I-Lion Day」 5月22日

(8) 学園創立記念日 10月1日

2 教育上必要があり、かつ、やむを得ない事情があるときは、前項の規定にかかわらず休業日に授業を行うことがある。

3 非常変災その他急迫の事情があるとき、又は教育実施上特別の事情があるときは、臨時に授業を行わないことがある。

4 第2項及び第3項については、校長がこれを定める。

(入学資格)

第9条 本校に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

(1) 小学校を卒業した者若しくは義務教育学校の前期課程を修了した者

(2) 前号に準ずる学校を卒業した者

(3) 小学校を卒業した者と同等の学力があると認められた者

(転入学及び編入学資格)

第10条 本校に転入学若しくは編入学することができる者は、現に相当学年に在学している者、又は相当学年令に達し、かつ、入学しようとする学年の前の各学年の課程を修了した者とする。

(出願手続)

第11条 入学を希望する者は、本校所定の入学願書、調査書等必要な書類に入学検定料を添え、願い出なければならない。

(入学の許可)

第12条 入学は、選考に基づいて校長がこれを許可する。

2 入学選考に合格した者で、入学を許可されるまでの間に非行等、本校入学生としてふさわしくない行為があった場合には、校長が入学の許可をしないことがある。

(入学の手続)

第13条 入学選考に合格した者は、入学時納入金を納入するとともに誓約書及び学園の指定する書類を提出して、速やかに入学手続きを完了しなければならない。

2 前項に定める手続きが所定の期日までに行われなときは、入学を許可しないことがある。

(転入学、編入学、転学、退学)

第14条 他の中学校等から本校への転入学若しくは編入学を志望する者があるときは、教育上支障のない場合に限り、選考の上相当学年への転入学若しくは編入学を許可することができる。

2 生徒が退学又は他の学校へ転学しようとするときは、所定の書類にその理由を明記し、保護者と連署のうえ、願い出て許可を受けなければならない。

(授業料等未納による退学)

第15条 授業料等を3か月以上納入しない生徒は退学させる。第3学年については、授業料等を卒業年度の1月末日までに完納しない生徒は退学させる。

2 前項の定めにかかわらず、感染症等を含む非常変災等の影響による家庭の年間所得の大幅な減少又は消滅によって授業料等納付金の納入が著しく困難であると校長が認定した場合は、校長が定める期間において前項の規定を適用しない。

(欠席、長期欠席)

第16条 生徒が病気その他やむを得ない理由により欠席するときは、ただちに担任に連絡の上、その理由を明記し、保護者と連署して届け出なければならない。

2 生徒が病気その他やむを得ない理由により、引き続き1か月以上出席し難いときは、保護者と連署して長期欠席を願い出ることができる。

3 前項の規定による願い出には、医師の診断書又は詳細な理由書を添えなければならない。

(出席停止)

第17条 次の各号の一に該当する生徒に対して出席停止を命ずることがある。

- (1) 感染性疾患にかかり、若しくはそのおそれのある者
- (2) 性行不良であって他の生徒の教育に妨げがあると認められる者

(卒業)

第22条 前条の規定により、生徒が本校所定の全課程を修了したと認められるときは、校長が卒業証書を授与する。

(進学)

第23条 前条の規定により卒業した者は、内部進学選抜により仙台育英学園高等学校へ進学することができる。

2 内部進学選抜の詳細については、別に定める。

(3学年留置)

第24条 生徒のうちで所定の教育課程を修了することができなかつた者については、教育上必要があるときは、3学年に留め置くことがある。

(賞罰)

第28条 生徒が、その成績、性行ともにすぐれ他の模範となるときは、褒賞することがある。

(懲戒)

第29条 生徒が学則及び次の各号に掲げる禁止行為を行った場合、あるいは日本国憲法及び国内法令等に違反する行為等を行った場合は、懲戒を加えることができる。

- (1) 風紀を乱す行為
- (2) 公衆衛生に反する行為
- (3) 他の生徒への個人又は集団によるいじめ行為
- (4) 破壊・妨害行為
- (5) 学校内における政治的活動
- (6) その他校長が別途定める禁止行為であると認めた行為

2 懲戒は、訓告、退学とする。

3 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する生徒に対してのみ行うものとする。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当の理由がなく、出席常でない者
- (4) 学校の秩序を乱し、その他生徒としての本分に反した者

4 第1項の懲戒を加えるときは、生徒の心身の発達に應ずるなど教育上必要な配慮をしなければならない。

5 本条第1項から第4項の規定による懲戒によらずして、別に定める規程により指導することができる。

〈仙台育英学園高等学校 学則抜粋〉

(学 期)

- 第7条 年次を分けて、次の4学期とする。
- 第1学期 4月1日から6月30日まで
 第2学期 7月1日から9月30日まで
 第3学期 10月1日から12月31日まで
 第4学期 1月1日から3月31日まで

(休業日、臨時授業及び臨時休業)

第8条 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日
- (3) 学年始休業日 4月1日から 4月6日まで
- (4) 夏季休業日 7月16日から 8月25日まで
- (5) 冬季休業日 12月28日から翌年1月7日まで
- (6) 学年末休業日 3月20日から 3月31日まで
- (7) 「I-Lion Day」 5月22日
- (8) 学園創立記念日 10月1日

2 教育上必要があり、かつ、やむを得ない事情があるときは、前項の規定にかかわらず休業日に授業を行うことがある。

3 非常変災その他急迫の事情があるとき又は教育の実施上特別の事情があるときは、臨時に授業を行わないことがある。

(除 籍)

第17条 授業料等納付金を6か月以上納入しない生徒は、除籍する。

ただし、別に定める事務手続きにより完納誓約書及び保証書を本校に提出した場合は、この限りではない。

2 前項の定めにかかわらず、感染症等を含む非常変災等の影響による家庭の年間所得の大幅な減少又は消滅によって授業料等納付金の納入が著しく困難であると校長が認定した場合は、校長が定める期間において前項の規定を適用しない。

(第3年次留置)

第26条 第3年次までに学校所定の単位を取得することができなかった者について、教育上必要があるときは、第3年次に留め置くことができる。

(納付金等)

第29条 学校の入学検定料、入学時納入金及び授業料等納付金は、別表第3のとおりとする。

2 生徒が在籍中は、出席の有無にかかわらず授業料等納付金を本校が指定する期日までに納入しなければならない。

3 生徒が休学したときは、前項の規定にかかわらず休学の始期の属する月の翌月（休学の始期が月の初日である時はその月）からの授業料等納付金の納入を免除することがある。

4 第3年次については、授業料等納付金を卒業年度の1月末日までに完納しない生徒は、卒業認定を受ける資格を失う。

5 既に納入された入学検定料、入学時納入金のうちの入学金は、原則として理由のいかんにかかわらず返還しない。

6 入学時納入金及び授業料等納付金は、別に定めるところによりその全部又は一部を免除することがある。

7 授業料等納付金の督促及び除籍等に係る事務手続きについては、別に定める。

8 校長は、生徒が本校の校舎及び施設設備等を損傷又は紛失した場合には、その情状により、その全部若しくは一部を弁償させることができる。

(懲 戒)

第31条 生徒が学則及び次の各号に掲げる禁止行為を行った場合、あるいは日本国憲法及び国内法令等に違反する行為等を行った場合は、懲戒を加えることができる。

- (1) 風紀を乱す行為
- (2) 公衆衛生に反する行為
- (3) 他の生徒への個人又は集団によるいじめ行為
- (4) 破壊・妨害行為
- (5) 学校内における政治的活動
- (6) その他校長が別途定める禁止行為であると認めた行為

2 懲戒処分の種類は、訓告、停学及び退学とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する生徒に対してのみ行うものとする。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当の理由がなく出席常でない者
- (4) 学校の秩序を乱し、その他生徒としての本分に反した者

4 第1項の懲戒を加えるときは、生徒の心身の発達を考慮する等教育上必要な配慮をしなければならない。

5 本条第1項から第4項の規定による懲戒によらずして、別に定める規程により指導することができる。

〈仙台育英学園高等学校 広域通信制課程 学則抜粋〉

(修業年限)

第5条 本課程の修業年限は、3年以上とする。

(年 度)

第6条 年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学 期)

第7条 年度を分けて、次の2学期とする。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から3月31日まで

(休業日、臨時授業及び臨時休業)

第8条 休業日は、次のとおりとする。

(1) 面接指導が計画されていない日

(2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日

(3) 春季休業日 3月20日から 4月3日まで

(4) 夏季休業日 8月12日から 8月18日まで

(5) 秋季休業日 9月20日から 10月3日まで

(6) 冬季休業日 12月29日から翌年1月3日まで

(7) 「I-Lion Day」 5月22日

(8) 学園創立記念日 10月1日

2 教育上必要があり、かつ、やむを得ない事情があるときは、前項の規定にかかわらず休業日に授業を行うことがある。

3 非常変災その他急迫の事情があるとき又は教育の実施上特別の事情があるときは、臨時に授業を行わないことがある。

(スクーリング会場及び学習サポート施設)

第11条 次の区域に本課程の通信教育のスクーリング会場を設置する。

都道府県名	スクーリング会場の名称	所在地
宮 城 県	ILC 宮城校	仙台市宮城野区宮城野二丁目4番1号
青 森 県	ILC 青森校	八戸市湊高台三丁目2番2
沖 縄 県	ILC 沖縄校	沖縄市胡屋二丁目6番17号

2 次の区域に本課程の通信教育の学習サポート施設を設置する。

宮 城 県	登米学習センター	登米市東和町米川字寺内31番地1
(生徒定員10名 ※ ILC 宮城の内数)		

(除 籍)

第20条 授業料等を6カ月以上納入しない生徒は、除籍する。

ただし、完納誓約書及び保証書を提出した場合は、この限りでない。

なお、卒業年次に授業料等を卒業前に完納しない生徒は、除籍する。

(入学検定料、入学金及び授業料等)

第30条 本課程の入学検定料、入学金及び授業料等は、別表第4のとおりとする。

2 生徒が在籍中は、出席の有無にかかわらず授業料等を本校が指定する期日までに納入しなければならない。

3 生徒が休学したときは、前項の規定にかかわらず、期の半年間の休学であれば、その期の授業料等の納入を免除することがある。

4 既に納入された入学検定料、入学金及び授業料等は、原則として理由のいかんにかかわらず返還しない。

5 校長は、生徒が本校の校舎、スクーリング会場、学習サポート施設及びこれらの施設設備等を損傷又は紛失した場合には、その情状により、その全部若しくは一部を弁償させることができる。

(懲 戒)

第32条 生徒が学則及び次の各号に掲げる禁止行為を行った場合、あるいは日本国憲法及び国内法令等に違反する行為等を行った場合は、懲戒を加えることができる。

[以下、「懲戒」については、仙台育英学園高等学校 学則 第31条と同じ]

〈沖縄高等学校 学則抜粋〉

(学 期)

- 第7条 年度を分けて、次の4学期とする。
- 第1学期 4月1日から6月30日まで
 - 第2学期 7月1日から9月30日まで
 - 第3学期 10月1日から12月31日まで
 - 第4学期 1月1日から3月31日まで

(休業日、臨時授業及び臨時休業)

第8条 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日
- (3) 学年始休業日 4月1日から 4月10日まで
- (4) 夏季休業日 7月16日から 8月25日まで
- (5) 冬季休業日 12月28日から翌年1月7日まで
- (6) 学年末休業日 3月25日から 3月31日まで
- (7) 「I-Lion Day」 5月22日
- (8) 学園創立記念日 10月1日

- 2 教育上必要があり、かつ、やむを得ない事情があるときは、前項の規定にかかわらず休業日に授業を行うことがある。
- 3 非常変災その他急迫の事情があるとき又は教育の実施上特別の事情があるときは、臨時に授業を行わないことがある。

(除 籍)

第17条 授業料を5か月以上納入しない生徒は、除籍する。

ただし、別に定める事務手続きにより完納誓約書及び保証書を本校に提出した場合は、この限りではない。

- 2 前項の定めにかかわらず、感染症等を含む非常変災等の影響による家庭の年間所得の大幅な減少又は消滅によって授業料の納入が著しく困難であると校長が認定した場合は、校長が定める期間において前項の規定を適用しない。

(第3年次留置)

第26条 第3年次までに本校所定の単位を取得することができなかった者について、教育上必要があるときは、第3学年次に留め置くことができる。

(納付金)

第29条 本校の入学検定料、入学時納入金及び授業料は、別表第3のとおりとする。

- 2 生徒が在籍中は、出席の有無にかかわらず授業料を本校が指定する期日までに納入しなければならない。
- 3 生徒が休学したときは、前項の規定にかかわらず休学の始期の属する月の翌月（休学の始期が月の初日である時はその月）からの授業料の納入を免除することがある。
- 4 第3年次については、授業料を卒業年度の1月末日までに完納しない生徒は、卒業認定を受ける資格を失う。
- 5 既に納入された入学検定料、入学時納入金のうちの入学金は、原則として理由のいかにかわらず返還しない。
- 6 入学時納入金及び授業料は、別に定めるところによりその全部又は一部を免除することがある。
- 7 授業料の督促及び除籍等に係る事務手続きについては、別に定める。
- 8 校長は、生徒が本校の校舎及び施設設備等を損傷又は紛失した場合には、その情状により、その全部若しくは一部を弁償させることができる。

(褒 賞)

第30条 生徒が、その成績、性行ともにすぐれ他の模範となるとときは、褒賞することがある。

(懲 戒)

第31条 生徒が学則及び次の各号に掲げる禁止行為を行った場合、あるいは日本国憲法及び国内法令等に違反する行為等を行った場合は、懲戒を加えることができる。

- (1) 風紀を乱す行為
- (2) 公衆衛生に反する行為
- (3) 他の生徒への個人又は集団によるいじめ行為
- (4) 破壊・妨害行為
- (5) 学校内における政治的活動
- (6) タトゥー等の高校生としてふさわしくないと判断される行為
- (7) 麻薬、違法ドラッグ等の服用及び所持
- (8) その他校長が別途定める禁止行為であると認めた行為

- 2 懲戒処分の種類は、訓告、停学及び退学とする。
- 3 前項の退学は、次の各号の一に該当する生徒に対してのみ行うものとする。
 - (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
 - (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
 - (3) 正当の理由がなく出席常でない者
 - (4) 学校の秩序を乱し、その他生徒としての本分に反した者
- 4 第1項の懲戒を加えるときは、生徒の心身の発達を考慮する等教育上必要な配慮をしなければならない。
- 5 本条第1項から第4項の規定による懲戒によらずして、別に定める規程により指導することができる。

21 教育課程表等

〈秀光中学校全学年教育課程表〉

年間授業時数 (標準時数)	奇数セメスター(1,2学期)
	偶数セメスター(3,4学期) 集中講義

学 年 教 科	1 学年 (秀光30期生)		2 学年 (秀光29期生)		3 学年 (秀光28期生)		合 計	備 考
	1, 2 セメスター		3, 4 セメスター		5, 6 セメスター			
国 語	144 (140)	72	144 (140)	72	140 (105)	68	428 (385)	(IB) 言語と文学
		72		72		72		
社 会	144 (105)	72	108 (105)	54	140 (140)	68	392 (350)	(IB) 個人と社会
		72		54		72		
数 学	144 (140)	72	144 (105)	72	140 (140)	68	428 (385)	(IB) 数学
		72		72		72		
理 科	108 (105)	54	144 (140)	72	140 (140)	68	392 (385)	(IB) 科学
		54		72		72		
音 楽	54 (45)	27	54 (35)	27	35 (35)	17	143 (115)	(IB) 芸術
		27		27		18		
美 術	54 (45)	27	54 (35)	27	35 (35)	17	143 (115)	(IB) 芸術
		27		27		18		
保健体育	108 (105)	54	108 (105)	54	105 (105)	51	321 (315)	(IB) 保健体育
		54		54		54		
技術・家庭	72 (70)	36	72 (70)	36	70 (35)	34	214 (175)	(IB) デザイン
		36		36		36		
外国語 (英語)	144 (140)	72	144 (140)	72	140 (140)	68	428 (420)	(IB) 言語習得
		72		72		72		
特別の教科である 道 徳	36 (35)	18	36 (35)	18	35 (35)	17	107 (105)	
		18		18		18		
総合的な 学習の時間	90 (50)	36	96 (70)	36	106 (70)	34	292 (190)	(IB) デザイン・ プロジェクト
		36		36		36		
特別活動	36 (35)	18	36 (35)	18	35 (35)	17	107 (105)	
		18		18		18		
総授業時数	1134 (1015)	558	1140 (1015)	558	1121 (1015)	527	3395 (3045)	
		558		558		558		
		18		24		36		

〈補足説明〉

- 4学期制を採用し、各学期で10週50日程度、年間で39週の計195日程度の授業日数を設ける計画である。
- 3学年の2学期においては、カナダグローバルリーダーシップ研修のため、各教科の時数を1週間分減じ、8週の計画としている。
- 備考欄の(IB)は国際バカロレア中等教育プログラム (IBMYP) における教科名を示す。
- 集中講義として実施する内容は以下のとおりである。○数字は学年を示す。

「総合的な学習の時間」

- ①グリーンスクール12時間、①起業体験ワークショップ6時間
- ②職場体験15時間、②ワールドボースゲーム研修18時間
- ③カナダグローバルリーダーシップ研修36時間

〈特別進学コース教育課程表〉

教科	年次		1年次				2年次				3年次					
	入学年度		令和7年度入学生				令和6年度入学生				令和5年度入学生					
	科目	標準 単位	一般・選 抜・MAP	共通履修 単位数	選択科目群 単位数	群	単位数	群	単位数	希望 選択	共通履修 単位数	群	選択科目群 単位数	群	単位数	希望 選択
国 語	現代の国語	②	2													
	言語文化	②	2													
	論理国語	4				I	[3]	I	<2>	2						
	文学国語	4				I	[2]				I	[2]				
	国語表現	4														
地 理 歴 史	古典探究	4				I	[3]	I	<2>			I	[3]	I	<2>	
	地理総合	②	2													
	歴史総合	②	2													
	地理探究	3				II	[*2]	II	<*2>			II	[*4]	II	<*3>	
公 民	日本史探究	3				II	[*2]	II	<*2>			II	[*4]	II	<*3>	
	世界史探究	3				II	[*2]			[*1]		II	[*4]	II	<*3>	
	倫理	2										II	[*3]	II	<*3>	
数 学	政治・経済	2										II	[*3]			
	公共	②			2											
	数学Ⅰ	③	#3													
	数学Ⅱ	4	#1	3												
	数学Ⅲ	3											I	<5>		
	数学A	2	2													
理 科	数学B	2		2												
	数学C	2				I	[1]	I	<2>							
	科学と人間生活															
	物理基礎	②	2													
	化学基礎	②	2													
	生物基礎	②	2													
	物理学基礎	4						III	<*3>				III	<*4>		
化学基礎	4						III	<3>				III	<4>			
体 育 健 保	生物学基礎	4						III	<*3>			III	<*4>			
	体育	⑦	3(△1)	2						2						
芸 術	保健	②	1	1												
	音楽Ⅰ	②	2(△1)													
外 国 語	英語コミュニケーションⅠ	③	4													
	英語コミュニケーションⅡ	4		4												
	英語コミュニケーションⅢ	4								4						
	論理・表現Ⅰ	2	2													
	論理・表現Ⅱ	2		2												
家 庭 情 報	論理・表現Ⅲ	2								3						
	家庭基礎	②		2(△1)												
学 校 設 定 科 目	情報Ⅰ	②		2(△1)												
	発展数学										I	[4]	I	<2>		
	情報探究									1						
	研究物理基礎							III	[2]			III	[*1]			
	研究化学基礎											III	[*2]			
	研究生物基礎											III	[*1]			
	Advanced English											III	[*2]			
	学際研究											III	[*1]			
総学履修 履修科目	ATUスキルアップ講座 海外研修		*1							*1 (*1)					*1	
学 校 設 定 科 目	総合的な探究の時間 (探究講座・TOK)		1			I	[2]	I	<1>	1						
	特別活動 HR活動		(1)	(1)						(1)						
小 計 合 計	小計		33(△2)	0~1	20(△2)		15			0~3	14		19~20			0~1
	合計		33~34 (△2)				35~38 (△2)						33~35			

(1) *記号は、選択科目を表す。また、斜体は希望制選択履修科目を表す。
 (2) #記号は、年度内に履修順序がある科目を示す。(「数学Ⅰ」→「数学Ⅱ」→「数学Ⅲ」)
 (3) 2、3年次は文系、理系、Medical Academic Programme (MAP) のいずれかの系を選択する。
 (4) []は文系、< >は理系・Medical Academic Programme (MAP) の選択科目を表す。
 (5) △記号は集中講義で実施する単位数
 (6) 選択科目群Ⅰ～Ⅲにおいては、希望する進路に応じて科目を選択して履修する。履修条件の詳細は別表1に記載する。

学
教
育
課
程
抜
粋

〈情報科学コース教育課程表〉

教科	科目	標準単位	第1年次 (令和7年度入学生)	第2年次 (令和6年度入学生)	第3年次 (令和5年度入学生)
国語	現代の国語	②	2		
	言語文化	②	2		
	論理国語	4		2	2
地理歴史	世界史探究	3			2
	日本史探究	3			2
	地理探究	3			
	歴史総合	②	2	2	
	地理総合	②			2
公民	公共	②		2	
	政治経済	2			2
数学	数学Ⅰ	③	3		
	数学Ⅱ	4		4	③
	数学Ⅲ	3			3
	数学A	2	2		
	数学B	2		2	
	数学C	2			2
理科	科学と人間生活	②			②
	物理基礎	②		②	
	物理	4			2
	化学基礎	②	2		
	化学	4		3	2
	生物基礎	②	2		
保健	体育	⑦	2	2	2
	保健	②	1	1	
芸術	音楽Ⅰ	②		2	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	③	3		
	英語コミュニケーションⅡ	4		4	
	英語コミュニケーションⅢ	4			4
家庭	家庭基礎	②	2		
情報	情報Ⅰ	②	2		
	情報Ⅱ	2			2
学校設定科目	基礎数学講座	2		2	
	アプリケーション	5	2	3	
	グローバルライセンス	6	2	2	2
	卒業制作	2			2
	プログラミング	2			2
	数学演習	0～2			2
	歴史と表現	0～1			1
	eスポーツ講座	(1)	(1)	(1)	
	入門アドバンスプログラミング講座	(1)		(1)	
	TECHCAMP	(1)		(1)	
海外研修	(1)		(1)		
単位数合計		29	29	29	
特活	ホームルーム活動	3	1	1	1
総合的な探究の時間		③	1	1	1
建学の精神			<1>		
合計			31	31	31

* 2・3年の理科は継続履修

(1)：1・2年次に実施する「eスポーツ講座」、2年次に実施する「入門アドバンスプログラミング講座」、「TECHCAMP」、「海外研修」は自由選択科目として履修することができる。

(2)：2年次に実施する「化学」3単位、3年次に実施する「世界史探究」「日本史探究」2単位は各科目のシラバス目標の実現が可能であるため上記単位で実施する。

〈秀光コース教育課程表〉

教科	プログラム		修得単位数											
			共通プログラム		選択別プログラム				選択別プログラム					
	年次		1年次		IB文系		IB理系		IB文系		IB理系		MAP	
	セメスター		1	2	3	4	3	4	5	6	5	6	5	6
科目		言語												
国語	現代の国語		1	1										
	言語文化		1	1										
	論語												1	1
	古文												1	1
	(IB)文学HL	日本語			*2.5	*2.5			*2.5	*2.5				
	(IB)文学SL	日本語					*1.5	*1.5			*1.5	*1.5		
地理歴史	(IB)日本語HL	日本語							*2.5	*2.5				
	(IB)日本語SL	日本語								*2.5	*2.5			
	地理総合		1	1										
	歴史総合				1	1								
	地理探究												*1.5	*1.5
	日本史探究												*1.5	*1.5
公民	世界史探究												*1.5	*1.5
	(IB)歴史HL	日本語			*1.5	*1.5			*2.5	*2.5				
	(IB)歴史SL	英語			*1.5	*1.5			*2.5	*2.5				
	(IB)歴史HL	日本語					*1				*1.5	*1.5		
	(IB)歴史SL	英語					*1				*1.5	*1.5		
	公民総合		1	1										
数学	政治・経済												*1.5	*1.5
	数学I		1.5	1.5										
	数学II													
	数学III												2.5	2.5
	数学A		1	1										
	(IB)数学HL	英語							*2.5	*2.5			*2.5	*2.5
理科	(IB)数学SL	日本語			*1.5	*1.5			*1.5	*1.5				
	(IB)数学SL	英語			*1.5	*1.5			*1.5	*1.5				
	科学と人間生活													
	物理基礎		1	1										
	化学基礎		1	1										
	生物基礎		1	1										
	物理												*2	*2
	化学												2	2
	生物												*2	*2
	(IB)物理SL	日本語			*1.5	*1.5	*1.5	*1.5	*1.5	*1.5	*1.5	*1.5		
	(IB)物理SL	英語			*1.5	*1.5	*1.5	*1.5	*1.5	*1.5	*1.5	*1.5		
	(IB)物理HL	日本語					*2.5	*2.5			*2.5	*2.5		
	(IB)物理HL	英語					*2.5	*2.5			*2.5	*2.5		
	(IB)化学SL	日本語					*1.5	*1.5			*1.5	*1.5		
(IB)化学SL	英語					*1.5	*1.5			*1.5	*1.5			
(IB)化学HL	日本語					2.5	2.5			*2.5	*2.5			
(IB)化学HL	英語					*1.5	*1.5			*1.5	*1.5			
(IB)生物SL	日本語			*1.5	*1.5	*1.5	*1.5	*1.5	*1.5	*1.5	*1.5			
(IB)生物SL	英語			*1.5	*1.5	*1.5	*1.5	*1.5	*1.5	*1.5	*1.5			
(IB)生物HL	日本語					*2.5	*2.5			*2.5	*2.5			
(IB)生物HL	英語					*2.5	*2.5			*2.5	*2.5			
体育保健	体育		1.5	1.5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	保健													
	音楽		1	1										
芸術	(IB)音楽SL	英語			*1.5	*1.5			*1.5	*1.5				
	(IB)美術SL	英語			*1.5	*1.5			*1.5	*1.5				
	英語コミュニケーションI		1.5	1.5										
外国語	英語コミュニケーションII													
	英語コミュニケーションIII												2	2
	論理・表現I		1	1										
	論理・表現II													
	論理・表現III												1.5	1.5
	(IB)英語HL	英語			*2.5	*2.5	*2.5	*2.5	*2.5	*2.5	*2.5	*2.5		
(IB)文学HL	英語			*2.5	*2.5			*2.5	*2.5					
(IB)文学SL	英語					*1.5	*1.5			*1.5	*1.5			
家庭情報	家庭基礎		1	1	(*1)	(*1)	(*1)	(*1)						
	情報				1	1	1	1	1	1	1	1		
学校設定科目	(IB)日本語HL	日本語			*2.5	*2.5	*2.5	*2.5						
	(IB)CAS	日本語			1	1	1	1	1	1	1	1		
	(IB)CAS	英語			1	1	1	1	1	1	1	1		
	(IB)Extended Essay	日本語			1	1	1	1	1	1	1	1		
	(IB)Extended Essay	英語			1	1	1	1	1	1	1	1		
	数学研究												1	1
特別活動	情報サイエンス													1
	ATLスキルアップ講座													(*1)
総合的な探究の時間	PP	日本語			1	1	1	1	1	1	1	1		
	TOK	英語			1	1	1	1	1	1	1	1		
合計			34		35 (37)		35 (37)		32 (34)		32 (34)		33 (*34)	

- ① 単位認定について
 修得単位数の端数(0.5単位)は、次のセメスターに合算して認定する。例えば、1年次の体育は、1セメスターに1単位、2セメスターに2単位を認定する。
- ② 選択別プログラムについて
 (1) 入学時にIB文系、IB理系の2つのプログラムより1つのプログラムを選択する。
 (2) IB文系プログラムの選択科目について
 ① 「生物SL」「物理SL」のいずれか1科目を選択し、2、3年次の2年間を継続して履修する。
 ② 「音楽SL」「美術SL」のいずれか1科目を選択し、2、3年次の2年間を継続して履修する。
 ③ 「英語HL」「日本語HL」のいずれか1科目を選択し、2、3年次の2年間を継続して履修する。
 (3) IB理系プログラムの選択科目について
 ① 「生物SL」「物理SL」のいずれか1科目を選択し、2、3年次の2年間を継続して履修する。
 ② 理科のHL2科目(日本語)の履修を必要とする場合は「生物SL」「物理SL」に代えてそれらのHLを選択することができる。
 ③ 「英語HL」「日本語HL」のいずれか1科目を選択し、2、3年次の2年間を継続して履修する。
- ③ その他
 2年次に特別進学コース、英進学コースよりIB文系、IB理系プログラムに転コースしてきた場合には、2年次に「家庭基礎」を履修する。(1年次に「家庭基礎」を修得していないため)

学
則
育
抜
課
程

〈外国語コース教育課程表〉

教科	科目	標準 単位	第1年次	春／秋入学	第2年次	第3年次		
			一般	留学生	一般	一般	留学帰国生	外国人留学生
国語	現代の国語	②	2					
	言語文化	②	2					
	論理国語	4			2	2	2	2
地理歴史	文学国語	4			2	2	2	
	地理総合	②	2※	2				
	歴史総合	②		2	2			
公民	世界史探究	3				3	3	3
	日本史探究	3				3	3	3
	政治経済	②	2			2	2	2
数学	倫理	2				2		2
	数学Ⅰ	③	3					
	数学Ⅱ	4			2	2		2
	数学A	2		2				
理科	数学B	2			2			
	数学C	2				2		2
	科学と人間生活	②	2	2				
保健体育	化学基礎	②			2			
	生物基礎	2			2			
	体育	⑦	3	2	2	2	2	2
芸術	保健	②	1	1	1			
	音楽Ⅰ	②	2		1			
外国語	美術Ⅰ	②						
	英語コミュニケーションⅠ	③	3※	3				
	英語コミュニケーションⅡ	4			4			
	英語コミュニケーションⅢ	4				4	4	4
	論理・表現Ⅰ	2	2※					
	論理・表現Ⅱ	2			2			
学校設定科目	論理・表現Ⅲ	2				2	2	2
	家庭情報	②						
	情報Ⅰ	②			2			
	Global English A				2			
	Global English B				2			
	英語技能演習					2	2	2
	英会話 English Conversation				2		2	2
	小論文 Essay writing skill					2		2
	総合国語演習					2	2	2
	Global Perspectives		3※					
	中国語Ⅰ a		1		1			
	中国語Ⅰ b		1		1			
	中国語Ⅱ a						1	1
	中国語Ⅱ b						1	1
	中国語Ⅲ a						1	1
	中国語Ⅲ b						1	1
	韓国語Ⅰ a		1		1			
	韓国語Ⅰ b		1		1			
	韓国語Ⅱ a						1	1
	韓国語Ⅱ b						1	1
	韓国語Ⅲ a						1	1
	韓国語Ⅲ b						1	1
	スペイン語Ⅰ a		1		1			
	スペイン語Ⅰ b		1		1			
	スペイン語Ⅱ a						1	1
	スペイン語Ⅱ b						1	1
	スペイン語Ⅲ a						1	1
	スペイン語Ⅲ b						1	1
	国語特講							2
	日本語Ⅲ a							1
日本語Ⅲ b							1	
日本語演習				15*			2	
国際地域探究	1～3		1～3		1～3			
Stanford e-Sendaiikuei					*1	*1	*1	
総合的な探究の時間	日本伝統文化	③	1	*1	1			
	建学の精神		1	1				
	グローバル進路探究					1	1	1
ホームルーム活動	①		1	1	1	1	1	
単位数合計			32	32	32	30	30	30

※ケンブリッジ国際（IGCSE）実施予定

- (1)] は選択科目を表す。
- (2) } は2科目セットで選択する。
- (3) 学校法施規第63条三の3に基づき、通信制課程において履修・修得できる教科科目がある。
- (4) 2年次では「Global English A」・「Global English B」又は「数学Ⅱ」・「数学B」のどちらかをセットで選択する。「数学Ⅱ」は原則2、3年次継続履修。3年次の「数学C」は「総合国語演習」との選択。
- (5) 海外研修の単位認定について
 - ①ハワイ研修（2週間）に参加し、定められた事前・事後研修を終了した生徒に対して「国際地域探究」1単位を認定することが出来る。
 - ②カナダ研修（3ヶ月、短期留学を含む）等に参加し、定められた事前・事後研修を終了した生徒に対して、「国際地域探究」最大3単位を認定することが出来る。
- (6) Stanford e-Sendaiikuei履修生徒に対し、1単位を認定する。
- (7) 「日本語演習*」春入学生は1単位、秋留学生は6単位まで成績・単位を認定する。
- (8) 「日本伝統文化」*留学生の茶道・華道は人数に合わせて実施する。

〈英進進学コース教育課程表〉

教科	科目	標準 単位	第1年次		第2年次					第3年次				
			一般	A J	文系			理系		文系			理系	
					I	BTEC	II	I	II	I	BTEC	II	I	II
国語	現代の国語	2	2	2										
	言語文化	2	2	2										
	論理国語	4			2	2	2	2	2	3	2	3	3	2
	文学国語	4										4		
地理歴史	古典探究	4					2	2			4	2	2	
	地理総合	2	2	2										
	地理探究	3										3	3	3
	歴史総合	2	2	2										
	日本史探究	3								3		3	3	3
公民	世界史探究	3			3		3							
	公共	2			2	2	2	2	2					
	政治・経済倫理	2								2		2		
数学	数学Ⅰ	3	3	3										
	数学Ⅱ	4			4		4	4	4					
	数学Ⅲ	3										4	4	
	数学A	2	2	2										
	数学B	2					2	2	2	2				
	数学C	2								2		2	2	2
理科	科学と人間生活	2								2	2	2		
	物理基礎	2						2	2					
	物理	4										5	5	
	化学基礎	2	2	2										
	化学	4						3	3				2	2
	生物基礎	2	2	2										
保健	生物	4			4		2					3	5	5
	体育	7	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	保健	2	1	1	1	1	1	1	1					
芸術	音楽Ⅰ	2	2	2	1	1	1	1	1					
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3	3										
	英語コミュニケーションⅡ	4			4	4	4	4	4					
	英語コミュニケーションⅢ	4								4	4	4	4	4
	論理・表現Ⅰ	2	2	2										
	論理・表現Ⅱ	2			2	2	2	2	2					
	論理・表現Ⅲ	2								2	2	2	2	2
家庭	家庭基礎	2			2	2	2	2	2					
情報	情報Ⅰ	2	2	2										
学校設定科目	LS ENGLISH	4			2					2				
	英語4技能	1・5	1		2					2				
	英語演習	3		1			1	1				1	1	
	Grow A-Leader feat. ハーバード大学式リーダー研修	1					1	1						
	BTEC	21					10				11			
	福祉対策	1						(1)	(1)					
国際地域探究	1				(1)		(1)	(1)	(1)					
単位数合計			30	30	27	26	31	31	27	26	23	30	30	26
特活	ホームルーム活動	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
総合的な探究の時間	建学の精神		1	1										
	アントレプレナーシップ探究				2	1	2	2	2					
	小論文									1		1	1	1
	スポーツキャリア探究										1			
合計			32	32	30	28	34	34	30	28	25	32	32	28

- 〈1〉] は選択科目を示す。
- 〈2〉 } は2科目セットで選択する。
- 〈3〉 () は自由選択
- 〈4〉 文系Ⅰは私立文系（数学・英語 選択）を指し、文系Ⅱは国公立・私大を指す。
- 〈5〉 理系Ⅰは国公立・私大を指し、理系Ⅱは私大理系（物理・生物選択）を指す。
- 〈6〉 2, 3年次のBTEC科目については、別表で示す。

〈英進進学コースBTEC科目教育課程表〉

令和7年度入学生用

教 科	科 目	標準単位	2年次	3年次
			文 系	文 系
			BTEC	BTEC
学校設定科目	健康とウェルビーイング，スポーツ	2	2	
	スポーツとアクティブレジャー業界のキャリア	2		2
	ス ポ ー ツ ビ ジ ネ ス	1	1	
	ビジネスとしてのリバプールフットボールクラブ	2		2
	応用スポーツ解剖学・生理学	3		3
	身体能力のための栄養学	2	2	
	ス ポ ー ツ 心 理 学	2	2	
	スポーツにおける技術的・戦術的スキル	2	2	
	スポーツパフォーマンス分析	2		2
	ス ポ ー ツ 開 発	2		2
	実践的なスポーツパフォーマンス	1	1	
合 計			10	11

〈フレックスコース教育課程表〉

教科	科目	標準単位	第1年次 (令和7年度入学生)	第2年次 (令和6年度入学生)	第3年次 (令和5年度入学生)
国語	現代の国語	②	2		
	言語文化	②	2		
	論理国語	4			
	文学国語	4		2	
	国語表現	4		2	2
	古典探究	4			
地理 歴史	地理総合	②	2		
	地理探究	3			3
	歴史総合	②		2	
	日本史探究	3			3
	世界史探究	3			
公民	公共	②	2		
	政治・経済	2			3
数学	数学Ⅰ	③	3		
	数学Ⅱ	4		2	2
	数学A	2		2	
	数学B	2			※0・2
理科	科学と人間生活	②	2		
	化学基礎	②		2	
	化学	4			※0・4
	生物基礎	②		2	
	生物	4			※0・4
保健 体育	体育	⑦～⑧	3	2	3
	保健	②	1	1	
芸術	書道Ⅰ	②			2
外国語	英語コミュニケーションⅠ	③	3		
	英語コミュニケーションⅡ	4		2	2
	英語コミュニケーションⅢ	4			
	論理・表現Ⅰ	2			3
家庭	家庭基礎	②		2	
情報	情報Ⅰ	②	2		
小計			22	21	20～26
学校設定科目（別紙）		～20	2	2～7	4～7
総合 学習	総合的な探究の時間	③	1	1	1
	建学の精神		〈1〉		
小計			25	24～29	25～34
特活	ホームルーム活動		1	1	1
合計			26	25～30	26～35

※は学設の時間帯に実施

学
教
育
規
程

〈フレックスコース学校設定科目〉

種別	NO	科目名	標準単位	第1年次 令和7年度入学生	第2年次 令和6年度入学生	第3年次 令和5年度入学生
A群 (1科目選択)	1	キャリアサポート講座進学	2			2
	2	キャリアサポート講座専門	2			2
	3	キャリアサポート講座就職	2			2
B群 (1科目選択)	4	漢字検定講座	2	2	2	2
	5	英語検定講座	2	2	2	2
	6	日本語検定講座	2	2	2	
	7	発展国語講座	2	2	2	
	8	発展英語講座	2	2	2	
	9	発展数学講座	2	2		
	10	基礎小論文入門講座	2	2		
	11	公務員養成講座 国社	2	2		
	12	ニュース時事能力検定講座	2	2		
	13	書写技能検定講座	2	2		
	14	スポーツメディカル講座	2	2		
	15	ハングル講座	2	2		
	16	面接対策講座	2	2		
	17	防災教育講座	2	2		
	18	基礎スポーツ演習講座	2		2	2
	19	ビジネス系検定講座	2		2	2
	20	受験小論文講座	2		2	2
	21	公務員養成講座 理数	2		2	
	22	e-sports講座	2		2	
	23	スポーツと栄養講座	2		2	
24	就職作文講座	2		2		
25	ボイストレーニング講座	2			2	
26	受験国語講座	2			2	
27	幼児・保育基礎講座	2			2	
C群 (希望選択)	28	英語系検定講座	2		2	2
	29	ネイリスト検定講座	2		2	2
	30	スポーツ実践講座	2		2	2
	31	ハングル講座	2		2	2
	32	ボランティア講座	2		2	2
	33	発展数学講座	2		2	
	34	面接対策講座	1		1	1
	35	動物学実習講座	2		2	
	36	マンガ・アニメーション講座	2		2	2

〈技能開発コース教育課程表〉

教科	科目	標準単位	第1年次 (令和7年度入学生)	第2年次 (令和6年度入学生)	第3年次 (令和5年度入学生)	第3年次 (留学生)
国語	現代の国語	②	2			
	言語文化	②	2			
	論理国語	4				
	文学国語	4		2		
	国語表現	4		2	2	
	古典探究	4				
地理歴史	地理総合	②	2			
	地理探究	3			3	}
	歴史総合	②		2		
	日本史探究	3			3	
	世界史探究	3				
公民	公共	②	2			
	政治・経済	2			3	2
数学	数学Ⅰ	③				
	数学Ⅱ	4		2	2	
	数学A	2		2		
	数学B	2			※0・2	
理科	科学と人間生活	②	2			
	化学基礎	②		2		
	化学	4			※0・4	}
	生物基礎	②		2		
	生物	4			※0・4	
保健体育	体育	⑦～⑧	3	2	3	2
	保健	②	1	1		
芸術	書道Ⅰ	②			2	2
外国語	英語コミュニケーションⅠ	③	3			
	英語コミュニケーションⅡ	4		2	2	
	英語コミュニケーションⅢ	4				
	論理・表現Ⅰ	2			3	3
家庭	家庭基礎	②		2		
情報	情報Ⅰ	②	2			
小計			19	21	20～26	9
学校設定科目（別紙）		～20	5	2～7	4～7	18
総合学習	総合的な探究の時間	③	1	1	1	1
	建学の精神		<1>			
小計			25	24～29	25～34	
特活	ホームルーム活動		1	1	1	1
合計			26	25～30	26～35	29

※は学設の時間帯に実施

学
教
則
育
抜
課
程

〈技能開発コース学校設定科目〉

種別	NO	科目名	標準単位	第1年次 令和7年度入学生	第2年次 令和6年度入学生	第3年次 令和5年度入学生
A群 (1科目選択)	1	基礎数学講座	3	3		
	2	キャリアサポート講座進学	2			2
	3	キャリアサポート講座専門	2			2
	4	キャリアサポート講座就職	2			2
B群 (1科目選択)	5	漢字検定講座	2	2	2	2
	6	英語検定講座	2	2	2	2
	7	日本語検定講座	2	2	2	
	8	発展国語講座	2	2	2	
	9	発展英語講座	2	2	2	
	10	発展数学講座	2	2		
	11	基礎小論文入門講座	2	2		
	12	公務員養成講座 国社	2	2		
	13	ニュース時事能力検定講座	2	2		
	14	書写技能検定講座	2	2		
	15	ハングル講座	2	2		
	16	面接対策講座	2	2		
	17	せんだいまなびや講座	2	2		
	18	防災教育講座	2	2		
	19	基礎スポーツ演習講座	2		2	2
	20	ビジネス系検定講座	2		2	2
	21	パティシエ&ベーカリー講座	2		2	2
	22	受験小論文講座	2		2	2
	23	公務員養成講座 理数	2		2	
	24	e-sports講座	2		2	
	25	就職作文講座	2		2	
	26	基礎メイクアップ講座	2		2	
	27	応用メイクアップ講座	2			2
	28	ボイストレーニング講座	2			2
29	受験国語講座	2			2	
30	幼児・保育基礎講座	2			2	
31	社会福祉基礎講座（留学生用）	2			2	
C群 (希望選択)	32	英語系検定講座	2		2	2
	33	ネイリスト検定講座	2		2	2
	34	ハングル講座	2		2	2
	35	せんだいまなびや講座	2		2	2
	36	ボランティア講座	2		2	2
	37	発展数学講座	2		2	
	38	面接対策講座	1		1	1
	39	動物学実習講座	2		2	
	40	マンガ・アニメーション講座	2		2	2
	41	介護福祉基礎講座（留学生用）	2			2
	42	日本語演習講座（留学生用）	2			2
土曜学設 (希望選択)	43	トリマー基礎講座	1		1	
	44	トリマー応用講座	1			1
	45	自動車整備技術講座	1		1	

〈広域通信制課程 普通科 IDコース教育課程表〉

令和6年度入学生以降適用

教科	科目名	標準 単位数	本校設定 単位数	1年次	2・3年次	卒業年次	備 考
国 語	現代の国語	2	3	3			◎設定単位(2)～3 ※1
	言語文化	2	3	3			◎設定単位(2)～3 ※1
	文学国語	4	4		4		※ILC青森のみ設定
	国語表現	4	4		4		
	古典探究	4	4			4	
地 歴	地理総合	2	2	2			◎
	地理探究	3	3		3		「地理総合」履修後に選択可能
	歴史総合	2	2	2			◎
	日本史探究	3	3		3		「歴史総合」履修後に選択可能
	世界史探究	3	3			3	「歴史総合」履修後に選択可能
公 民	公共	2	2	2			◎
	倫理	2	2		2		「公共」必履修後に選択可能
	政治・経済	2	2		2		
数 学	数学Ⅰ	3	4	4			◎設定単位(3)～4 ※2
	数学Ⅱ	4	4			4	「数学Ⅰ」を含む2科目を選択必履修(ベーシック数学含む)
	数学A	2	2		2		
理 科	科学と人間生活	2	2	2			◎
	物理基礎	2	2		2		「科学と人間生活」を含む2科目を選択必履修,又は基礎4科目中から3科目を履修
	化学基礎	2	2		2		
	生物基礎	2	2		2		
	地学基礎	2	2		2		
保 体	体育1	3	3	3			◎
	体育2	2	2		2		◎
	体育3	2	2			2	◎
	保健	2	2	1	1		◎
芸 術	音楽Ⅰ	2	0				◎芸術は1科目のみ選択必履修 ※「書道」はILC宮城とILC青森に設定 ※「美術」はILC沖縄にのみ設定
	美術Ⅰ	2	2		2		
	書道Ⅰ	2	2		2		
外 国 語	英語コミュニケーションⅠ	3	4	4			◎設定単位(3)～4 ※2
	英語コミュニケーションⅡ	4	4			4	「英語コミュニケーションⅠ」を含む2科目を選択必履修(ベーシック英語含む)
	論理・表現Ⅰ	2	2		2		
	論理・表現Ⅱ	2	2			2	
家 庭	家庭基礎	2	2	2			※全日制課程併修生にのみ履修適用
	家庭総合	4	4	4			◎ ※4 ILC宮城・ILC青森 ◎ ※4 ILC沖縄
情 報	情報Ⅰ	2	2	2			◎
学 校 科 目 設 定	ベーシック国語	2	2	2			※3
	ベーシック数学	2	2	2			
	ベーシック英語	2	2	2			
総合的な探究の時間		3	3	1	2		◎
履修単位数計		卒業に必要な単位数74単位以上					
特別活動		卒業までに30時間以上					

◎印：必履修科目

- ※1 「現代の国語」及び「言語文化」については、転入学及び編入学した生徒が前籍校において「現代の国語」「言語文化」として2単位の修得が済んでいる場合のみ、「現代の国語」並びに「言語文化」を修得したとみなすことができる。
- ※2 「数学Ⅰ」及び「英語コミュニケーションⅠ」については、転入学及び編入学した生徒が前籍校で「数学Ⅰ」あるいは「コミュニケーション英語Ⅰ」を3単位の修得が済んでいる場合、「数学Ⅰ」「英語コミュニケーションⅠ」を修得したとみなすことができる。
- ※3 学校設定科目として、中学校教育までの学習の成果が高等学校教育に円滑に接続され、高等学校教育段階の終わりまでに育成することを目指す資質・能力を生徒が確実に身に付けることができるように「ベーシック国語」、「ベーシック数学」、「ベーシック英語」を設定する。
- ※4 「家庭総合」については、転入学及び編入学した生徒が前籍校で「家庭基礎」として2単位の修得が済んでいる場合のみ、「家庭」を修得したとみなすことができる。それ以外は「家庭総合」4単位を履修・修得する。

〈広域通信制課程 普通科 IDコース報告課題数・面接時数及び試験回数一覧表〉

令和6年度入学生以降適用

教科	科目名	標準 単位数	本校設定 単位数	報告課題数	面接時数	試験回数	備 考
国 語	現代の国語	2	3	9	3	2	◎設定単位(2)～3 ※1
	言語文化	2	3	9	3	2	◎設定単位(2)～3 ※1
	文学国語	4	4	12	4	2	※ILC青森のみ設定
	国語表現	4	4	12	4	2	
	古典探究	4	4	12	4	2	
地 歴	地理総合	2	2	6	2	2	◎
	地理探究	3	3	9	3	2	「地理総合」履修後に選択可能
	歴史総合	2	2	6	2	2	◎
	日本史探究	3	3	9	3	2	「歴史総合」履修後に選択可能
	世界史探究	3	3	9	3	2	「歴史総合」履修後に選択可能
公 民	公共	2	2	6	2	2	◎
	倫理	2	2	6	2	2	「公共」必履修後に選択可能
	政治・経済	2	2	6	2	2	
数 学	数学Ⅰ	3	4	12	4	2	◎設定単位(3)～4 ※2
	数学Ⅱ	4	4	12	4	2	「数学Ⅰ」を含む2科目を選択必履修（ベーシック数学含む）
	数学A	2	2	6	2	2	
理 科	科学と人間生活	2	2	6	8	2	◎
	物理基礎	2	2	6	8	2	「科学と人間生活」を含む2科目を選択必履修，又は基礎4科目中から3科目を履修
	化学基礎	2	2	6	8	2	
	生物基礎	2	2	6	8	2	
	地学基礎	2	2	6	8	2	
保 体	体育1	3	3	3	15	2	◎
	体育2	2	2	2	10	2	◎
	体育3	2	2	2	10	2	◎
	保健	2	2	6	2	2	◎
芸 術	音楽Ⅰ	2	0				◎芸術は1科目のみ選択必履修 ※「書道」はILC宮城とILC青森に設定 ※「美術」はILC沖縄にのみ設定
	美術Ⅰ	2	2	6	8	2	
	書道Ⅰ	2	2	6	8	2	
外 国 語	英語コミュニケーションⅠ	3	4	12	16	2	◎設定単位(3)～4 ※2
	英語コミュニケーションⅡ	4	4	12	16	2	「英語コミュニケーションⅠ」を含む2科目を選択必履修（ベーシック英語含む）
	論理・表現Ⅰ	2	2	6	8	2	
	論理・表現Ⅱ	2	2	6	8	2	
家 庭	家庭基礎	2	2	4	4	2	※全日制課程併修生にのみ履修適用
	家庭総合	4	4	8	8	2	◎ ※4
情 報	情報Ⅰ	2	2	4	4	2	◎
学 校 科 目 設 定	ベーシック国語	2	2	6	8	2	※3
	ベーシック数学	2	2	6	8	2	
	ベーシック英語	2	2	6	8	2	
総合的な探究の時間		3	3	6	3		◎
履修単位数計		卒業に必要な単位数〔74単位〕以上					
特別活動		卒業までに〔30時間〕以上					

◎印：必履修科目

- ※1 「現代の国語」及び「言語文化」については，転入学及び編入学した生徒が前籍校において「現代の国語」「言語文化」として2単位の修得が済んでいる場合のみ，「現代の国語」並びに「言語文化」を修得したとみなすことができる。
- ※2 「数学Ⅰ」及び「英語コミュニケーションⅠ」については，転入学及び編入学した生徒が前籍校で「数学Ⅰ」あるいは「コミュニケーション英語Ⅰ」を3単位の修得が済んでいる場合，「数学Ⅰ」「英語コミュニケーションⅠ」を修得したとみなすことができる。
- ※3 学校設定科目として，中学校教育までの学習の成果が高等学校教育に円滑に接続され，高等学校教育段階の終わりまでに育成することを目指す資質・能力を生徒が確実に身に付けることができるように「ベーシック国語」，「ベーシック数学」，「ベーシック英語」を設定する。
- ※4 「家庭総合」については，転入学及び編入学した生徒が前籍校で「家庭基礎」として2単位の修得が済んでいる場合のみ，「家庭」を修得したとみなすことができる。それ以外は「家庭総合」4単位の履修・修得する。

〈広域通信制課程 普通科 IDコース教育課程表〉

令和4年度入学生以降適用

教科	科目名	標準 単位数	本校設定 単位数	1年次	2・3年次	卒業年次	備 考
国 語	現代の国語	2	3	3			◎設定単位(2)～3 ※1
	言語文化	2	3	3			◎設定単位(2)～3 ※1
	国語表現	4	4		4		
	古典探究	4	4			4	
地 歴	地理総合	2	2	2			◎
	歴史総合	2	2	2			◎
	地理探究	3	3		3		「地理総合」履修後に選択可能
	日本史探究	3	3		3		「歴史総合」履修後に選択可能
	世界史探究	3	3			3	「歴史総合」履修後に選択可能
公 民	公共	2	2	2			◎ ※4
	倫理	2	2		2		「公共」必履修後に選択可能
	政治・経済	2	2		2		
数 学	数学Ⅰ	3	4	4			◎設定単位(3)～4 ※2
	数学Ⅱ	4	4			4	「数学Ⅰ」を含む2科目を選択必履修 (ベーシック数学含む)
	数学A	2	2		2		
理 科	科学と人間生活	2	2	2			◎
	物理基礎	2	2		2		「科学と人間生活」を含む2科目 を選択必履修、又は基礎の3科目
	化学基礎	2	2		2		
	生物基礎	2	2		2		
	地学基礎	2	2		2		
保 体	体育Ⅰ	3	3	3			◎
	体育Ⅱ	2	2		2		◎
	体育Ⅲ	2	2			2	◎
	保健	2	2	1	1		◎
芸 術	音楽Ⅰ	2	2		2		◎1科目を選択必履修
	美術Ⅰ	2	2		2		
	書道Ⅰ	2	2		2		
外 国 語	英語コミュニケーションⅠ	3	4	4			◎設定単位(3)～4 ※2
	英語コミュニケーションⅡ	4	4			4	「英語コミュニケーションⅠ」を 含む2科目を選択必履修 (ベーシック英語含む)
	論理・表現Ⅰ	2	2		2		
	論理・表現Ⅱ	2	2			2	
家 庭	家庭総合	4	4	2	2		◎ ※5
	家庭基礎	2	2	2			全日制課程併修生のみ履修適用
情 報	情報Ⅰ	2	2	2			◎
学 定 校 科 目 設 定	ベーシック国語	2	2	2			※3
	ベーシック数学	2	2	2			※3
	ベーシック英語	2	2	2			※3
総合的な探究の時間		3	3	1	2		◎
各年次の履修単位の目安				～39	～40	～20	
履修単位数計		卒業に必要な単位数74単位以上					
特別活動		卒業までに30時間以上					

- ◎印：必履修科目
- ※1 「現代の国語」について、転入学及び編入学した生徒が前籍校において「国語総合」として4単位で修得が済んでいる場合のみ、「現代の国語」を修得したとみなすことができる。
 - ※2 「数学Ⅰ」「英語コミュニケーションⅠ」について、転入学及び編入学した生徒が前籍校で「数学Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅰ」を3単位で修得が済んでいる場合、「数学Ⅰ」「英語コミュニケーションⅠ」を習得したとみなすことができる。
 - ※3 学校設定科目として、中学校教育までの学習の成果が高等学校教育に円滑に接続され、高等学校教育段階の終わりまでに育成することを旨とする資質・能力を生徒が確実に身に付けられることができるように「ベーシック国語」「ベーシック数学」「ベーシック英語」を設定する。
 - ※4 「公共」について、転入学及び編入学した生徒が前籍校で「現代社会」として2単位で修得が済んでいる場合のみ、「公共」を修得したとみなすことができる。
 - ※5 「家庭総合」について、転入学及び編入学した生徒が前籍校で「家庭基礎」として2単位で修得が済んでいる場合のみ、「家庭」を修得したとみなすことができる。それ以外は、「家庭総合」4単位を履修修得する。
 - ※6 令和7年度以降、大学共通テスト受験を受験する予定の方は、地歴・公民・理科等の履修科目の組合せに十分留意すること

学
則
育
抜
課
程

〈広域通信制課程 普通科 IDコース報告課題数・面接時数及び試験回数一覧表〉

令和4年度入学生以降適用

教科	科目名	標準 単位数	本校設定 単位数	報告課題数	面接時数	試験回数	備 考
国 語	現代の国語	2	3	9	3	2	◎設定単位(2)～3 ※1
	言語文化	2	3	9	3	2	◎設定単位(2)～3 ※1
	国語表現	4	4	12	4	2	
	古典探究	4	4	12	4	2	
地 歴	地理総合	2	2	6	2	2	◎
	歴史総合	2	2	6	2	2	◎
	地理探究	3	3	9	3	2	「地理総合」履修後に選択可能
	日本史探究	3	3	9	3	2	「歴史総合」履修後に選択可能
	世界史探究	3	3	9	3	2	「歴史総合」履修後に選択可能
公 民	公共	2	2	6	2	2	◎ ※4
	倫理	2	2	6	2	2	
	政治・経済	2	2	6	2	2	「公共」必履修後に選択可能
数 学	数学Ⅰ	3	4	12	4	2	◎設定単位(3)～4 ※2
	数学Ⅱ	4	4	12	4	2	「数学Ⅰ」を含む2科目を選択必履修 (ベーシック数学含む)
	数学A	2	2	6	2	2	
理 科	科学と人間生活	2	2	6	8	2	◎
	物理基礎	2	2	6	8	2	
	化学基礎	2	2	6	8	2	
	生物基礎	2	2	6	8	2	
	地学基礎	2	2	6	8	2	「科学と人間生活」を含む2科目 を選択必履修、又は基礎の3科目
保 体	体育Ⅰ	3	3	3	15	2	◎
	体育Ⅱ	2	2	2	10	2	◎
	体育Ⅲ	2	2	2	10	2	◎
	保健	2	2	6	2	2	◎
芸 術	音楽Ⅰ	2	2	6	8	2	
	美術Ⅰ	2	2	6	8	2	◎1科目を選択必履修
	書道Ⅰ	2	2	6	8	2	
外 国 語	英語コミュニケーションⅠ	3	4	12	16	2	◎設定単位(3)～4 ※2
	英語コミュニケーションⅡ	4	4	12	16	2	
	論理・表現Ⅰ	2	2	6	8	2	「英語コミュニケーションⅠ」を 含む2科目を選択必履修 (ベーシック英語含む)
	論理・表現Ⅱ	2	2	6	8	2	
家 庭	家庭総合	4	4	8	8	2	◎ ※5
	家庭基礎	2	2	4	4	2	全日制課程併修生のみ履修適用
情 報	情報Ⅰ	2	2	4	4	2	◎
学 定 校 科 目 設 計	ベーシック国語	2	2	6	8	2	※3
	ベーシック数学	2	2	6	8	2	※3
	ベーシック英語	2	2	6	8	2	※3
総合的な探究の時間		3	3	6	3		◎
履修単位数計		卒業に必要な単位数74単位以上					
特 別 活 動		卒業までに30時間以上					

◎印：必履修科目

※1 「現代の国語」について、転入学及び編入学した生徒が前籍校において「国語総合」として4単位で修得が済んでいる場合のみ、「現代の国語」を修得したとみなすことができる。

※2 「数学Ⅰ」「英語コミュニケーションⅠ」について、転入学及び編入学した生徒が前籍校で「数学Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅰ」を3単位で修得が済んでいる場合、「数学Ⅰ」「英語コミュニケーションⅠ」を習得したとみなすことができる。

※3 学校設定科目として、中学校教育までの学習の成果が高等学校教育に円滑に接続され、高等学校教育段階の終わりまでに育成することを旨とする資質・能力を生徒が確実に身に付けられることができるように「ベーシック国語」「ベーシック数学」「ベーシック英語」を設定する。

※4 「公共」について、転入学及び編入学した生徒が前籍校で「現代社会」として2単位で修得が済んでいる場合のみ、「公共」を修得したとみなすことができる。

※5 「家庭総合」について、転入学及び編入学した生徒が前籍校で「家庭基礎」として2単位で修得が済んでいる場合のみ、「家庭」を修得したとみなすことができる。それ以外は、「家庭総合」4単位を履修修得する。

※6 令和7年度以降、大学共通テスト受験を受験する予定の方は、地歴・公民・理科等の履修科目の組合せに十分留意すること

〈広域通信制課程 普通科 旧教育課程教育課程表〉

教科	科目名	標準単位数	1年次	2・3年次	卒業年次	備考
国語	国語総合	4	4			◎
	国語表現	3		3		
	現代文B	4		4		
	古典B	4			4	
地歴	世界史B	4		4		◎ 「世界史B」を含む2科目を選択必修
	日本史B	4			4	
	地理B	4		4		
公民	現代社会	2	2			「現代社会」、又は「倫理」 「政治・経済」を選択必修
	政治・経済	2		2		
	倫理	2			2	
数学	数学Ⅰ	(3)～4	4			◎ 「数学Ⅰ」を含む2科目を選択必修 (ベーシック数学を含む)
	数学Ⅱ	4			4	
	数学A	2		2		
理科	科学と人間生活	2	2			◎ 「科学と人間生活」を含む 2科目を選択必修 又は、基礎の3科目
	物理基礎	2			2	
	化学基礎	2			2	
	生物基礎	2		2		
	地学基礎	2		2		
保健体育	体育1	3	3			◎
	体育2	2		2		◎
	体育3	2			2	◎
	保健	2	1		1	◎
芸術	音楽Ⅰ	2		2		◎1科目を選択必修
	美術Ⅰ	2		2		
	書道Ⅰ	2		2		
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	(3)～4	4			◎ 「コミュニケーション英語Ⅰ」を 含む2科目を選択必修 (ベーシック英語を含む)
	コミュニケーション英語Ⅱ	4			4	
	英語表現Ⅰ	2		2		
	英語表現Ⅱ	4			4	
家庭	家庭総合	4		4		◎
情報	社会と情報	2	2			◎
学校設定科目	ベーシック数学	2	2			
	ベーシック英語	2	2			
総合的な学習の時間／ 総合的な探究の時間		3	3			◎
各年次の履修単位の目安			26	25	23	
履修単位数計		卒業に必要な単位数74単位以上				
特別活動		卒業までに30時間以上				

- ◎印：必修科目
- ※1 数学Ⅰとコミュニケーション英語Ⅰについて、転入学及び編入学した生徒が前籍校において3単位で修得が済んでいる場合のみ、()内の単位を適用することができる。
 - ※2 世界史について、転入学及び編入学した生徒が前籍校で世界史Aを2単位で修得済の場合、世界史Bを履修しないことができる。
 - ※3 総合的な学習については、平成30年度までの入学生について履修させ、平成31年4月以降の入学生については、総合的な探究の時間を履修させる。
 - ※4 地歴・公民については、新高等学校学習指導要領の領土に関する規定を適用する。
 - ※5 家庭については、平成30年4月1日以降の入学生に対して、新高等学校学習指導要領の契約に重要性及び消費者保護の仕組みに関する規定の事項を加えて指導する。
 - ※6 特別活動については、新学習指導要領に基づいて指導する。
 - ※7 学校設定科目として、中学校教育までの学習の成果が高等学校教育に円滑に接続され、高等学校教育段階の終わりまでに育成することを旨とする資質・能力を生徒が確実に身に付けられることができるようにベーシック数学Ⅰを面接時数を増やして設定する。

〈広域通信制課程 普通科 旧教育課程報告課題数・面接時数及び試験回数一覧表〉

教科	科目名	標準単位数	報告課題数	面接時数	試験回数	備考
国語	国語総合	4	12	4	2	◎
	国語表現	3	9	3	2	
	現代文B	4	12	4	2	
	古典B	4	12	4	2	
地歴	世界史B	4	12	4	2	◎ 「世界史B」を含む2科目を選択必修
	日本史B	4	12	4	2	
	地理B	4	12	4	2	
公民	現代社会	2	6	2	2	「現代社会」、又は「倫理」 「政治・経済」を選択必修
	政治・経済	2	6	2	2	
	倫理	2	6	2	2	
数学	数学Ⅰ	(3)～4	12	4	2	◎ 「数学Ⅰ」を含む2科目を選択必修 (ベーシック数学を含む)
	数学Ⅱ	4	12	4	2	
	数学A	2	6	2	2	
理科	科学と人間生活	2	6	8	2	◎ 「科学と人間生活」を含む 2科目を選択必修 又は、基礎の3科目
	物理基礎	2	6	8	2	
	化学基礎	2	6	8	2	
	生物基礎	2	6	8	2	
	地学基礎	2	6	8	2	
保健体育	体育1	3	3	15	2	◎
	体育2	2	2	10	2	◎
	体育3	2	2	10	2	◎
	保健	2	6	2	2	◎
芸術	音楽Ⅰ	2	6	8	2	◎1科目を選択必修
	美術Ⅰ	2	6	8	2	
	書道Ⅰ	2	6	8	2	
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	(3)～4	12	16	2	◎ 「コミュニケーション英語Ⅰ」を 含む2科目を選択必修 (ベーシック英語を含む)
	コミュニケーション英語Ⅱ	4	12	16	2	
	英語表現Ⅰ	2	6	8	2	
	英語表現Ⅱ	4	12	16	2	
家庭	家庭総合	4	8	8	2	◎
情報	社会と情報	2	4	4	2	◎
学校科 設定目	ベーシック数学	2	6	8	2	
	ベーシック英語	2	6	8	2	
総合的な学習の時間／ 総合的な探究の時間		3	6	3		◎
各年次の履修単位の目安			26	25	23	
履修単位数計		卒業に必要な単位数74単位以上				
特別活動		卒業までに30時間以上				

◎印：必修科目

- ※1 数学Ⅰとコミュニケーション英語Ⅰについて、転入学及び編入学した生徒が前籍校において3単位で修得が済んでいる場合のみ、()内の単位を適用することができる。
- ※2 世界史について、転入学及び編入学した生徒が前籍校で世界史Aを2単位で修得済の場合、世界史Bを履修しないことができる。
- ※3 総合的な学習については、平成30年度までの入学生について履修させ、平成31年4月以降の入学生については、総合的な探究の時間を履修させる。
- ※4 地歴・公民については、新高等学校学習指導要領の領土に関する規定を適用する。
- ※5 家庭については、平成30年4月1日以降の入学生に対して、新高等学校学習指導要領の契約に重要性及び消費者保護の仕組みに関する規定の事項を加えて指導する。
- ※6 特別活動については、新学習指導要領に基づいて指導する。
- ※7 学校設定科目として、中学校教育までの学習の成果が高等学校教育に円滑に接続され、高等学校教育段階の終わりまでに育成することを旨とする資質・能力を生徒が確実に身に付けられることができるようにベーシック数学Ⅰを面接時数を増やして設定する。

〈仙台育英学園沖縄高等学校 普通科教育課程表〉

教科	科 目	標準 単位数	本校設定 単位数	第1年次	第2年次	第3年次	備 考
国 語	現 代 の 国 語	2	2	2			◎
	言 語 文 化	2	2	2			◎
	国 語 表 現	4	4		2	2	
地歴	地 理 総 合	2	2			2	◎
	歴 史 総 合	2	2		2		◎
公民	公 共	2	2	2			◎
	政 治 ・ 経 済	2	2			2	◆選択
数 学	数 学 I	3	4		4		◎
	数 学 A	2	2			2	②
理科	科 学 と 人 間 生 活	2	2	2			◎
	物 理 基 礎	2	2			2	◆選択
	生 物 基 礎	2	2		2		◎
保健 体育	体 育	7	7	3	2	2	◎
	保 健	2	2	1	1		◎
芸術	書 道 I	2	2			2	◎
外国 語	英語コミュニケーションI	3	4		4		◎
	論 理 ・ 表 現 I	2	2			2	
家庭	家 庭 総 合	4	4	2	2		◎
情報	情 報 I	2	2	2			◎
学校 設定 科目	I C T 活 用 講 座	2	2	1	1		ICTスキルの向上やリテラシーを学ぶ
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 演 習	2	2		1	1	プログラミング並びに情報処理について学ぶ
	e ス ポ ー ツ 講 座	3	3	2	1		eスポーツの仕組みを学ぶ
	グ ロー バ ル ラ イ セ ン ス	3	3		1	2	MOS検定合格を目指す
	I T パ ス ポ ー ト 講 座	2	2	1	1		経済産業省認定の国家資格の取得を目指す
	情 報 セ キ ュ リ ティ マ ネ ジ メ ン ト 講 座	2	2			2	経済産業省認定の国家資格の取得を目指す
	小 論 文 演 習	2	2			2	◇選択
	ベ ー シ ッ ク 数 学	2	2	2			
	ベ ー シ ッ ク 英 語	2	2	2			
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 英 語	2	2			2	◇選択
	日 本 語 演 習 I	2		2			※eスポーツ講座との選択
	日 本 語 演 習 II	1			1		※eスポーツ講座との選択
日 本 語 演 習 III	2				2	※eスポーツ講座との選択 情報セキュリティマネジメント講座との選択	
総 合 的 な 探 究 の 時 間		5	5	1	1	3	◎
建 学 の 精 神				〈1〉			◎総合的な探究の時間として履修する
合 計				25	25	24	* 卒業に必要な単位数74単位

◎：必修科目

※日本語演習Ⅰ～Ⅲについては、留学生を対象として開講・選択とする。

22 校地・校舎等面積

1. 校 地 〈総面積〉159,624㎡（含、借地）

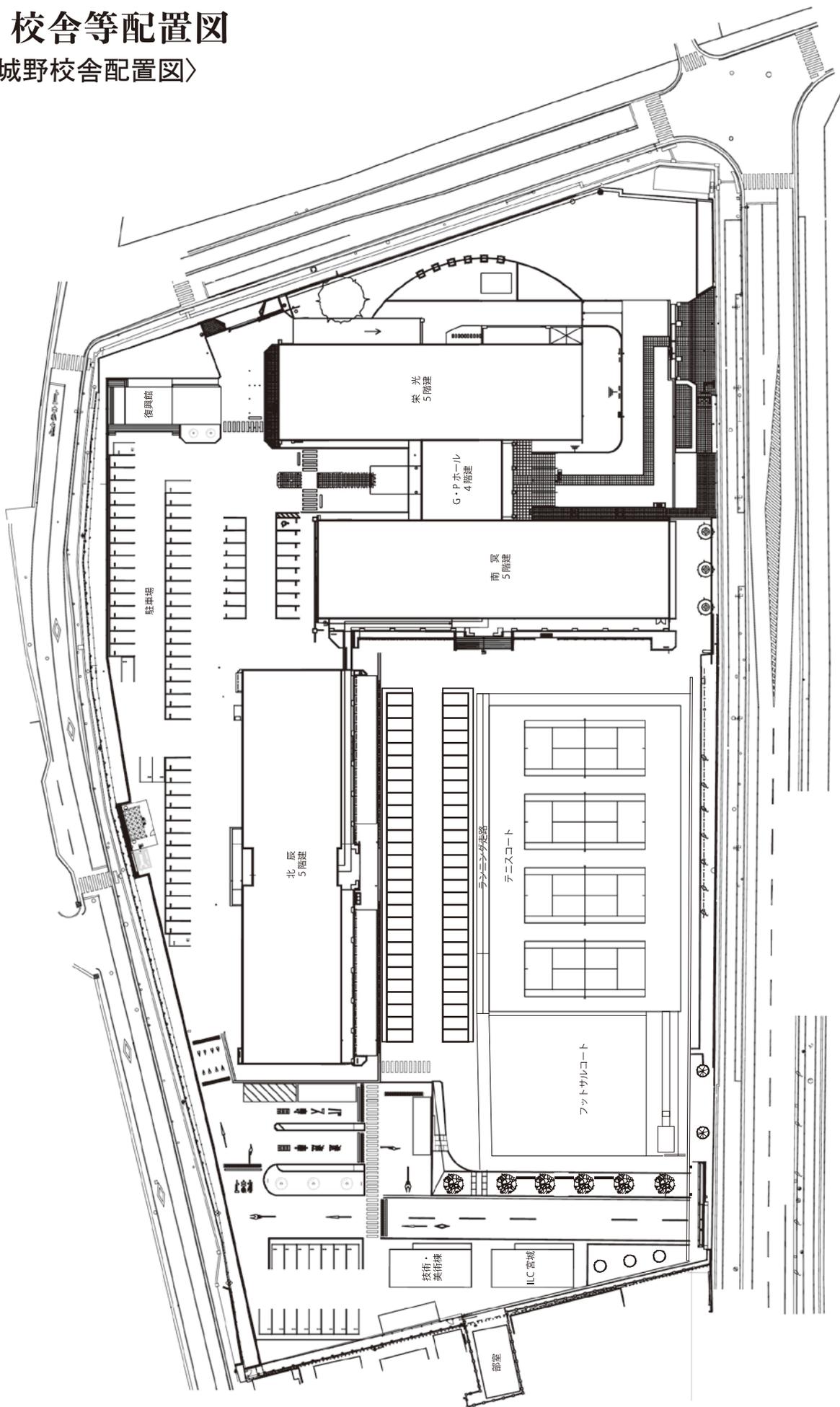
① 宮城野校舎	24,135㎡
A 建物敷地	4,657㎡
B 運動場	5,074㎡
C その他	14,404㎡
② 多賀城校舎	104,970㎡
A 建物敷地	15,593㎡
B 運動場	78,381㎡
C その他	10,996㎡
③ 沖縄栄光校舎	1,174㎡
建物敷地	1,174㎡
④ セクション	8,835㎡
建物敷地	8,835㎡
⑤ 山形学習センター	242㎡
⑥ I L C 青森校	770㎡
⑦ 東和蛍雪校舎	5,079㎡
⑧ 迫 HOME	504㎡
⑨ 東和交學館	4,227㎡
⑩ 勝連運動場	9,399㎡
⑪ その他（胡屋駐車場）	289㎡

2. 校 舎 等 〈総面積〉54,970㎡（含、借家）

① 宮城野校舎	18,294㎡
A 栄光	5,007㎡
B 南冥	6,611㎡
C 北辰	4,526㎡
D 屋内体育館	1,088㎡
E G P ホール	548㎡
F その他（技術・美術棟等）	514㎡
② 多賀城校舎	25,267㎡
A 校舎1	7,759㎡
（ウエストウイング）	2,891㎡
（イーストウイング）	1,674㎡
（ライオンズホール）	3,194㎡
B 校舎2	6,382㎡
（サウスウイング）	4,156㎡
（NCホール）	2,226㎡
C 校舎3	1,965㎡
（北辰館）	1,965㎡
D 食堂（レオホール）	491㎡
E 屋内体育館1	4,601㎡
（グローリーホール）	
F 屋内体育館2	1,387㎡
（ノースグローリーホール）	
G 屋内体育館3	132㎡
（弓道場）	
H 屋内体育館4	1,215㎡
（無床体育館）	
I 屋内体育館5	374㎡
（柔道場）	
J GATE HOUSE	178㎡
K その他（部室等）	783㎡
③ 沖縄校舎	1,597㎡
A 沖縄栄光校舎	1,493㎡
B 勝連運動場管理棟等	104㎡
④ セクション（寄宿舎）	7,212㎡
A 大志義塾	1,489㎡
B 志明館	735㎡
C 国際交學館	785㎡
D IKUEI 8 8	570㎡
E IKUEI 9 0	2,438㎡
F IKUEI111	825㎡
G レオハウス	72㎡
H 迫 HOME	298㎡
⑤ その他	2,600㎡
A 山形学習センター	58㎡
B I L C 青森校	344㎡
C 東和蛍雪校舎	1,590㎡
D その他	608㎡

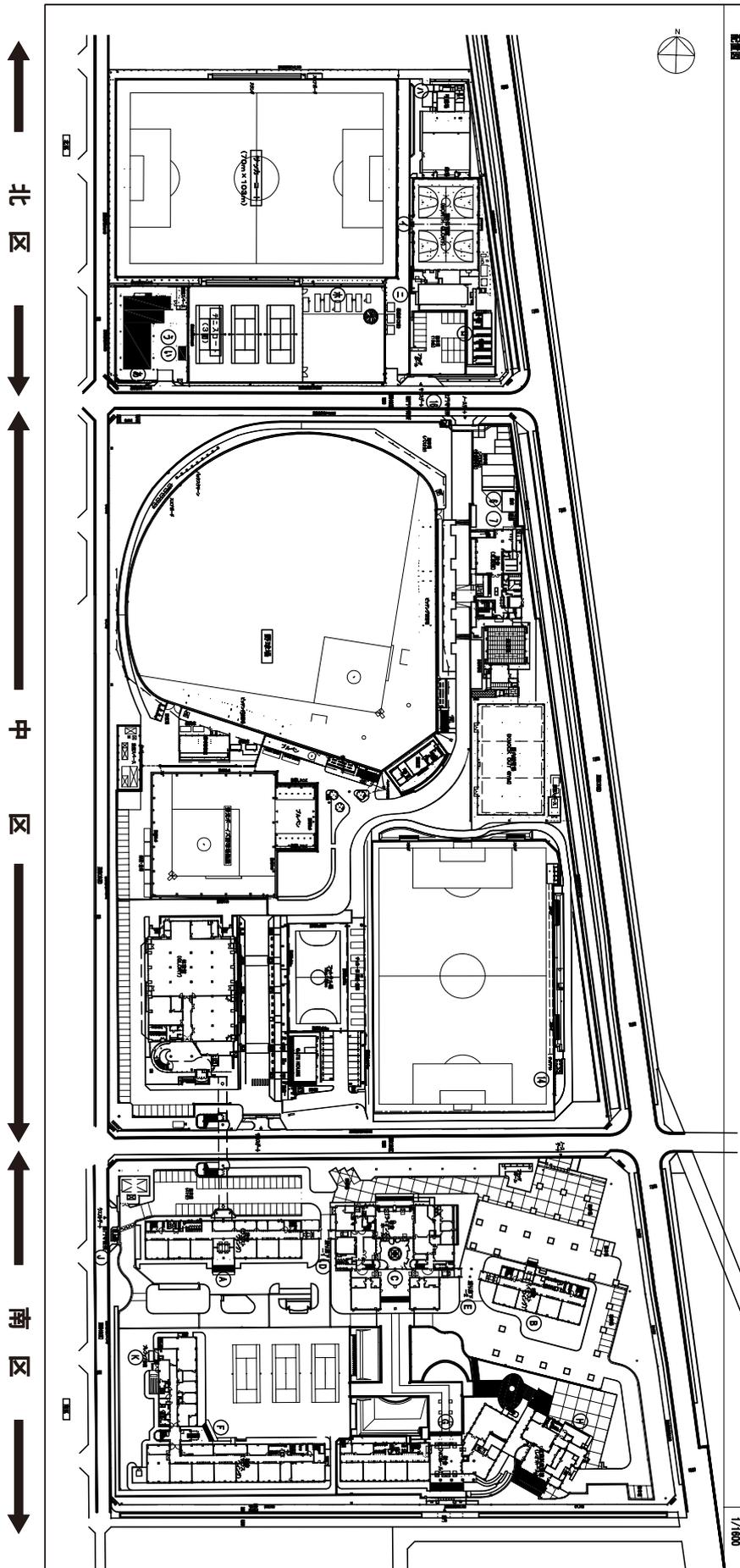
23 校舎等配置図

〈宮城野校舎配置図〉



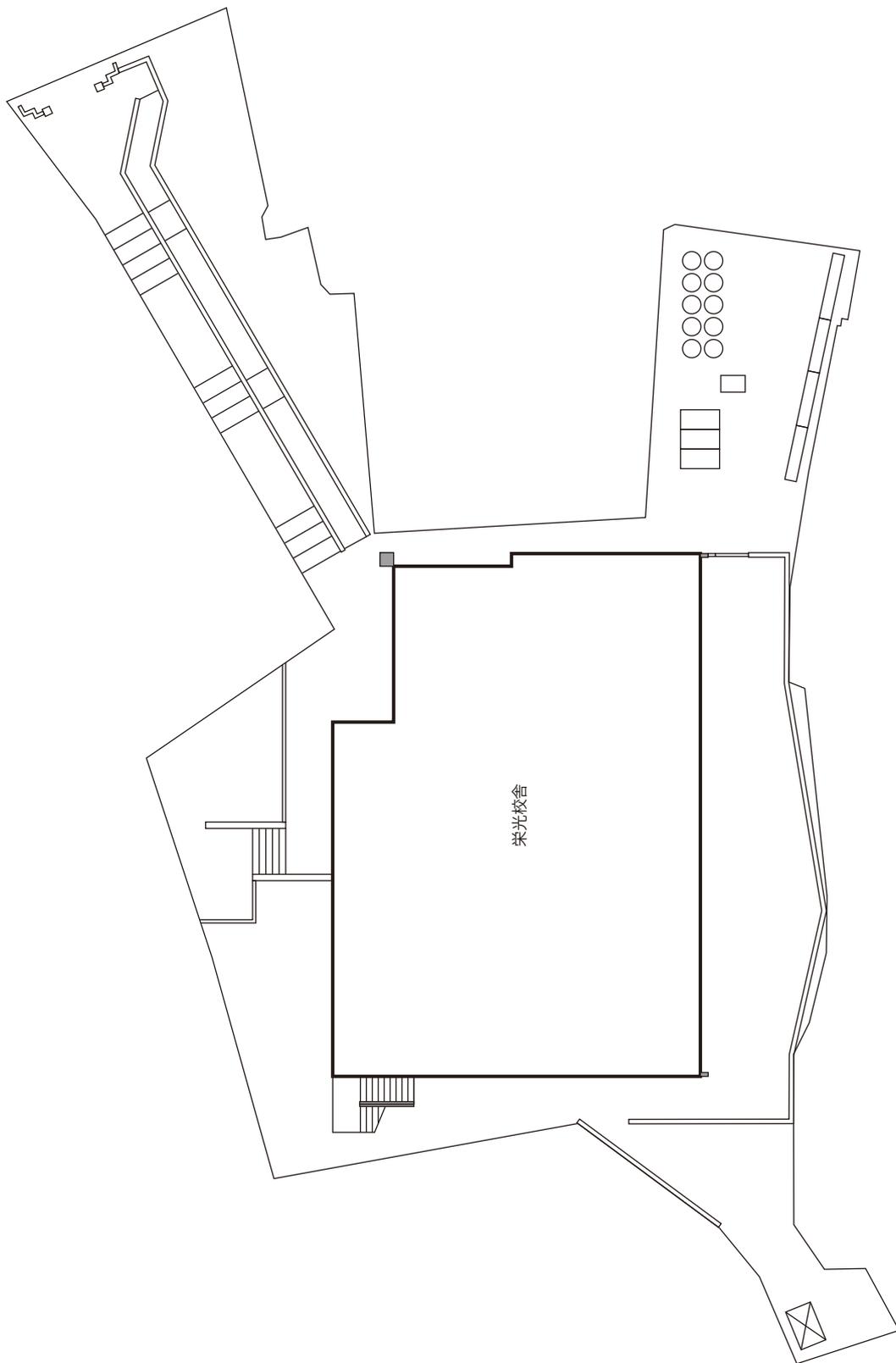
キャンパス案内図
校内配置図

〈多賀城校舎・多賀城育英グラウンド配置図〉



キャンパス案内図
校内配置図

〈栄光校舎配置図〉



24 沿革

※詳細は本学園HPに掲載

明治38年10. 1 (1905)	加藤利吉先生 仙台市東四番丁53 (現青葉区中央三丁目) に私塾「育英塾」を創立。 ⇒10月 1 日は本学園創立の日
大正 2 年 (1913)	加藤利吉先生 仙台市東七番丁71 (現宮城野区榴岡一丁目) に「仙台育英学校」を設立 ・その学則には育英塾創立の建学の精神が明確な形で打ち出されている。加藤利吉先生はこれを後に三つの指標として集約し、「至誠」「質実剛健」「自治進取」とされた。現在まで一貫している建学の精神である。
大正 5 年 (1916)	仙台市東三番丁62-6 (外記丁角, 現青葉区本町二丁目) に移転 ⇒本学園発祥の地
大正11年 (1922)	私立仙台育英中学校開校 創立者・加藤利吉先生が校長に就任
昭和20年 (1945)	戦災により外記丁の校舎焼失。以後, 仙台市立上杉山国民学校, 次いで仙台市立長町国民学校において授業継続。
昭和21年 (1946)	宮城野の現在地に旧陸軍用地の一部, 約7,000坪の校地を確保。
昭和23年 (1948)	財団法人仙台育英学園設立認可 学制改革により私立・仙台育英高等学校開校 私立仙台育英中学校を併設
昭和24年 (1949)	宮城野原に新校舎第一期工事落成移転 ⇒宮城野に校舎完成
昭和26年 (1951)	学校法人仙台育英学園設立認可 加藤利吉先生が理事長に就任
昭和30年 (1955)	仙台育英商業高等学校を設立 同校専用校舎完成
昭和31年 (1956)	私立仙台育英中学校閉校
昭和33年 (1958)	仙台育英学園専務理事 加藤昭先生が校長に就任
昭和38年 (1963)	本校からアメリカ, オレゴン州コースベイ高校に留学生 1 名を送り, 米国から交換留学生 1 名を受け入れる ⇒初の交換留学実施 仙台東ロータリークラブの提唱により国際奉仕クラブ「インターアクトクラブ結成」(高校では日本初)。
昭和40年 (1965)	宮城野校舎第二北辰, 図書館, 体育館を火災により焼失。
昭和59年 (1984)	全日制課程普通科総合コース制を導入。
昭和61年 (1986)	外国語コースを新設 (女子40名入学) ⇒男女共学制の開始
昭和62年 (1987)	カナダ, BC (ブリテッシュ・コロンビア) 州, スティーブストン高校他 4 校と姉妹校提携 ⇒初の国際理解教育協力推進校 (姉妹校提携)
〈平成以降は年度表記〉	
平成元 (1989) 年度	☆第71回全国高等学校野球選手権大会 準優勝
平成 3 (1991) 年度	多賀城校舎起工式を挙行
平成 5 (1993) 年度	☆第44回男子・第 5 回女子全国高校駅伝大会 史上初の全国駅伝アベック優勝 (男子: 歴代 3 位, 女子: 大会新)
平成 8 (1996) 年度	創立100周年記念事業ビデオドラマ加藤利吉先生物語『北の国へ』撮影開始。創立者加藤利吉先生物語『ほえろ! ライオン先生』刊行。 仙台育英学園秀光中学校を開校 理事長・校長加藤昭先生が校長を辞任 新校長に加藤雄彦先生が就任

平成10 (1998) 年度	仙台育英学園高等学校通信制課程を開設
平成12 (2000) 年度	☆第1回全国高校選抜ラグビーフットボール大会優勝 (Bブロック)
平成13 (2001) 年度	☆第73回選抜高等学校野球大会 準優勝 秀光生他, キューバ共和国訪問 (支倉常長銅像寄贈除幕式)
平成14 (2002) 年度	広域通信制課程「ILC青森」を開校 (学校法人光星学院が協力) ☆全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会 男子団体優勝 ☆第47回全国高等学校軟式野球部選手権大会 優勝 仙台育英学園秀光中学校を閉校。
平成15 (2003) 年度	東北私学初の中高等教育教育学校「秀光中等教育学校」を開校
平成16 (2004) 年度	「英松庵」茶室びらき (多賀城校舎北辰館)
平成17 (2005) 年度	学園創立100周年
平成18 (2006) 年度	河北文化賞受章 (一世紀にわたる個性尊重教育による有為な人材の育成に寄与した功績による。) 5月22日を「I-Lion Day」に制定。 (平成17年5月22日朝, 飲酒運転の車により本学園生徒3人が尊い命を亡くした事故を忘れることなく, 飲酒運転ゼロの安全な交通社会を願い, その実現に向けて活動や行事等を毎年行っている。)
平成19 (2007) 年度	加藤昭理事長先生が退任。 理事長に加藤雄彦校長先生が就任。 宮城野校舎再開発工事開始 (鵬翼・記念2号館・東門解体) 那須研修センターを那須塩原市に無償譲渡し閉鎖。 松島研修センターを松島市に無償譲渡し閉鎖。 ☆第58回男子・第19回女子全国高等学校駅伝競走大会 男子優勝 (7回目) 女子第4位
平成22 (2010) 年度	広域通信制課程「ILC宮城」を開校 本学園と米国との教育交流45周年を記念してアメリカ合衆国ハワイ州ホノルル市に ILHA (I-LION HAWAII SCHOOL) を開校
平成23 (2011) 年度	平成23年3月11日東日本大震災で宮城野校舎の被害甚大 (「栄光」「記念1号館」「南冥」は補修困難となった。) ・予定していた卒業証書授与式は中止。後日郵送にて対応。 ・3月19日 法人局を第二北辰に移して執務開始。 ・4月15日以降, 秀光中等教育学校, 仙台育英学園高等学校各コースにおいて順次暫定授業が始まる。5月12日全学年授業開始。 加藤雄彦理事長・校長先生がキューバ共和国国家評議会友好勲章を受章。
平成25 (2013) 年度	宮城野新校舎完成 加藤雄彦理事長・校長先生が教育功績者として文部科学大臣表彰。
平成26 (2014) 年度	広域通信制課程「ILC沖縄」を開校 慶長遣欧使節団キューバ共和国ハバナ寄港400年記念行事「日本・キューバ交流の集い」でキューバ共和国臨時代理大使エリザベス・バルデスミランダ氏が来校。式典と交流会を実施。 ☆第36回全国中学校軟式野球大会 秀光野球部: 優勝
平成27 (2015) 年度	☆第97回全国高等学校野球選手権大会 準優勝 (26年ぶり2回目) ☆第37回全国軟式野球大会 準優勝 東北で唯一の国際バカロレア (IB) 認定校として正式決定

平成28（2016）年度

仙台育英孔子課堂設立 銘板除幕式挙行

第10回宮城県飲酒運転根絶県民大会において、本学園の積極的な取組に対して宮城県知事より感謝状贈呈。

本学園からパプアニューギニア軍楽隊に中古楽器を贈呈。

本高校とパプアニューギニアのソゲリ国立高校が姉妹校締結。

加藤雄彦理事長・校長先生が永年にわたる教育振興功勞に対して藍綬褒章を受章 皇居にて天皇陛下に拝謁

「創立111周年記念誌～創造ある復興を目指して～」発刊

平成29（2017）年度

第53回献血運動推進全国大会において厚生労働大臣感謝状が仙台育英学園多賀城校舎に贈呈される。

仙台育英孔子課堂が中心となり、北京航空航天大学実験学校から生徒10名が本学園に短期研修。

☆第41回全国高等学校総合文化祭「みやぎ総文2017」において、仙台育英獅子太鼓部、書道部、秀光オーケストラ部が活躍。

☆男子第68回・女子第29回全国高校駅伝競走大会

女子優勝（23年ぶり3回目） 男子第3位

平成30（2018）年度

仙台育英学園高等学校に秀光コースを新設

国際ロータリー会長イアンH.S.ライズリー氏より会長賞を受賞。

「技能開発コース せんだいまなびや同好会」発足。

東北医療福祉事業協同組合と「講座開設・進路連携・人材育成」等の多面的な教育事業連携協定を締結。

☆第40回全国中学校軟式野球大会 秀光野球部：準優勝

☆福井国体 少年男子A400MH優勝（岩淵颯耶）

☆女子第30回全国高等学校駅伝競走大会 女子第3位

☆第27回国際高校生選抜書展（書の甲子園） 団体：全国優勝（初）

令和元（2019）年度

キューバ共和国と2020東京五輪事前キャンプに関する基本協定締結。

教育機関として世界初の「対人VR英会話レッスン」を試験導入。

DP授業の一環としての取組「ウガンダ ガールズ プロジェクト」により、手作り布ナプキン600枚をウガンダに贈る。

台風19号による記録的豪雨で東日本各地に甚大な水害被害が発生。阿武隈川の氾濫により阿武隈急行が長期の不通になったため、丸森駅～槻木駅間に臨時サポートカーを運行。（～12月5日）

I L C 宮城新校舎落成

令和2年3月、新型コロナウイルス流行により学則に基づく臨時休業措置。

また、参加予定だった選抜高校野球、その他の競技大会も中止となる。

令和2（2020）年度

新型コロナウイルス流行による臨時休業措置

生徒が運営するショッピングモール「せんだいまなびや」が正式に公開オンラインオープンキャンパス実施

（6/28 第1回 7/5 第2回 7/12 第3回 7/19 第4回）

オンライン個別相談会・分散型校舎見学会開催

（8/11・12・22・29 9/5・12・19 10/3・10・24 11/7・14・21）

みやぎ交通安全死亡事故防止キャンペーンに積極的に関与したとして

令和3（2021）年度

宮城県警察本部交通部長より感謝状が贈呈される。

●単位取得の補完として併修の実施

秀光中等教育学校（前期課程）を組織改編して、新たな中高一貫校「秀光中学校」を開校

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、オンライン授業や分散登校を実施

オンライン電子図書館サービス「LibrariE」を導入

「ILC沖縄」栄光校舎落成

☆男子第72回・女子第33回全国高等学校駅伝競走大会
女子優勝（2年ぶり5回目 区間賞歴代最多） 男子3位

☆第1回全国高等学校書道パフォーマンスグランプリ決勝大会
優勝（初代）

令和4（2022）年度

「東和蛍雪校舎」の開校

☆第104回全国高等学校野球選手権大会 初優勝

☆第2回全国高等学校書道パフォーマンスグランプリ決勝大会
優勝（2年連続）

☆全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会 団体優勝

☆全国高等学校総合体育大会陸上競技大会
女子800m 優勝 壁谷衿奈

令和5（2023）年度

「仙台育英学園沖縄高等学校」の開校

☆第105回全国高等学校野球選手権記念大会
準優勝

☆鹿児島特別国民体育大会（かごしま国体）高等学校野球（硬式）
優勝（2校優勝）

☆男子第74回・女子第35回全国高等学校駅伝競走大会
女子 第2位

☆第3回全国高等学校書道パフォーマンスグランプリ決勝大会
優勝（3年連続）

令和6（2024）年度

ケンブリッジ国際認定校に正式決定（外国語コース）

☆Roland Garros Junior Series By Renault アジア大会
女子個人シングルス 準優勝 早坂来麗愛

☆男子第75回女子第36回全国高等学校駅伝競走大会
男子 第3位 女子 第2位

☆令和7年第15回全国私立高等学校テニス選手権大会
個人戦 女子シングル 第1位 早坂来麗愛

☆全国高等学校書道パフォーマンスグランプリ決勝大会
準優勝

「仙台育英学園沖縄高等学校 勝連 運動場」の開所

【令和6年度の部活動等の主な活躍】

○第71回大正大学全国書道展
団体賞（4大会ぶり4回目） 天台座主賞 長沢萌生

- 第17回全国高等学校書道パフォーマンス甲子園本選大会
第5位・紫舟賞
- 令和6年度全国高等学校総合体育大会なぎなた競技大会
団体 第5位
- 第46回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会
個人戦D21の部 優勝 丹野寿凜亜
- 第15回全国私立高等学校テニス選手権大会
個人戦 女子シングルス 優勝 早坂来麗愛
- ユニクロ全日本ジュニアテニス選手権2024
女子シングルス 第2位 早坂来麗愛
女子ダブルス 第2位 早坂来麗愛
車椅子の部男子シングルス 第2位 門脇圭祐
- TOKYO 2020 BR・BP JAPANCUP
ビームライフル少年女子立射40発競技 第2位 小林まなみ
第3位 阿部ゆりえ
ビームピストル少年男子立射40発競技 第3位 鈴木亜夢呂
ビームピストル少年女子立射40発競技 第3位 市川莉緒
- 令和6年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会
男子5000m 第3位 エリウッドカヒガ
女子1500m 第4位 デイシージェロップ
- 高円宮杯第76回全日本中学校英語弁論大会
決勝大会第4位 上田伶奈
- 第31回「壺の碑」全国俳句大会 特別奨励賞 田淵遥大



個人情報保護基本方針

学校法人 仙台育英学園

学校法人仙台育英学園（以下、「学園」という）は、個人情報の重要性について深く認識し、関係法令等の定める個人情報を適正に取り扱うため、以下の取り組みを行います。

1 個人情報の取得

本学園では、個人情報の利用目的をできる限り明確にし、その利用目的の達成に必要な範囲で、適正かつ公正な手段によって個人情報を取得いたします。

2 個人情報の利用

本学園では、あらかじめ本人の同意を得るか法令の定めによる場合を除き、利用目的の範囲内で、個人情報を取り扱います。

3 個人情報の適正な取り扱い

本学園では、個人情報を適正に取り扱うため、本基本方針を具現化するものとして、「学校法人仙台育英学園個人情報の保護に関する規則」（以下、「規則」という）を定めています。また、運用実態に応じて適宜見直し、改善を図ります。

4 個人情報の開示、訂正、追加、削除

本学園では、「規則」に定める手続きによって、個人情報の開示、訂正、追加又は削除の請求がなされた場合には、速やかに対応いたします。

令和7（2025）年度
学校法人仙台育英学園
秀光中学校
仙台育英学園高等学校
仙台育英学園沖縄高等学校

学 校 案 内

発行日 令和7年6月30日

発行者 学校法人仙台育英学園
理事長 加藤 雄彦

発行元 学校法人仙台育英学園
〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野2丁目4-1
電話（代表） 022-256-4141
FAX 022-299-2408
<https://www.sendaiikuei.ed.jp>

仙台育英学園 キャンパス 案内図

青森

ILC 青森校

青森教育連絡事務所
〒031-0823
青森県八戸市湊高台3-2-2
TEL 0178-80-7280
FAX 0178-80-7281



石巻

石巻教育連絡事務所
〒986-0851 石巻市貞山2丁目2-28
(有)山下住建 1F 貸事務所



東和堂雪校舎

登米学習センター

〒987-0901 登米市東和町米川寺内31番地1
TEL 0220-45-1905 FAX 0220-45-1125



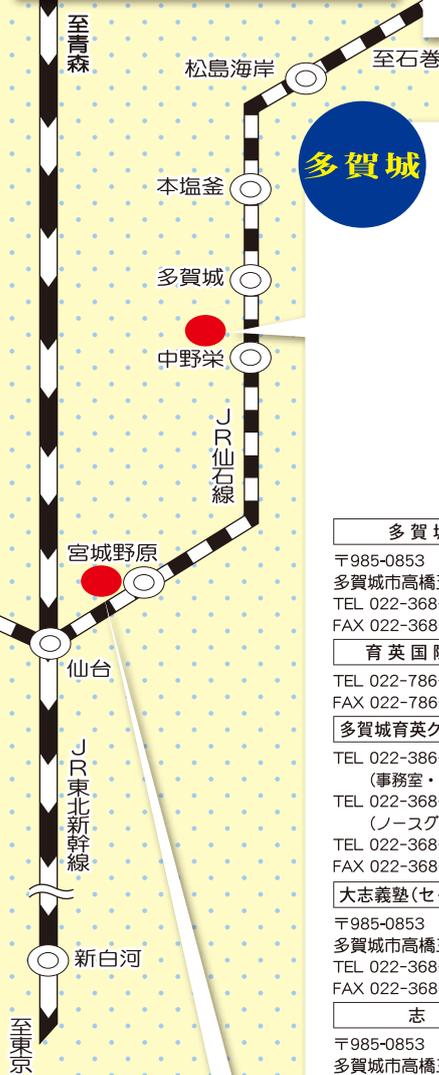
追 HOME

〒987-0511 登米市迫町佐沼字中江五丁目8-16
TEL 0220-21-5151 FAX 0220-21-5331

山形

山形学習センター

〒990-0047 山形市旅籠町1丁目1-1
TEL 023-631-4411
FAX 023-631-4412



多賀城



多賀城校舎

〈仙台育英学園高等学校〉
・外国語・英進進学・フレックス・技能開発

多賀城事務局

〒985-0853
多賀城市高橋五丁目6-1
TEL 022-368-4111
FAX 022-368-2800

育英国際センター

TEL 022-786-2444
FAX 022-786-4175
多賀城育英グラウンド管理室
TEL 022-386-4111(内線 650)
(事務室・グローリーホール)
TEL 022-368-2492
(ノースグローリーホール)
TEL 022-368-2391(野球場)
FAX 022-368-2055(野球場)

大志義塾(セクション事務室)

〒985-0853
多賀城市高橋三丁目2-5
TEL 022-368-4161
FAX 022-368-4166

志明館

〒985-0853
多賀城市高橋三丁目2-5
TEL 022-368-4161
FAX 022-368-4166

国際文学館

〒983-0011
仙台市宮城野区栄二丁目16-2
TEL 022-259-5871
FAX 022-259-5872

IKUEI88

〒985-0853
多賀城市高橋三丁目2-43
TEL 022-368-4161
FAX 022-368-4166

IKUEI90

〒985-0853
多賀城市高橋三丁目3-1
TEL 022-309-4700
FAX 022-309-4707

(JR仙石線で仙台駅から17分
中野栄駅下車
校舎までは徒歩5分)

THE HOUSE OF IKUEI 111

〒985-0853
多賀城市高橋四丁目7-1
TEL 022-762-8028
FAX 022-762-8028

沖縄

仙台育英学園沖縄高等学校

ILC 沖縄校

沖縄教育連絡事務所
〒904-0021 沖縄県沖縄市胡屋2-6-17
TEL 098-930-4111
FAX 098-930-4151



宮城野

法人局

連絡先

学校法人 仙台育英学園 宮城野校舎

〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野2-4-1
TEL 022-256-4141 (代表)
FAX 022-299-2408
(JR仙石線で仙台駅から4分 宮城野原駅下車、徒歩1分)



宮城野校舎

〈仙台育英学園高等学校〉
・特別進学・情報科学
・ILC宮城・秀光コース
〈秀光中学校〉

ILC 宮城校

仙台育英学園高等学校通信制課程
TEL 022-256-4148 (土・日曜日：可)